



東洋大学

2018

TOYO UNIVERSITY

国際教育センター年報



東洋大学国際教育センター

国際教育センター年報の発刊にあたって

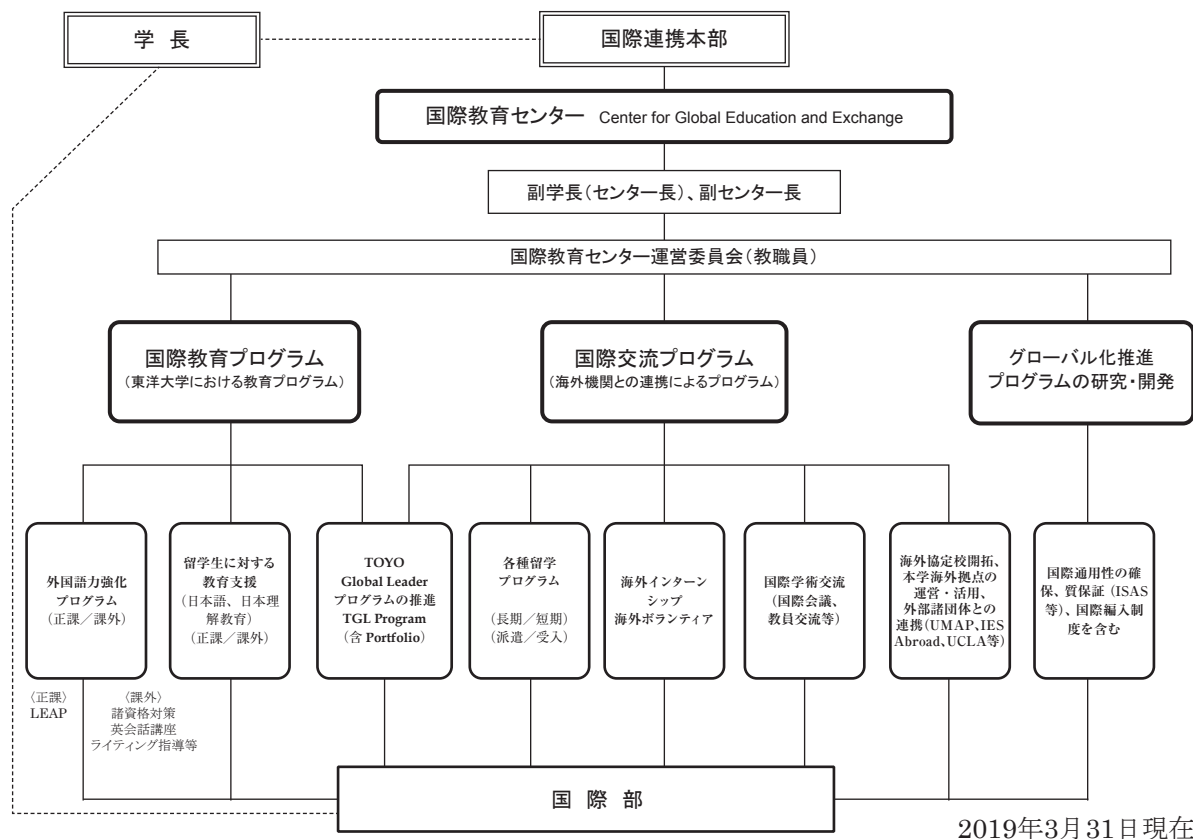
国際教育センター長 高橋一男
(副学長・国際学部教授)

東洋大学は、2014年に「スーパースーパーグローバル大学創成支援」(Top Global University Project)事業タイプB(グローバル化牽引型)に採択されました。それより2年遡ること2012年には、創立125周年記念を機に「未来宣言」を発表し、哲学教育、キャリア教育とともに三本柱として「国際化」を表明しました。この流れで東洋大学は国際化に大きく舵を切りました。全学規模で国際化に取り組んでいますが、その推進力の役割を強力に担っているのが国際教育センターです。

国際教育センターは、「国際教育プログラム」「国際交流プログラム」「グローバル推進プログラムの研究開発」の構築と充実を目指して活動しています。その目的に向けて、国内外の大学や研究所、国際機関、コンソーシアム等との交流を通じて、学生や教職員、そして東洋大学全体のグローバル化を推進することがそのミッションであると認識しています。

本センターの活動は、東洋大学でグローバルに学べる環境を整え、各種プログラムの拡大、強化を図り、それに伴う研究開発を行なっています。本報告書は年度ごとの活動成果をまとめて、年報として報告するものです。年度毎の活動を詳しく報告する本冊子に関係各位において活用していただき、また、ご助言をいただきましたら幸甚であります。

〔国際教育センター組織図〕



目 次

●国際教育センター年報の発刊にあたって

トピックス

1	海外協定大学の推移と学生交流の拡大	3
2	国際教育センターの活動報告(概要)	5
3	留学生就職促進プログラム	7
4	ISAS2.0 受審の取り組み	9
5	外国人留学生リクルートの取り組み	10
6	ショートプログラム概要	11
7	Toyo Global Leader (TGL) プログラム TGL GOLD 認定	12
8	海外留学促進奨学金および単位認定制度の拡充と学生派遣の拡大	13
9	UMAP 国際事務局の活動—加盟国拡大、新規プログラム“UMAP-COIL Honors Program”開始	14
10	官民協働海外留学支援制度 「トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム」への参加	16
11	学生が主体となる国際的な交流	17
12	SGU 採択校のグッドプラクティスに関する調査・報告	19

国際教育プログラム

1-1	LEAP プログラム	20
1-2	外国語力強化プログラム 課外語学講座・語学試験	21
2	英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト/日本語プレゼンテーションコンテスト	23

国際交流プログラム

1	海外ネットワーク/海外拠点の運営・活用	25
2	交換留学受入プログラム、留学生対象プログラム	27
3	各種留学・派遣プログラムの実施状況	29
4	国際学術交流(国際会議、教員交流等):シンポジウムの開催	32
5	交換研究員の派遣 外国人研究員の受入	33 34

資料編

1	学術交流協定校協定締結一覧	35
2	学部・研究所等協定締結一覧	39
3	学生受入	43
4	NEST 履修者数、2018 年度 BJT 団体受験結果、国際会館利用者数	50
5	ECZ 利用者数	51
6	学生派遣	52
7	TGL Program 達成状況、留学ガイダンス参加者数、国際教育センターメールマガジン登録者数	57
8	2018 年度課外英語講座開講実績	58
9	各種海外留学奨学金	61
10	2019年度 渡日前入試 東洋トップグローバル奨学金 A・B 志願者内訳	64
11	東洋大学海外留学フェア等参加実績	65
12	国際教育センター運営委員会開催記録	66
13	国際教育センターに係る規程一覧	69
14	国際教育センター構成員	70

トピックス①

海外協定大学の推移と学生交流の拡大

国際部長 高橋清隆

本年6月下旬に、元国際交流センター長でおられた小薊米名誉教授が主催される卒業生の勉強会に参加させていただいた。スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)における本学の取り組み(TGD構想)について講演する機会を得たからである。小薊米先生からは、特に海外大学との協定校数の増加及び知名度の高い大学と協定を締結している点について過分なお褒めの言葉をいただいた。小薊米先生は、1999年度～2000年度の2ヵ年度にわたり国際交流センター長として就任されたが、海外大学との協定締結は15大学であった。当時はその規模があれば交換留学希望者のニーズに適っていたと言えよう。よって国際交流センターの職員も6名と少数であった。本学が海外の大学と初めて協定を締結したのは創立100周年を迎える2年前の1985年(昭和60年)からであり、そこから33年の時を経て、現在、大学間協定を締結している海外の大学(機関等含む)は180大学を超えている。特に、SGUに採択された2014年度以降の伸びが顕著で、採択前は75大学だったので2.4倍増加した。国際化推進の体制も、国際教育センター所属の専任教員が13名、職員はアルバイトスタッフまで含めると37名と格段に強化されてきた。

本学の国際化は、各学部、各研究科及び各部局の強力な取り組みのもと、TGD構想を推進させることにより大きく躍進している。SGUの実施期間は10年と定められており、早くもその5年が終わり折り返しの年を迎えているが、この5年間で振り返ればその成果は着実に出ていていると言えよう。SGUで定められた指標には様々な定義があるため、本年報の各実績値と異なる点があるが、TGDの実績値をもとに本学の国際交流について概観する。

まず、国際交流の要となるのは海外大学との協力体制の構築であり、それは大学間(部局間)協定として形成される。その結実により、本学の学生は留学先の選択肢を増やせるとともに、その対として世界各国から多様な文化的背景を持った外国人留学生を受け入れ、学内の学生との交流を活性化できる。また、海外の研究者との共同研究を通じ、新たな知見を見出す可能性も広がり、本学の研究レベル向上にも繋がっていく。そのため知名度やランキングの高い研究型の大学との協定にも力を入れている。

海外留学や来日した外国人学生との交流に必要な不可欠な能力は語学力で、特に英語能力が求められる。一般的に、長期留学にはTOEIC®換算で730点以上(TOEFL®550点以上、IELTS™5.5点以上)が必要とされているが、この英語能力を有する学生が増加の一途をたどり、また留学する学生への経済的支援として留学専用の奨学金を充実させていることも相まって、海外への長期留学及び短期留学を目指す学生が大幅に増加した。それに対応し、海外から受け入れる学生も大幅に増加している。

学生交流はSGU採択前と比較して約4倍の学生が参加し活性化してきているが、本学の規模からみればSGUの最終年度に掲げた目標人数・割合はまだ低いと言わざるを得ないであろう。昨年度から本年度にわたり国際機関による「国際化戦略に対するアドバイザー・サービス(ISAS)(2.0)」を受審したが、戦略評価・成果モニタリングの結果、賞賛すべき点として、「東洋大学は留学生からのフィードバックに責任を持って応えており、問題が生じた際にはその解決策の発見に努めている。」「東洋大学で受けている支援について、特にインターンシップへの参加と就職支援に関して、留学生の満足度は高い。」「海外に留学する学生は東洋大学が提供する機会について満足しており、帰国後には自分の経験を他の学生に伝えるよう奨励され、実際にそれができている。」等があげられた。一方、「学生の流動性は東洋大学の国際化戦略の中心の特徴であり、日本人学生には留学を学習課程の一部とできる多くの機会が用意されている。同時に阻害要因も残っており、それには日本人学生の語学力の問題と自信の欠如が含まれる。」「留学生の国籍および文化的・言語的背景をより多様化するための戦略を検討し試行すること。」

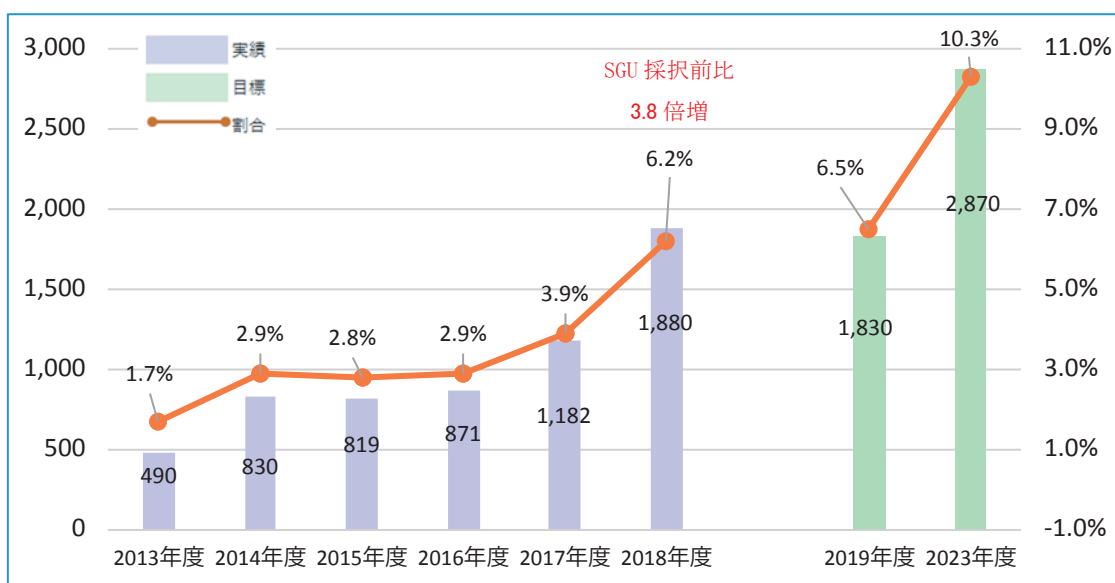
という点について勧告もあった。これらの点を精査し、さらに良いプログラムや行動計画を立案していく必要がある。

本学を卒業した学生が、企業や勤務地を問わずその力を発揮し、国際社会の舞台で大いに活躍するためには、在学中に多様な知識や経験を身に付けることが非常に重要であり、国際的な経験はその中の柱の一つだと認識している。そのため、今後も更に学生交流の強化に力を尽くしていきたい。

最後に、諸業務との関係から本年報の発行が大幅に遅れたことをここにお詫び申し上げる。

図1 単位取得を伴う日本人学生に占める留学経験者の割合（通年）

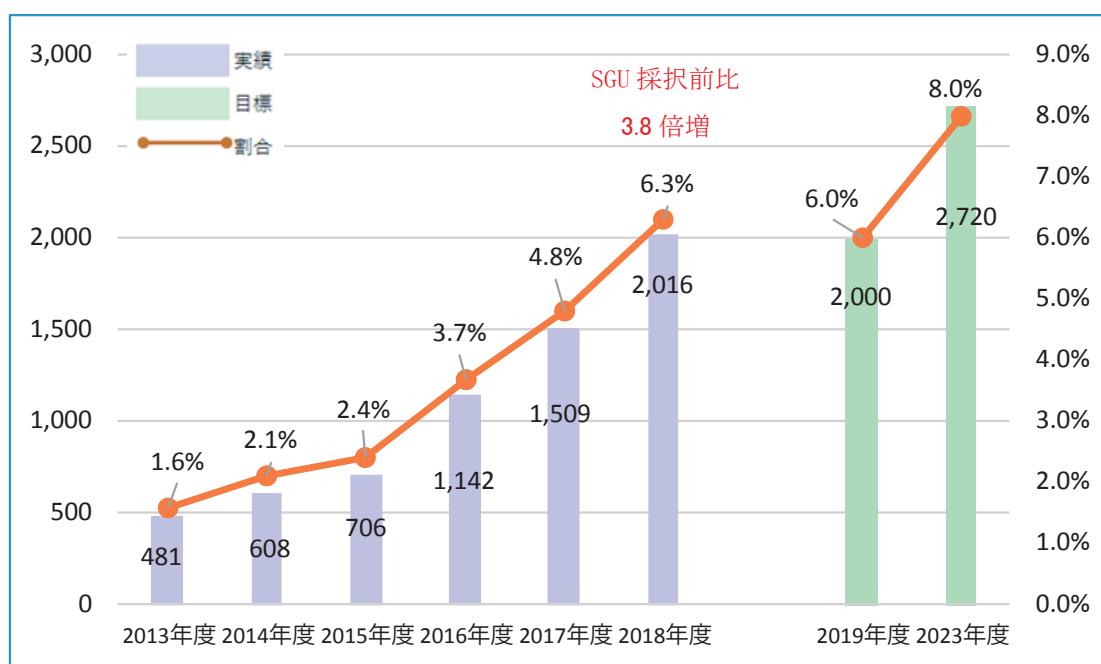
（単位：人）



※ SGU の独自指標で、日本人学生でかつ単位取得に繋がった留学のみを対象としている。

図2 全学生に占める外国人留学生の割合（通年）

（単位：人）



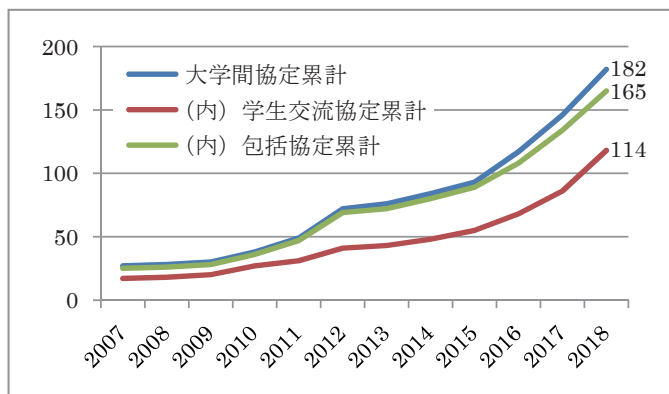
※ SGU の独自指標で学位取得のための正規留学生、交換留学生、短期滞在の留学生も含む。

トピックス②

国際教育センターの活動報告(概要)

国際教育センターは、センター長 1 名、副センター長 2 名、専任教員 13 名(2019 年 3 月 31 日現在)ならびに各学部・研究科から選出された国際教育センター運営委員等によって構成され、本学の国際化を推進しており、国際部がその事務部門を担っている。2018 年度の活動成果の概要を以下のとおり抜粋する。

■協定締結先数の推移(海外との大学間協定) [※詳細は p.25 および pp.35-38 参照]



2018 年度は新たに 17 ケ国／地域の 38 大学等と協定を締結した。うち、包括協定は 14 ケ国／地域の 33 大学、学生交流協定は 15 ケ国／地域の 29 大学(2019 年 3 月 31 日現在 ※部局間協定については pp.39-42 参照)。

■受入留学生数の増加 [※詳細は pp.27-28 および pp.43-49 参照]

2018 年度の学位取得を目的とする正規課程の留学生数は、1,263 名(2018 年 5 月 1 日現在)で、前年度比 138% と大幅に増加した。また、短期受入ではサマープログラムとウィンタープログラムの他、協定校からのカスタマイズプログラムも多数実施したことに加え、海外からの 1day ビジットも積極的に受け入れた。交換留学生としては、部局間協定による交換留学生を含め、19 カ国から 132 名の学生を受け入れた。



韓国 2 大学向けのウィンタープログラム最終日の様子

■外部試験の学内実施と課外語学講座の充実 [※詳細は pp.21-22 および pp.58-60 参照]

昨年度に引き続き、全学の英語力向上にむけた取り組みの一環として、①全学部生への TOEIC® L&R IP テスト等の無料受験実施、②各種課外講座の充実を図った。

①は、英語演習の習熟度別クラス分けに使用するほか、学生自身のレベルチェックと学習を促す効果が期待できる。取り組みの結果、2019 年 3 月時点で英語資格試験のスコアを保有する学生は 28,343 名となった。うち、TOEIC® 500 点(相当)以上のスコア保有者は 5,840 名、TOEIC® 700 点(相当)以上は 986 名で、分厚い中間層を形成しつつある。

②は、学内で実施される英語資格試験の日程に合わせ各種課外講座を年間を通して開講し、効果的に点数を伸ばすことができるようプログラムを組んでいる。学習目的やレベルに応じた多様な講座を全キャンパスに提供した結果、今年度の課外講座受講者数は、合計 2,235 名となった。

また、英語に加え中国語・韓国語・ドイツ語などその他の語学試験も受験料の半額を補助し、より多くの学生の語学力向上に努めた。

■英語スピーチ&プレゼンテーションコンテストおよび日本語プレゼンテーションコンテストの実施

〔※詳細は pp.23-24 参照〕

2015 年度より、学生の英語スキル向上と学年の相違を超え他学部生と切磋琢磨する機会として、国際教育センター主催による英語スピーチコンテストを実施している。今年度は、グローバル人財の資質として必要となる総合的な表現能力の発表の場として、グループによる英語プレゼンテーション部門を新たに追加した。スピーチ部門は 53 名、プレゼンテーション部門は 21 組 (56 名) の応募があり、予選を経てそれぞれ 11 名、7 組 (17 名) が当日発表を行った。

また、年々増加している留学生を対象とした日本語プレゼンテーションコンテストも新規で実施し、学部学科の垣根を越えた 9 グループ (22 名) が出場した。

どちらのコンテストも、多くの企業・団体より本学へ協賛いただいた。



■研究員の派遣および外国人研究員の受入 〔※詳細は pp.33-34 参照〕

本学の協定大学において最長 1 年研究に従事する交換研究員の派遣制度に基づき、毎年 1 ～ 2 名の教員を派遣している。また、外国人研究員においては毎年継続的に受け入れている。

■各種刊行物の発刊

名称	言語	対象	刊行時期	内容
TOYO UNIVERSITY (大学概要・英語版)	英語	海外の高等教育機関	4 月	大学概要、研究科、学部学科、留学生宿舍等の紹介
国際交流プログラムパンフレット 2019	日本語	本学在学生 一般	4 月	本学留学・国際交流プログラム全般の紹介
TOYO GLOBAL DIAMONDS Toyo Global Leader Program	日本語	本学在学生	4 月	TGL プログラムの紹介
TOYO UNIVERSITY 2019 FULL- SCHOLARSHIP FOR UNDERGRADU- ATE PROGRAMS (TAUGHT IN ENG- LISH)	英語	海外の高等教育機関 高校生等	7 月	東洋トップグローバル奨学金の内容及び対象学部学科カリキュラムの紹介
TOYO GLOBAL DIAMONDS NEWS LETTER Vol.7 & Vol.8	日本語 英語	大学・附属校の教職員	7 月 1 月	スーパーグローバル大学創成支援事業における「TOYO-GLOBAL DIAMONDS」構想の取り組みおよび SGU の活動成果の進捗
2019 東洋大学 外国人留学生の手引き	日本語 英語	本学在学留学生	3 月	留学生生活全般に関するお知らせ

トピックス③

留学生就職促進プログラム

2017年6月に文部科学省「留学生就職促進プログラム」に本学の事業計画が採択された。全国から多数の大学が申請する中、本学は採択を受けた12機関(コンソーシアム)のうち東日本地区で唯一の私立大学である。

本事業は「外国人材の我が国企業への就職の拡大」に向け、各大学が地域の自治体や産業界と連携し、日本語能力や日本でのキャリア教育、中長期インターンシップを一体として学ぶ環境を創出する取り組みを普及させ、外国人留学生の日本での就職を支援するもので、本学が提出した実施計画書「留学生Iターン就職促進プログラム」は、東京と地方都市をつなぎ留学生の「Iターン就職」を促進する事業である。東京で学ぶ留学生に、働き手不足が問題となっている地方都市の企業での就職機会を拡大し、また、地方で学ぶ留学生には地元のみならず首都圏での就職活動を可能とする取り組みにより、日本全体での留学生国内就職率向上に貢献する。本事業は、島根大学および金沢星稜大学と連携して実施している。

■ 2018年度実施内容

【ビジネス日本語教育】

○正課「ビジネス日本語」開講

半期に渡る、継続的なビジネス日本語学習を通じて、ビジネス日本語の表層的な習得だけでなく、その背後にある日本語社会・文化も含めたビジネス日本語文化の深層的な理解に努めた。当該科目は春学期・秋学期通じて30名の履修があった。

○講座

・春学期 BJT 対策講座

(期間：5月21日～6月19日、場所：白山キャンパス、クラス：中級及び上級、参加人数：64名)

・夏季ビジネス日本語ポイント講座

(期間：8月29日～9月10日、場所：白山キャンパス、参加人数：144名(他大学2名含む))

・秋学期 BJT 対策講座

(期間：11月23日～12月21日、場所：白山キャンパス、クラス：初級及び上級、参加人数：34名)

・ビジネス日本語一日完結講座

(期間：11月28日、場所：赤羽台キャンパス、参加人数：4名)

(期間：12月8日、場所：川越キャンパス、参加人数：3名)

・島根大学ビジネス日本語集中講座 (期間：12月8日～9日、場所：島根大学、参加人数：12名)

○BJT 団体受験 [※詳細は p.50 参照]

・BJT の受験補助を実施し、延べ144名がBJTを受験。最難関J1+に4名が合格した。また、幅広いビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーション能力があると認められるJ1にも18名が合格するなど、着実に成果が出ている。

○その他

・オリジナル BJT 模擬問題作成

【キャリア教育】

○正課「国際キャリア概論」開講

留学生向けキャリア教育科目として開講し、日本の就職活動文化について説明するだけに留まら

ず、インターンシップに従事する在学生や日本就職を成し遂げた卒業生を講師として招聘して体験談を聴講することで就職活動実践について考える機会を得た。また地方インターンシップについての講義もあり、首都圏だけでなく地方でのインターンシップについて考えることができた。当該科目は春学期に白山キャンパスで15名、秋学期に川越キャンパスで7名の学生が履修した。

○プログラム企画連続講演会

(期間：10月16日・23日、場所：白山キャンパス、参加人数：250名)

○外国人向け合同企業説明会

(期間：8月4日・10月9日、場所：白山キャンパス、参加人数：150名(他大学含む))

【インターンシップ】

○インターンシップ

国際化推進協会(JAPI)と提携の下、留学生のインターンシップ派遣を実施。インターンシップ前に、日本企業の文化やマナーを知るための事前研修を2回(1回あたり50分)提供し、延べ70名の学生が、東京エリアを中心に約30社でインターンシップを行った。

○地方インターンシップ

- ・地方課題解決合宿型インターンシップツアー石川コース

(期間：8月29日～9月7日、参加人数：11名、内容：就業体験、文化体験)

- ・地方課題解決合宿型インターンシップツアー島根コース

(期間：9月8日～9月18日、参加人数：10名、内容：就業体験、文化体験)

- ・石川県インターンシップツアー探索編

(期間：12月26日～28日、参加人数：19名、内容：合同説明会参加、就職セミナー参加)

- ・石川県インターンシップツアー実践編

(期間：2月9日、11日～16日、参加人数：4名、内容：就業体験、文化体験)



【その他】

○優秀留学生表彰

3年生留学生の中で、①ビジネス日本語レベル、②学業成績、③インターンシップへの参加実績、の3つの要件を満たした学生を本プログラムの優秀留学生として表彰した。(2018年度は優秀賞として5名、奨励賞として8名を表彰)

○留学生就職支援室の運営

白山キャンパス8号館2階にて平日10時から18時の間開室。留学生のビジネス日本語学習、就職活動などについての相談対応や各種主催プログラムの企画・運営。

○留学生就職促進プログラム専用Webサイト

各種就職セミナー情報や実施したインターンシップツアー等の成果報告。

○留学生就職促進特別奨学金支給

2018年度は合計19名に対して支給。



トピックス④

ISAS2.0 受審の取り組み

世界の潮流に照らし合わせた本学の取り組み内容の位置づけを確認すると共に、国際化の進展に向けてた有為な助言を得ることを目的として、国際大学協会 (IAU) が提供する「国際化戦略に関する助言サービスである ISAS2.0 (International Strategy Advisory Service 2.0)」の受審に向けて下記の取り組みを実施した。

■ ISAS2.0 の受審に向けた取り組み内容 (2018 年度)

実施時期	取り組み内容	備考
4 月～5 月	ISAS2.0 運営委員会の設置準備～立ち上げ	設置日 5 月 21 日
6 月～10 月	本学の国際化に関連する基礎資料 (英語) の取り纏めおよび IAU へ送付	送付日 10 月 25 日
5 月～8 月	教職員、学生、留学生を対象とした座談会の準備・実施 (全キャンパスで実施)・報告書作成	実施日 6 月 20 日～8 月 1 日
8 月～10 月	部会ごとの自己点検の実施・取り纏め	
9 月～12 月	全教職員、学生および留学生を対象とした国際化アンケート調査の準備・実施・取り纏め・報告書作成	実施期間 10 月 12 日～11 月 9 日
1 月～3 月	ISAS2.0 成果報告書 (草稿) 作成・翻訳	

■ ISAS2.0 運営委員会開催記録 (2018 年度)

実施回	日時	審議・報告事項
第 1 回	2018 年 5 月 21 日	1. ISAS2.0 運営委員会について 2. 自己点検計画 (案)・スケジュール (案) について
第 2 回	2018 年 6 月 4 日	1. ISAS2.0 自己点検に伴う座談会の実施計画について 2. IAU へ提出する基礎資料について 3. ISAS2.0 勉強会 (北大) のサマリーについて
第 3 回	2018 年 7 月 9 日	1. ISAS2.0 座談会 中間報告 2. IAU からの連絡事項について
第 4 回	2018 年 10 月 1 日	1. アンケート調査実施概要及び調査項目について 2. ISAS2.0 の専門家パネルメンバーと現地訪問日について 3. ISAS2.0 座談会 最終報告
第 5 回	2018 年 11 月 5 日	1. ISAS2.0 受審にむけたアンケート調査の実施について (中間報告) 2. 部会ごとの自己点検作業の中間報告と今後の作業について
第 6 回	2018 年 12 月 3 日	1. ISAS2.0 受審にむけた国際化アンケート調査結果 (速報) の報告 2. 部会ごとの自己点検作業の中間報告と今後の作業について
第 7 回	2019 年 2 月 4 日	1. ISAS2.0 成果報告書 (草稿) について 2. Panel 長 (Eva Egron-Polak 氏) からのフィードバックについて 3. 2019 年度 ISAS2.0 運営委員会会議日程 (案) について

トピックス⑤

外国人留学生リクルートの取り組み

■海外広報・リクルート活動〔※詳細は p.65 参照〕

2017 年度に引き続き、渡日前入試対象者を中心にリクルート活動を行った。海外での日本関連イベントや日本留学フェアへの出展、高校訪問、ウェブ会議システム等を利用した遠隔説明会等、新聞広告掲載等を通して、英語トラックと東洋トップグローバル奨学金の広報活動を行った。今年度は新規開拓地として、アルゼンチン、マカオ、南アフリカ、ハワイでのフェアに初出展した。同時に、年間を通じて各国からの高校生の学校訪問の受け入れおよび大学の紹介を行った。

■9月入学入試の導入

より多くの国の学年歴や進学の時期に対応できるよう 2018 年度に開始した日本国外在住者対象の渡日前 9 月入学入試を、2019 年度入試についても引き続き実施した。対象学部は初年度同様、国際学部グローバルイノベーション学科と情報連携学部情報連携学科の 2 学部学科。

2018 年 9 月入学渡日前入試スケジュール

第 1 回	出願期間	12 月 14 日～20 日	ウェブ面接	2 月 16 日・18 日	合格発表	3 月 11 日
第 2 回	出願期間	2 月 15 日～20 日	ウェブ面接	4 月 20 日・22 日	合格発表	5 月 22 日

■東洋トップグローバル奨学金概要

優秀な留学生に本学で学んでもらい、本学の一層のグローバル化を推し進めることを目的として 2017 年に設立された。

東洋トップグローバル奨学金 A

○奨学生枠数

国際学部グローバルイノベーション学科	30 名
国際学部国際地域学科	10 名
情報連携学部情報連携学科	20 名

○志願者数

2019 年度 4 月入学志願者数	112 名／受給者数	33 名
2019 年度 9 月入学志願者数	128 名／受給者数(予定)	20 名

○対象：渡日前入試で上記学科に合格し、学生ビザを取得した者

○給付額：入学金及び全ての納付金免除及び毎月 15 万円

○給付期間：4 年間

○2019 年度渡日前入試受験者内訳 → 資料編 2019 年度 渡日前入試 東洋トップグローバル奨学金 A 志願者内訳 (p.64) 参照

東洋トップグローバル奨学金 B

○奨学生枠数：以下の対象学科より各 1 名

文学部日本文学文化	理工学部電気電子情報工学
社会学部社会	理工学部応用化学
社会学部社会福祉	理工学部都市環境デザイン
国際観光学部国際観光	理工学部建築
理工学部機械工学	総合情報学部総合情報
理工学部生体医学工学	生命科学部生命科学

○対象学部渡日前志願者数 76 名／対象学部受験者数 76 名

○対象：入試合格者のうち、本学が定める基準を満たした者の中で上位の者。

○給付額：毎月 8.2 万円

○給付期間：4 年間

○2019 年度渡日前入試受験者内訳 → 資料編 2019 年度入学者対象入試 タイプ B 入試実施状況 (p.64) 参照



トピックス⑥

ショートプログラム概要

■オープンプログラム

【Toyo Summer Program II 2018】

日本の生活や文化に対する理解を高め、フィールドワークや農村での生活の体験を通して真の日本の魅力を体感してもらうことを目的に、2018年8月20日から9月1日に都市と地方の生活に関する比較学習や国立市及び檜原村での実体験等を中心としたプログラムを開催した。東京の都市部を体験する期間中には本学学生も同行するフィールドトリップや、国立市や檜原村での東京の田舎を体験するプログラム期間中は一橋大学の学生との交流も盛り込むことで様々な学生との交流を促進した。また、今回初めて開催した縁日は大いに盛り上がり、参加者の満足度も非常に高かった。台湾から4名、エジプトから4名、マレーシアから4名、中国から1名、ベトナムから1名の計14名が参加した。



※他にも Toyo Winter Program 2019 を開催した。(2019年1月18日～30日、マレーシアから1名参加)

■カスタマイズドプログラム

【Toyo Winter Program for Inha University & Daegu University 2019】

韓国の協定校である仁荷大学と大邱大学の学生を対象とした日本語特化型のプログラムを開催した。参加者の多くは日本語を勉強している学生や日本や日本文化に興味のある学生であり、多くの日本語の授業に積極的に取り組んだ。また、地方の生活を体験するプログラムでは国立市谷保に行き、地域住民と共に餅つきやしめ縄作りの体験を通して交流し、東京の都市部以外の一面も経験できた。参加者は仁荷大学から34名、大邱大学から20名の計54名であった。なお、本プログラムは2019年度より始める日韓3+1プログラムの第一歩として開催した。



※他にも義守大学(台湾)、鄭州大学西亞斯国際学院(中国)へのカスタマイズドプログラムを開催した。

〔※詳細は p.48 参照〕

トピックス⑦

Toyo Global Leader(TGL)プログラム TGL GOLD 認定

■ TGL GOLD 表彰

2019年3月23日、日本武道館にて挙行された平成30年度学位記授与式・卒業式内にてTGL GOLD認定者24名(4年生のみ)の表彰が執り行われた。

学長賞やスポーツ奨励賞の受賞者と同じく、TGL GOLD認定者24名の名前が読み上げられ全員が壇上に上がり、代表として国際地域学部国際観光学科4年の渡邊仁美さんに竹村学長より表彰状と副賞が授与された。24名の中には板倉キャンパス初、二部(夜間)の学生初のGOLD認定者が含まれる。



■ TGL GOLD 認定者の声

○渡邊仁美さん(国際地域学部 国際観光学科4年)

TGL GOLDを目指したのは将来やりたいことがわからず悩んでいた中で、大学生活に一つの目標が欲しいと思ったことがきっかけだった。TGL GOLDという目標に向かって、積極的に英語で行なわれている科目を履修し、海外長期インターンシップにも参加した。帰国後も英語力を伸ばすために積極的に留学生と交流し、東洋大学や日本の魅力を伝えていくことで、東洋大学生であることをとても誇りに感じる事ができた。

○宮原礁太さん(食環境科学部 食環境科学科4年)

TGL GOLDを目指した理由は、英語で学んだ成果がTGL GOLDの取得によって証明されると考えたためであり、海外留学を含め様々なことに挑戦した。卒業後は、TGL GOLDを目指したときのように目標を設定し、その達成のためにどのようにすべきかを考えながら行動したい。また、TGLプログラムを通して培った英語力もビジネスのツールとして活用していきたい。

■ TGL 認定者数目標値

2018年度及び過去の実績値は下表の通りである。TGL育成の目標値は、2019年度「GOLD」認定者数230名、「SILVER」認定者数1,000名、「BRONZE」認定者数2,500名としている。

(人)

	2016年度 (実績値)	2017年度 (実績値)	2018年度 (実績値)	2019年度 (目標値)	2023年度 (目標値)
TGL GOLD	0	13	26	230	460
TGL SILVER	32	91	485	1,000	1,100
TGL BRONZE	176	439	1,670	2,500	2,500

トピックス⑧

海外留学促進奨学金および単位認定制度の拡充と 学生派遣の拡大

海外派遣プログラムに対する学生のニーズの多様化に対応するため、2017 年度に続いて「東洋大学海外留学促進奨学金」制度を一部改正すると共に、休学中に外国の大学で修得した単位を本学の単位として認定する制度（以下「休学留学」）を開始した。

〈「東洋大学海外留学奨学金」制度 主な改正点〉

■「トップ大学型」の新設

世界のトップ大学への留学を奨励するため、既存の「グローバルリーダー型」に加えて「トップ大学型」（奨学金額一律 300 万円）を新設した。

■チャレンジ型奨学金 対象プログラムの拡大

2017 年度までは、夏季および春季休暇期間に開催されるプログラムのみをチャレンジ型奨学金の対象としていたが、2018 年度より授業期間中に開催されるプログラムも対象に含めることとした。これにより、正課科目での実習等、授業期間中のプログラムに参加する学生もチャレンジ型奨学金の利用が可能になった。

上記変更により、より多くの海外派遣者に対する経済的支援が可能になり、2018 年度の本奨学金の受給者は、658 名と前年度よりも 229 名（うち、チャレンジ型は 196 名）増加した。〔※詳細は p.63 参照〕そして海外派遣者数は、前年度よりも 300 名以上多い 2,463 名となった。〔※詳細は pp.52-56 参照〕

〈「休学留学」概要〉

以下のような要件を満たした場合、休学中に外国の大学で修得した単位を本学の単位として認定する。

■留学期間

休学期間を超えない範囲。原則として連続する 2 セメスタを超えて休学することは不可。

■単位認定の対象となる留学先

学位授与権を持つ大学（学部学生のみ 2 年制大学及び附属語学学校を含む）。学位授与権を有さない大学や民間の語学学校は単位認定の対象外。

■学生が行う主な手続き

留学前：留学先の決定、休学留学の届出、休学手続、留学の届出など

留学中：留学報告など

帰国後：復学手続、単位認定願等の提出など

2018 年度秋学期は、2 名の学生が本制度を利用して留学した。今後、学内での認知度の高まりに伴い、本制度を通じた海外派遣者数の増加が見込まれる。

トピックス⑨

UMAP 国際事務局の活動



Website
E-Mail

www.umap.org
umap-is@umap.org

—加盟国拡大、新規プログラム“UMAP-COIL Honors Program”開始

2016年1月よりアジア太平洋大学交流機構 (University Mobility in Asia and the Pacific : UMAP) の国際事務局 (事務総長：竹村学長) に本学が任命され、4年目を迎えた。2018年6月までに加わった5カ国/地域 (アメリカ (ニューヨーク州)、カナダ、中国、モンゴル、ラオス) に加え、2019年5月までに新たに5カ国 (インドネシア、カンボジア、キルギス共和国、チリ、マカオ) が年会費を払いプログラム参加資格を有し、そのネットワークは着実に拡大している。36カ国/地域 (下図参照) を対象に2019年1月より UMAP 議長を務めるタイの高等教育省とともに「アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進」を目的に活動している。



なお、本学の国際事務局は、文部科学省からの拠出金と本学の予算をもとに運営をし、日本国内では、文部科学省、UMAP 日本国内委員会をとりまとめている日本学生支援機構 (JASSO)、国立大学協会、公立大学協会、私立大学団体連合会及び協力大学と連携して、UMAP の普及に努めている。今後も東洋大学がアジア太平洋地域内の学生交流を推進するためのハブとしての役割を果たし、当該地域における高等教育レベルでの交流促進に貢献していく。

■ UMAP が提供する学生交流プログラム一覧 ※2017年4月1日より、JASSO 海外留学支援制度(重点政策枠) 対象プログラム A (多国複数大学間の交換留学プログラム)

UMAP 加盟国・地域の複数の大学 (UMAP 参加大学) 間で、各セメスター原則2名の派遣・受入を行う交換留学プログラム

プログラム B (二大学間交換留学プログラム)

プログラム A で原則2名を超える学生の派遣・受入を実施したい場合 (学費支弁型も含む)、双方の大学の合意の下で行う交換留学プログラム

プログラム C (短期留学プログラム)

UMAP 参加大学が、主に7月～9月の間、約1週間～8週間にわたり実施する短期留学プログラムで、テーマや実施規模は多様。

UMAP Discovery Camp (サマープログラム)

UMAP 加盟国が主催する夏季短期プログラム。2018年はタイ、2019年は台湾の教育部と輔仁大学がホストし、参加費 (授業料および寮費) は無料。

It's New! UMAP-COIL Honors プログラム

文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択され、そのプログラムの一環として UMAP 参加大学の学生を対象に2019年8月4～23日にかけてクルーズプログラムを実施する予定である (7



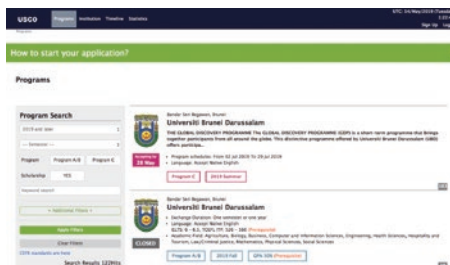
月1～21日はオンラインおよび大阪で事前研修)。「平和」「SDGs(持続可能な開発目標)」をメインテーマに、学生達は国内外のナビゲーター(教員や経営者など)と、韓国(釜山)、ロシア(ウラジオストック)、日本(関西、広島、九州、北海道、石巻)の各寄港地でフィールドワークと提携大学の講師による講義(バーチャルゲスト含む)に参加する。

■オンラインシステム(USCO)稼働

約250大学あるUMAPの参加大学が利用可能なUMAP Student Connection Online(USCO) Systemが2018年10月に稼働。メンバー校から提供される長期/短期留学プログラムに関する検索がUMAPのウェブサイトから可能となった。参加大学にはシステムを利用する為のIDとパスワードが発行されるので、学生の選考過程(出願～ノミネーション～プレイスメント)が透明化し、学生交流のデータベース化も可能となった。拡大するUMAPのネットワークに伴い、プログラムおよび学生交流数の増加にも対応出来る。

<主な機能>

- 学生：留学プログラムの検索、出願、選考過程の確認、留学後のアンケート提出
- 参加大学：大学基本情報登録、写真、コンタクトパーソンの登録
- 受入大学：プログラム募集要項登録、出願条件の入力、申込学生の出願情報の閲覧、受入可否の判断
- 派遣大学：選考学生のノミネーション、書類等の提出、選考過程および留学状態の確認



■UMAP 国際理事会の運営と国際セミナー・ワークショップの開催



UMAPの活動を円滑に推進するために、年に2回、議長国を務めるマレーシアと国際事務局のある日本において、国際理事会を開催。加盟国/地域から政府教育担当省庁の関係者や主幹大学の代表者が出席し、学生交換プログラムの活性化に向けた課題解決やUMAPサマープログラムなど新規事業の立案、広報活動等について議論を行っている。国際理事会の後、2018年は国際セミナー(公開)を留学生教育学会と共催。「Student Mobility in the Asia-Pacific Region and Japan's Role」をテーマにアメリカ、タイ、フィリピン、シンガポールから以下4名を招聘し、基調講演が行われた。

1. "Reassessing the Nature and Dynamics of Student Mobility within Asia Pacific Higher Education"
Dr. Deane Neubauer (University of Hawaii at Mānoa, U.S.A.)
2. "Mobility for Global Citizenship"
Dr. Nopraenue Dhirathiti (Mahidol University, Thailand)
3. "Trends, Challenges and National Strategy for Student Mobility in the Philippines"
Dr. Serafin L. Ngohayon (Ifugao State University, Philippines)
4. "Student Mobility in Asia & the Pacific: Expansion, Broadening & Deepening"
Dr. Teofilo C. Daquila (NUS Teaching Academy, Singapore)

その後UMAP加盟国代表者が「Future Development of UMAP」というテーマについてパネルディスカッションを行った。

■プロモーション活動

■ビデオ

UMAP 留学生の声、プログラム紹介

<http://umap.org/archives/>

■刊行物

UMAP Newsletter：年2回刊行

UMAP AT A GLANCE：UMAPの概要紹介パンフレット

■ソーシャルメディア

Facebook、Twitterで随時速報配信



トピックス⑩

官民協働海外留学支援制度

「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」への参加

■**制度概要**：本プログラムは2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度で、2020年までの6年間で約1万人の高校生、大学生を海外へ送り出すことを目標に設立された。支援企業は派遣留学生と共にグローバル人材コミュニティを形成し、「産業界を中心に社会で求められる人材」「世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材」へ育成するという観点から、28日以上2年以内の留学を支援する。派遣留学生は帰国後、海外体験の魅力を伝え、日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されている。

■**派遣概要**：本学からは1期～10期まで128名の学生が応募し、書面審査（一次審査）と面接審査（二次審査）を経て、27名が採用されている。

「トビタテ！留学 JAPAN 留学成果報告会」では、本学から1期生の高木一樹さん（国際地域学部 第1回報告会）が優秀賞、4期生の太野雛子さん（文学部 第3回報告会）が優良賞を受賞し、文部科学大臣より表彰された。



イスラエルでの多様性理解
(6期生：後藤智子さん)



アメリカ×フィリピン海洋環境調査
(7期生：開田岬さん)



ラオスで教育支援
(8期生：三澤岳志さん)

【トビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラム奨学金 学部別申請者及び合格者数】

	第1期～第8期 2014年7月～2018年2月		第9期 2018年7月		第10期 2019年2月		合計(人)	
	申請者	合格者	申請者	合格者	申請者	合格者	申請者	合格者
文	12	2	1	0	5	1	18	3
経済	6	2	1	0	3	0	10	2
経営	4	1					4	1
法	1	0	1	0			2	0
社会	14	3	2	0	3	1	19	4
国際地域	51	13	8	2	1	0	60	15
国際			3	0	2	0	5	0
理工	2	0					2	0
総合情報	3	1					3	1
生命科	1	0					1	0
ライフデザイン	3	0	1	1			4	1
合計	97	22	17	3	14	2	128	27

トピックス⑪

学生が主体となる国際的な交流

■ English Community Zone (ECZ) 〔※詳細は p.51 参照〕

ECZ は英語コミュニケーション能力を身につけたい学生が気軽に英語に触れることができるスペースである。日本人学生及び多国籍の留学生 ECZ スタッフが常駐しており、グループトークのサポート、イベント実施等、ECZ の管理・運営を行っている。来室する学生は、英語コミュニケーション能力向上だけではなく、日本人学生や留学生との交友関係を広げる良い場所としても活用している。2018 年度の年間延べ利用者数は 8,616 名であり、前年度より 4 % 増加した。次年度は多言語への対応や初心者向けのワークショップを取り入れ、より多くの学生が利用しやすい仕組みを作っていく。



Japanese Community Zone



Farewell Party

■ TGS (Toyo Gem Stone)

TGS とは、留学先から帰国した学生たちを中心とした団体で、ショートプログラムで本学を訪れる留学生へのサポートを通じて、英語力の維持や向上を目的にボランティア活動を行っている。

本団体には現在 20 ～ 30 名ほどの日本人学生及び留学生が所属しており、2018 年度はショートプログラムや海外からの訪問者への対応を数多く行なった。具体的な活動としては、ショートプログラムでの都内観光地の案内や日本語授業の補助、学生同士の英語でのディスカッション等がある。TGS の活動については多くの協定校担当教職員からも賛辞を得ており、今後益々の活躍が期待できる。

また、2019 年度より LEP (Language Exchange Partner) とも連携し、LEP のメンバー全員が参加できるイベントを毎月企画・運営することにより、東洋大学をより広く知ってもらう活動にも従事する予定である。



東京都檜原村にて田舎体験



Farewell Party



浅草へのフィールドトリップ

■ LEP (Language Exchange Partner)

LEP とは、本学で学んでいる留学生の生活や日本語・日本文化学習をサポートすることを通して、留学生と交流するパートナー制度である。

本制度は東洋大学生、留学生ともに応募制であり、2018 年度は通年で東洋大学生 136 名と交換留学生 114 名(合計 250 名)が参加した。

2018 年度までは東洋大学生 3 名と留学生 3 名ほどのグループに分かれて活動を行っていたが、2019 年度は学生の責任感ある活動やサポートの充実を目的に、東洋大学生と留学生 1 名ずつがペアとなるバディ制度へと変更する予定である。また、TGS (Toyo Gem Stone) との連携のもと、LEP メンバー全員が参加できるイベントを定期的に企画・運営していく。対象となる留学生も交換留学生のみから東洋トップグローバル奨学金 A 受給の正規学部生へ拡大するなど、今後さらに幅広い範囲を対象に充実したサポートを実現するべく計画を進めている。



交換留学生修了式にて

■ RA (Resident Assistant)

RA とは、本学への交換留学生等が居住する国際会館 (I-House) で共に生活しながら、留学生に対する生活サポート、規則等の徹底、寮が円滑に運営されるための管理補助を行う学生である。本学では 2015 年度より RA の募集・採用を行っている。

RA の応募要件としては「1 学期間以上の留学から帰国した者もしくは 1 学期間以上の留学が決定した者」等と定めている。具体的な英語要件は設定していないが、採用にあたり重視しているのは活動意欲や業務への適性ととも、日常会話に支障がない程度の英語力を有しているかであり、面接でこの点を審査している。2018 年度は通年で 9 名が RA として活動した。

RA は日常の留学生サポートに加えて毎月行われるイベントの企画・運営も行っており、本制度は様々な角度から留学生の暮らしを支えることができるだけでなく、RA 自身にとっても豊かな経験やさらに優れた国際感覚を身につけるための一助となっている。



国際会館でのイベントの様子

トピックス⑫

SGU 採択校のグッドプラクティスに関する調査・報告

本調査および報告は、国際部職員の SD (Staff Development) の一環である夏期研修として、他大学のグッドプラクティスの情報収集と本学への応用の可能性を考察することを目的に実施した。国際部所属の職員が日頃の業務担当を越えて以下のように6つのグループに分かれ、先駆的な取り組みを行っている SGU 採択校などについて予備調査を行い、その後、各大学を実際に訪問してヒアリングを行った。また、報告会では各チームが調査結果の報告とそれを踏まえた提案を行うとともに、本学における新たな取り組みについて活発な議論を行った。

■調査実施期間：2018 年 7 月～ 9 月

■調査大学一覧

チーム A	関西学院大学、早稲田大学
チーム B	広島大学、立教大学
チーム C	立命館アジア太平洋大学、国際基督教大学
チーム D	立命館大学
チーム E	創価大学、明治大学政治経済学部
チーム F	芝浦工業大学、慶應義塾大学

■報告会：2018 年 9 月 22 日、125 記念ホール

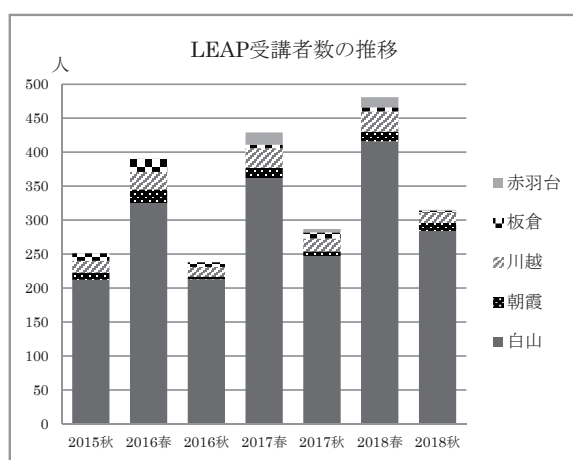
報告会では、海外留学の派遣者数を増やしている取り組みや外国人留学生の受け入れ体制を整えて学内の国際化を進める施策、学生主体の国際交流のあり方など、多岐にわたる他大学の実践および具体例が紹介された。

そして、全グループが報告を終了した後は、調査した大学の事例をいかにして本学へ応用するのかについて各グループで活発に議論し、その結果、本学においても学生主体の国際交流をより推進すべきとの意見が多く挙がった。なお、報告会は学内外に公開する形で行われ、学内からは経理部、経営企画本部事務課、学長事務課、学外からは TUGS 社、芝浦工業大学の参加があった。



LEAP プログラム

LEAP プログラム (Learning English for Academic Purposes) は、主に留学を目指す学生を対象に、学術英語運用能力や学習スキルを養成する全学的な取り組みとして開講している。LEAP プログラムはA科目 (Listening/Speaking 中心、週2コマ) とB科目 (Reading/Writing 中心、週2コマ)、さらに TOEFL® ITP 500 点相当を保持する学生を対象とした Pre-Study Abroad 科目で構成されており、白山キャンパスでは TOEFL® ITP のスコアを基準にレベル分けを実施している。1クラスの受講者数を25名程度とし、ペアあるいはグループワークを多く採り入れた授業構成とすることで、留学に必要な学術英語力のみならず、コミュニケーション力や大学での学習スキルなど、留学において必要となる能力全般の養成を目指している。



LEAP 受講者数

2016年度より春学期からの受講が可能となり、春学期の受講者数が増加した。2018年度受講者数は、延べ数で796名となった。年間を通して、受講者数が増加傾向にある。

年間を通して LEAP を受講した学生の TOEFL® ITP スコアの伸び

年間を通して LEAP を受講した学生は、TOEFL® ITP スコアの伸びが著しかった。

受講開始前の選抜試験(4月)と実力試験(7月または1月)とを比較すると、平均21.9点の上昇

LEAP 年間受講者の TOEFL® ITP スコアの伸び幅 (4月の選抜試験と7月または1月の実力試験の比較)

平均点の伸び幅	人数
10点以下	25
10～19点	38
20～29点	34
30～39点	23
40～49点	22
50～59点	12
60～69点	13
70点以上	8
伸び幅の平均	21.9点

が見られ、70～100点以上のスコアアップを達成した学生もいた。LEAPの授業は1学期に最大で週4コマを履修するため、一般的な学術英語集中プログラム(EAP)と比べても授業時間数は少ないが、受講生は着実なスコアアップを達成した。

English Camp, TOEFL® 講座受講者数

正課外で毎年2～3月に実施している English Camp の学生定員は70人である。近年は、留学生の学生スタッフが15名程参加することで、グループでの英語アクティビティがより活発化している。なお、「TOEFL® ITP 講座」の受講者数が減少した理由は、2015年度までは年2回の開催であったが、2016年度より年1回(夏季休暇期間中)の開催に変更したことによる。

	2013	2014	2015	2016	2017	2018
English Camp	84	70	78	80	57	55
TOEFL® ITP 講座	93	88	79	39	57	50

外国語力強化プログラム 課外語学講座・語学試験

＜課外語学講座＞

■学内向け講座 〔※詳細は pp.58-60 参照〕

全学的な英語力の向上を目的に、学内プログラムの拡充をはかった。

アカデミックライティングを指導するランゲージセンター（白山キャンパス 8 号館 1 階）では講師を各キャンパスに派遣し、Conference Writing (CW)、Special Academic Writing (SAW) のプログラムに加えて、TOEFL® iBT や IELTS™ 試験のライティングパートの演習に特化した Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策) のプログラムを新しく開講し、合計 328 名が受講した。また、特別プログラムとして、交換留学出願準備対策講座、出発前準備講座、英語での卒業論文執筆支援なども実施した。

英語資格試験対策講座 (IELTS™、TOEFL®, TOEIC® 対策講座) は今年も学内受験の試験スケジュールに合わせ年間を通じて開講し、合計 498 名が受講した。学生のモチベーションを上げるため、2 段階の要件 (出席率 9 割以上と対象テストの受験、目標スコアの達成) を設け、出席率は 89.9%、テスト受験率が 90.6% と高い数値を保つことができ、スコアも TOEFL® 講座は平均 36.0 点、TOEIC® 講座は平均 61.7 点向上した。

キャンパス内で受講できる＜キャンパス内留学＞【Toyo Achieve English】英語講座では、前年度から引き続き 26 名の講師が少人数制グループレッスンとマンツーマンレッスンを提供した。特に、マンツーマンレッスンの人気は高く、学生のレベルに合わせたオリジナル教材を使用して、学生の語学力の向上に寄与した。また高大連携の一環として、附属中学校及び高等学校（姫路・牛久・京北）にも引き続き 5 名の講師を派遣し、授業のほか English Camp、大学入学前教育において英語学習のサポートを行い、英語学習の意識付けとグローバル社会で活躍するためのコミュニケーション力の育成に貢献した。特に入学前教育では今年初めて牛久高校で入学予定者全員に TOEIC® 講座と英会話講座を提供し、5 日間の研修後 TOEIC® 平均スコアが 53 点の伸びが見られた。

【2018 年度課外講座受講者数（年間）】

（人）

プログラム名		受講者数			
		学生	教職員	附属校生	学外
ランゲージセンタープログラム		328			
英語資格試験対策講座	IELTS™ 講座	117			
	TOEFL® 講座	108			
	TOEIC® 講座	273			
その他課外講座		129			
【Toyo Achieve English】英会話講座		1,256	56	354	465
BEC プログラム					6
BEST プログラム		24			19
合計		2,235	56	354	490

■学外向け講座

＜キャンパス内留学＞【Toyo Achieve English】英語講座では、学外向け講座も充実し、全体で年間 465 名（前年比 252.7%）に英語講座を提供した。このうち、白山キャンパスで受講できる英会話講座は、中高生を中心に申込者が増え、年間で 181 名（前年比 241.3%）が受講した。受講者層の低年齢化が進んでおり、そのニーズに対応すべく園児から小学生を対象としたハロウィンとクリスマス一日イベント講座を開講し、合計で 55 名が参加した。また、今年度は新たに講師派遣を積極的に行い、文京区の施設にて主にシニア世代に英会話講座を提供した他、出張英会話により 142 名が受講した。特に一般受講生に関しては、効果的な広報と魅力的な講座の企画立案が集客に直結するため、今後もニーズを的確に捉え満足度を高める講座運営を目指していく。

カリフォルニア大学ロサンゼルス校継続教育センター（UCLA Extension）との共同プログラムである「Business English Communication Program（BEC プログラム）」は今年度 2 期開講した。また、本学独自のビジネス英語講座である「BEST プログラム」は通年で 5 期開講し、一般社会人を始め、本学教職員や在学生が受講した。2019 年度は本プログラムをさらに拡大し、新しい講座の展開を進めていく計画である。

今年度の課外語学講座受講者数は合計 2,235 名となった。次年度も受講者の拡大を図り、更なる学生の語学力向上に繋がる目的に応じた講座の開講を予定している。

＜語学試験＞

今年度も各種英語資格試験の団体受験制度を活用し、受験料の補助も行うことで学生の受験機会を増やした。TOEIC® L&R IP は全学を対象に白山キャンパスで団体受験を年 6 回実施（うち 1 回は川越、朝霞でも実施）し、各学部・研究科においても原則 1 年次には年 2 回、2 年次～4 年次には年 1 回の受験を促した。長期留学に必要となる各種英語資格試験の団体受験も実施し、TOEFL® ITP は年 7 回、IELTS™ の団体受験は年 5 回実施した。特に、IELTS™ 受験者数は昨年度に引き続き伸びが顕著であった。その他、TOEFL® iBT や TOEIC® S&W IP の受験料補助も行った。

また、今年度より英語だけではなく他言語の語学試験に対しても受験料の半額相当を補助することとし、学生の多様なニーズに即した支援を行った。

受験料補助の対象語学試験および級

- － 実用英語技能検定 （1 級・準 1 級）
- － ドイツ語技能検定 （4 級以上）
- － 実用フランス語技能検定 （4 級以上）
- － DELF（フランス語資格試験）（A1 以上）
- － 中国語検定試験 （4 級以上）
- － HSK（中国語標準検定）（1 級、初級以上）
- － ハングル能力検定 （4 級以上）
- － TOPIK（韓国語能力試験）（TOPIK I 以上）

英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト／ 日本語プレゼンテーションコンテスト

■英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト

2018年11月3日(土)、全学を対象とした英語スピーチ&プレゼンテーションコンテストを開催した。スピーチ部門は4回目の開催となり、今年度はグローバル人財の資質として必要となる総合的な表現能力の発表の場として、2～3名のグループによる英語プレゼンテーション部門を新たに追加した。

スピーチ部門は53名、プレゼンテーション部門は21組(56名)の応募があり、予選を経てそれぞれ11名、7組(17名)が当日発表を行った。

スピーチ部門では、各出場者がそれぞれの学部で学んだ知識や経験をもとに、グローバル化社会で異なる人々を繋げるためにどのように役立てることができるかを発表した。

プレゼンテーション部門では、日本の旅行会社に対しユニークで「粋」を感じることができる訪日外国人向けツアーの企画を提案するという設定のもと、学部・学科、また学年の相違を超えた学生同士で形成されたグループがそれぞれ発表を行った。

また、今年度も多数の企業・団体から協賛のご協力をいただき、更に特別審査員としてもご協力をいただいた。

どの出場者も観覧者の前で堂々と発表し、スピーチやプレゼンテーションを楽しんでいた様子で、「今回の経験を機に英語力をより磨いていく」という声が多数あがった。

<テーマ>

スピーチ部門：

How will you build bridges in our globalized world? Explain how your studies & experiences will connect different people to each other.
プレゼンテーション部門：

Promote international tourism to Japan using the concept of iki「粋」.
Propose a tour itinerary based on a product, art form, custom or tradition that illustrates the idea of iki.

<受賞者>

スピーチ部門：

1位

国際学部 国際地域学科 1年 菅井野々香さん

“What I have learned from the ECZ”

2位

総合情報学部 総合情報学科 1年 梁 藝宝さん

“How to connect foreign students and Japanese students at Toyo”

3位

理工学部 応用化学科 1年 曾 靖文さん

“Beauty without Boundaries”



スピーチ部門 1位受賞者 菅井野々香さん



スピーチ部門 集合写真



プレゼンテーション部門 優秀賞受賞者



プレゼンテーション部門 集合写真

プレゼンテーション部門：

最優秀賞

文学部 英米文学科 2年 小幡 航亮さん

文学部 東洋思想文化学科 2年 小松 優仁さん

国際学部 国際地域学科 2年 錦織 史哉さん

■第1回 全学日本語プレゼンテーションコンテスト

2018年12月15日(土)に、第1回東洋大学日本語プレゼンテーションコンテストを開催した。

東洋大学の留学生数は年々増加しているが、これまで全学に開かれた留学生の日本語学習成果の発表の場がなかった。日本語学習の機会と日頃の学習成果を発表する機会を提供する目的で、今年度第1回日本語プレゼンテーションコンテストを開催する運びとなった。

当日は、学部学科の垣根を越えた9グループが出場し、それぞれ興味を持ったトピックを選択、6分間のプレゼンテーションと4分間の質疑応答を行った。どのグループも流暢かつ高度な日本語を使いこなし、論理的で独創的な内容をプレゼンテーションした。中には、独自でアンケート調査を行い、その結果分析を発表するグループもあり、非常に高度な内容構成の発表となった。

今後も国際教育センターでは、留学生の日本語教育と就職をサポートするために、継続して本イベントを実施していきたい。

<テーマ>

次からキーワードを1つ選び、日本での就職を考える留学生の立場から意見を発表する。

「日本の最先端科学技術」、「人工知能を使った新たなビジネスアイデア」、「職場での異文化交流」、「日本のローカルビジネス」、「日本の働き方改革」、「日本企業で働く女性」、「東京オリンピック以降の日本」

<結果>

1位

タイトル「遠き者であり、隣人でもある」

国際観光学部 国際観光学科(交換留学生) Lee Youngin さん(韓国)

経済学部 国際経済学科 2年 Altankhuyag Bayarjargal さん(モンゴル)

国際学部 グローバル・イノベーション学科(交換留学生)

Espino Aguirre Evelyn Crissel さん(メキシコ)

2位・観客賞

タイトル「日本企業で働く女性」

文学部 史学科(交換留学生) Zhang Menghan さん(中国)

法学部 企業法学科(交換留学生)

Wu Chengqing さん(中国)

3位

タイトル「職場での異文化交流の壁」

文学部 東洋思想文化学科(交換留学生)

Tsai Peiyin さん(台湾)

経営学部 マーケティング学科 1年 陳 貫謹さん(台湾)

特別審査員賞

タイトル「空気を讀んだ上で空気をを変える」

社会学部 社会文化システム学科 1年 閻 美崙さん(中国)

文学部 国際文化コミュニケーション学科 1年 董 利さん(中国)



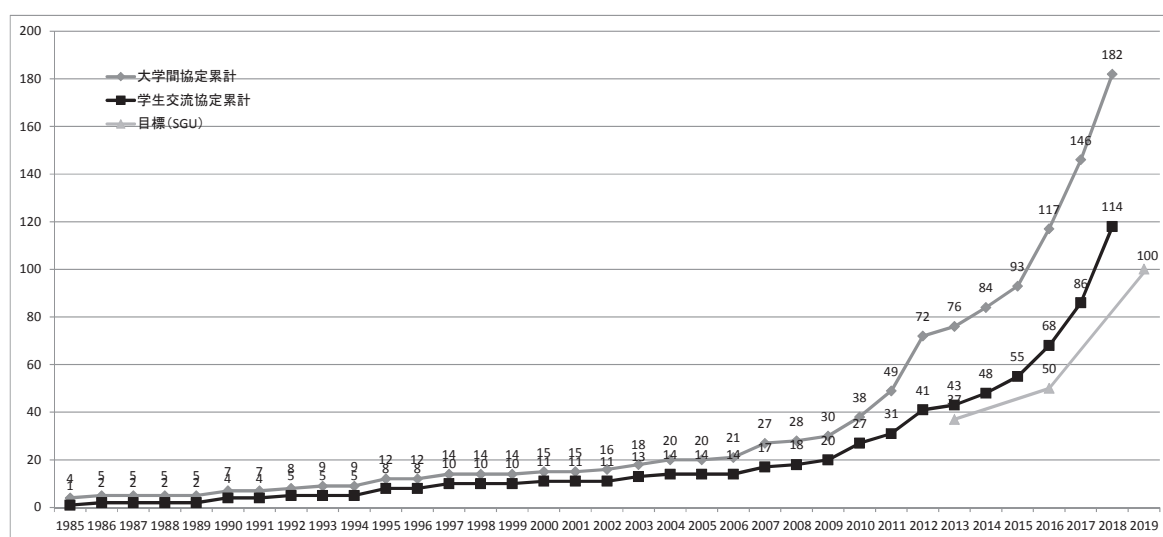
1位受賞者の皆さん



入賞者記念撮影の様子

海外ネットワーク／海外拠点の運営・活用

海外に留学して自分の文化と異なる文化の中で世界各国の学生と切磋琢磨することは、学生がグローバルに活躍できる人財に成長するための重要な要素の一つとして位置づけられる。できるだけ多くの学生がそのような経験をするためには、海外の信頼できる高等教育機関と協定を結び、安心して学生が留学できる環境を整えておかなければならない。学業、語学力ともにトップレベルの学生のみならず、より広い層の学生にも（留学に対して熱意と真摯さを持つ学生であれば）留学の機会を提供できるようにしなければならない。国際教育センターでは、2014年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援（タイプB：グローバル牽引型）」に採択以降、毎年世界各地で開催される国際教育分野の大会への参加や海外大学への訪問などを通じて、協定校、特に学生交流協定の開拓・拡大を続けてきた。費用の面から留学希望者間では交換留学の人気の高いが、そのための語学要件を満たすことができない学生も多い。そのため、1学期間は大学附属の語学プログラムで学び、語学要件を満たした上で2学期目に正規課程の履修を行うブリッジプログラム型の留学が可能な大学との協定を徐々に拡大している。また、英語で正規科目を提供したり外国人のための語学授業を提供したり欧州やアジアの大学など、学業面でも経済面でも魅力のある留学先の確保を図り、留学を希望する全ての学生がその機会を得られるように、協定校の開拓を継続していく。



■海外ネットワーク

(2019年3月31日現在)

大学間協定	件数 (国／地域数)
学術交流協定(包括協定)	165(34)
学生交流協定	114(27)
その他(教育交換・交換研究)	5(4)
全協定数合計	182(37)

- ・学術交流協定（包括協定）、学生交換協定を個別にカウント
- ・協定機関には大学・国際機関・コンソーシアム・都市（自治体）を含む。
- ・日本の協定機関は上表に含まない。

部局間協定	件数 (国／地域数)
学部(11学部)	62(23)
大学院(6研究科)	23(14)
研究所等(6箇所)	22(13)
全協定数合計	97(31)

※研究科と学部等三者間協定10件を含むため、合計は97件となる。

本学は、海外に拠点を4カ国6ヶ所に配置している。2018年度は新たにミャンマー拠点を設置した。なお、2019年度には2013年から5年間設置していたインド工科大学デリー校(IITD)内に再びオフィスをオープンする。それぞれの活動内容は以下の通りである。

<タイ拠点(バンコク)>

◆設置年 2014年1月

◆場 所 チュラロンコン大学

現地スタッフが2名常駐し、以下の役割を担う。

- (1) 短期海外研修と SFS (Short-term Field Study、国際学部が実施する短期研修) の受け入れ支援及び危機管理
- (2) タイの協定校開拓・連携：タイに事務所などを設置する他大学とのネットワーク構築。
- (3) 本学卒業生のためのネットワーク作り、留学生のリクルーティング等、本学のプロモーション活動



<アメリカ拠点(ロサンゼルス)>

◆設置年 2016年7月

◆場 所 カリフォルニア州

Affinity Associates と連携し、連絡拠点(リエゾンオフィス)を開設。本学の広報活動を展開。

<ベトナム拠点(ハノイ／ホーチミン／ダナン)>

◆設置年 2017年2月

◆場 所 株式会社 KYODAI のハノイ、ホーチミン、ダナン各事務所

株式会社 KYODAI に本学のリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験等における支援業務を行う。

<ミャンマー拠点(ヤンゴン)>

◆設置年 2019年1月

◆場 所 株式会社 MYA JAPAN SERVICE のヤンゴン事務所

株式会社 MYA JAPAN SERVICE に本学のリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験等における支援業務を行う。



交換留学受入プログラム、留学生対象プログラム

■より柔軟な受入の促進について

＜日本語科目の履修について＞

これまで日本語能力試験 N2 以上を取得していない全学協定の交換留学生に対し、日本語科目 NEST (Nihongo for Exchange Students at Toyo) プログラムの履修を義務付けていたが、2018 年度より、NEST の履修を希望しない学生は英語で開講する専門科目のみを履修することができるようにした。留学が 1 学期間のみの場合、日本への留学目的に必ずしも日本語の修得が入っている訳ではなく、専門科目のみを履修したいという声があったためである。実際、NEST の日本語科目を一切履修せず、英語による専門科目のみ履修した学生がでた。

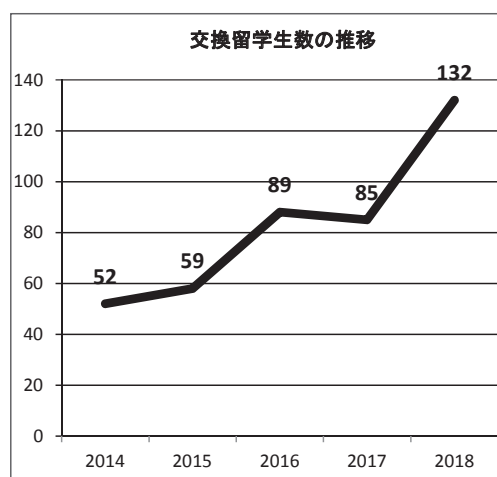
また、NEST プログラムの履修条件も変更した。2017 年度までは、NEST プログラムを履修する学生は 6 科目週 9 コマ全てを履修することが必須であったが、2018 年度からは 4 科目を選択履修制とした。これにより、専門科目と日本語科目両方を履修したい学生にとって時間割が組みやすくなった。

＜宿舎の選択制について＞

以前は原則全ての交換留学生が本学の国際寮・国際会館に滞在していたが、急激な交換留学生数の増加と多様なニーズに対応するため、国際会館の増床の他、新たに板橋区にある北園女子学生会館の利用と学外宿舎の選択を可能とした。これにより、より安定的に寮を提供できるようになったうえ、自立した学生等は自由に宿舎を探せるなど、学生の選択肢が広がった。

■交換留学生数・所属大学国について

より柔軟な受入が可能になったこともあり、交換留学生数は 19 カ国より 132 名と前年度より大幅に増加した。年間で 47 名の増加となり、この数字は 4 年前の 2.5 倍以上である。所属大学国としては、ノルウェー、ベトナム、スペイン、コロンビアが新たに加わった。



所属大学国名	2014	2015	2016	2017	2018
アメリカ	18	18	19	22	29
韓国	7	10	11	8	18
オランダ	2	3	14	12	13
フランス	4	6	6	7	13
台湾	2	3	2	4	13
カナダ		3	6	1	12
中国	3	2	8	9	9
フィンランド	1			3	5
イギリス	8	2	8	7	3
ドイツ	1	2	3	2	3
ノルウェー					3
メキシコ			2	1	2
スイス		1	1		2
スウェーデン	1		1		2
オーストリア				1	1
タイ				1	1
ベトナム					1
スペイン					1
コロンビア					1
アイルランド	2	7	5	3	
オーストラリア	3	1	2	2	
イタリア				1	
ブラジル				1	
エストニア		1			
チリ			1		
総計	52	59	89	85	132

■留学生対象イベントの実施について

留学生の日本社会や日本文化への理解を深めるため、学外機関の協力・依頼の下、毎年様々なイベントを実施している。2018年度は新たに「留学生防災体験ツアー」と「汐見小学校英語交流」を実施した。また、各教育機関との交流を通して留学生の社会貢献に繋げることができた。

これらのイベントは2017年度より交換留学生に加え正規留学生にも開放している。

【留学生対象イベント一覧】

イベント	主催	実施時期	概要
田植え体験	国際教育センター	5月	群馬県板倉町の農家協力のもと、田植え、および揚げ舟を体験。
留学生防災体験ツアー	国際教育センター	5月	池袋防災館にて、地震・火災時の消化等を体験し、防災について学ぶ。
ホームステイプログラム	国際教育センター	7月・10月・11月	群馬県板倉町での日本家庭体験、および茨城県日立市での農家民宿体験。
相撲部見学・体験	国際教育センター	1月	本学相撲部の協力のもと、練習の見学および相撲体験。練習後は相撲部学生とちゃんこ鍋を食べながら交流。
LEAP English Camp	国際教育センター	3月	LEAP English Camp に、先生の補助、および英語での交流役として参加。
Let's Chat in English!	京北中学高等学校	6月・7月・11月・12月	附属校の京北中学高等学校の中学生、高校生と英語で交流。
白金小学校英語交流	白金小学校	5月	港区立白金小学校の生徒と英語で交流、および学校給食を体験。
北区短期国際交流員	北区	夏期	北区内の保育園、児童館、高齢者施設等で自国文化紹介や地域の方との交流。
朝霞西高校異文化交流	朝霞西高等学校	11月	埼玉県立朝霞西高等学校の生徒に、自国文化を紹介。
ラグビー部入替戦 応援ツアー	学生支援課	12月	本学ラグビー部の関東大学リーグ戦入替戦応援ツアーに参加。
汐見小学校英語交流	汐見小学校	1月	文京区立汐見小学校の生徒と英語で交流、および学校給食体験。
姫路中学校 English Camp	姫路中学校	3月	姫路中学校の English Camp に、先生の補助、および英語での交流役として参加。



留学生防災体験ツアー



汐見小学校英語交流

各種留学・派遣プログラムの実施状況

東洋大学全体で、2018 年度に海外へ派遣した学生は、延べ 2,463 名であった。2017 年度派遣者数より 300 名以上増加した。この人数には、学部・研究科主催の語学研修や専門研修、フィールドワーク、学外留学団体等を利用した語学研修、海外インターンシップ・ボランティア等も含まれている。

海外派遣者数の拡大に向けて、東洋大学国際教育センターでは、主に以下の海外留学・研修プログラムを実施した。
[※詳細は pp.52 ～ 56 ページ参照]

■交換留学

2018 年度Ⅰ期では 18 名、Ⅱ期では 81 名の学生を交換留学生として派遣した。

留学期間を 1 学期間でも選択できるよう募集枠を設け、学生の多様なニーズに応えている。近年英語圏の国への留学を希望する学生が増加する一方で、フランスや中国、韓国をはじめとする非英語圏の協定校への志願者が減少していたため広報活動を強化したところ、2018 年度内に募集・選考を行なった 2019 年度派遣学生で、アジアやヨーロッパなど非英語圏への留学予定者数は 54 名（Ⅰ期 11 名、Ⅱ期 43 名）と、イギリス・北米・オーストラリア・アイルランド等の英語圏への留学予定者数 49 名（Ⅰ期 2 名、Ⅱ期 47 名）を上回る結果となった。今後も、英語圏・非英語圏ともそれぞれの留学の特色や魅力を発信し、多様な国への留学を支援していく。

■認定留学

2018 年度は春出発 13 名、秋出発 12 名、合計 25 名を派遣した。出願時期にあわせた定期的な説明会の開催および国際教育センターの留学カウンセリングサービスを通じた告知等により、プログラムに対する本学内での認知が高まってきている。

また、2018 年度は協定校型認定留学プログラムを設け、学生交換協定のない協定校 5 大学へ留学するプログラムで学生を募ったところ、授業料が比較的安価であることや、語学基準が本学学生の応募しやすいレベルであること、出願のタイミングが交換留学より遅いこと、語学を学んでから大学正規課程の受講を組み合わせたブリッジプログラムが充実しているという理由で、選択肢のひとつとして考える学生が増加した。2019 年度募集に向けて更に協定校のない地域への留学や、ブリッジプログラムの企画開発等を外部団体の協力を仰ぎながら進めている。

■協定校語学留学

2018 年度は春学期 88 名、秋学期 92 名、合計 180 名の学生が参加した。2013 年度にプログラムを開始して以来、派遣者数は着実に伸びてきている。

2018 年度は、新たにアメリカのペース大学、カナダのバンクーバーアイランド大学、レスブリッジ大学、ウィニペグ大学、ブロック大学、オーストラリアのサザンクロス大学ゴールドコーストキャンパスのコースを新設した。また、一部のコースでは、語学科目に加えて学部正規科目の履修も可能とし、学生からのニーズの多様化に対応した。

2019 年度の募集に向けては、授業料減免型および免除型コースの新設等を行い、学生の経済的な負担を軽減することにも取り組んでいく予定である。

■協定校等主催短期プログラム

本学の海外協定校等が主催する短期プログラムへ学生を派遣しており、2018 年度は天主教輔仁大学（台湾）へ 4 名、中原大学（台湾）へ 4 名、パイロイト大学（ドイツ）へ 2 名、キャンパスフランス（フラン

ス)へ4名、UMAP協定校へ2名の学生を派遣した。

■語学セミナー

2018年度は夏季4コース(アメリカ、カナダ、オーストラリア、マレーシア)、春季5コース(アメリカ、カナダ、アイルランド、オーストラリア、マレーシア)を実施した。参加者数は計156名で、2017年度から40名増加した。コース設定にあたっては、北米、ヨーロッパ、オセアニア、アジアと異なる地域でプログラムを実施し、各地域の特色が反映されるようにした。全コースをオープンクラスで実施することにより、各学生のレベルに合った英語学修機会の提供、また他国からの留学生と一緒に学修・活動できる機会を提供した。加えて、ボランティア活動など地域の方と交流できる機会も設定し、プログラム内容を充実させた。今後の新規コース開発にあたっては、引き続き危機管理および学習成果の観点から派遣先を選定し、学生の多様なニーズに応えられるよう企画・運営を行っていく予定である。

■海外インターンシップ・ボランティア

2018年度は様々な分野や研修地域のニーズに応えるべく、夏季11コース、春季10コースを実施し(夏季・春季ともにアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン)、計58名が参加した。海外経験が初めての学生から、レベルの高い実践的な研修に関心のある学生までのニーズに応えるべく、語学学校に通いながらボランティアに参加するコースや現地企業で実際に英語を使用してインターンシップに従事するコースなど、それぞれ特色のあるコースを設定した。これまで高い語学要件を課していた『USA・シアトルインターンシップ』は『USA・シアトル/ウッディンビル海外インターンシップ～貿易ビジネス/社会福祉』と『USA・シアトル現地日系団体ボランティア～語学学校+広告メディア/高齢者福祉～』に分け、後者は語学学校に通い英語力の向上を図りながら学生が関心のある分野でレベルの高いボランティアに参加できるように内容を充実させた。今後も学生の多様なニーズに応えられるよう様々な分野のプログラムを実施するなど、質の高いプログラム実施に向けて取り組んでいく。

■日本語パートナーズ

日本語パートナーズとは、2014年度独立行政法人国際交流基金がASEAN諸国との交流拡大を目的に開始したプログラムである。ASEAN(東南アジア諸国連合)諸国等の教育機関で日本語を教える教師等の補佐及び日本文化等の紹介を行う人材を日本国内で募集、選抜、事前研修等を行い、派遣している。2017年度の派遣より「大学推薦プログラム」が開始され、本学も独立行政法人国際交流基金との協定締結を行い、参加している。その結果、2018年度はタイへ2名、インドネシアへ2名の学生が参加した。

■ Diversity Voyage

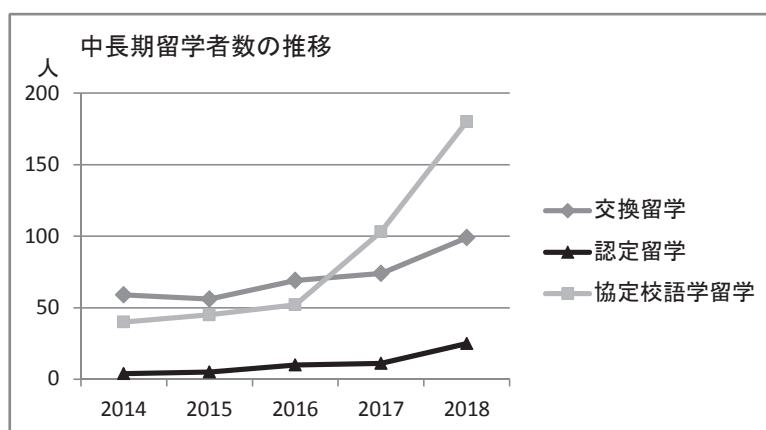
現地学生と共にフィールドリサーチを実施する課題解決型の短期海外研修「Diversity Voyage」。2018年度は、従来からの5つのコース(フィリピン、マレーシア、ラオス、インドネシア、カンボジア)にブータンのコースを加え、応募者は過去最多の295名となり、184名の学生を派遣した。これまで実施した第10期までの各参加者の合計が、現地参加者も含めると1,323名となった。2019年度の実施により、日本人参加者のみでも1,000名を超える予定である。参加者の中には、帰国後に文部科学省の海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN」を利用して、長期留学や海外の長期インターンシップに参加した学生もいる。また、現地での研修成果を活かし帰国後も本研修の根本的なテーマであるSDGs(持続可能な開発目標)に沿った課題解決へ向けて自発的に取り組む学生も多い。グローバル人材育成の導入的プログラムとして今後も積極的に継続していく。

■国連ユースボランティア (UNYV)

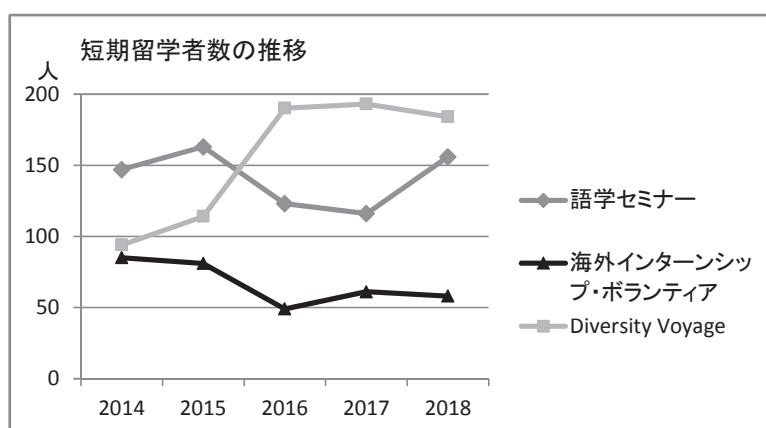
国連ユースボランティアは、国連ボランティア計画 (UNV) が大学と連携して実施する長期海外インターンシップである。開発途上国での国際協力活動の経験を通じ、国際社会や異文化理解に関する知識、主体性や責任感を習得することを目的としている。応募にはボランティア経験が問われるだけでなく、国連オフィスで職員として広報業務やイベント企画を行うための、高い語学力とコミュニケーション能力が求められる。2018 年度は 1 名の学生がタイへ派遣され、現地オフィスにて 5 ヶ月間広報活動等に従事した。

■ワシントンセンター (TWC)

ワシントンセンターはアメリカの首都ワシントン D.C. の公的機関、NPO 及び企業などでの約 3 ヶ月間の就労体験に加えて、各種分野のセミナーやキャリア講習などの受講を通じ、高度なキャリア意識や国際的感覚を養う長期海外インターンシップである。2018 年度は 3 名の学生が派遣され、それぞれの関心や専門分野に即した企業にて活動を行った。



※交換留学は、国際教育センター主催分の留学者数



国際学術交流(国際会議、教員交流等)：シンポジウムの開催

「スーパーグローバル大学創成支援」採択校として、日本の大学が国際化を推進する上で抱える課題やそれに付随する先進事例等を、他大学や関係団体と共有し問題の解決に取り組むことを目的として下記セミナーおよび講演会を開催した。本企画により再認識した本学の課題を共有し、引き続き留学生の受入拡大や質保証に向けた教育システム整備に取り組んでいく。

パブロ・ネルーダ『大いなる歌』日本語版刊行記念の集い

開催日：2018年9月18日／参加人数：約70名／開催場所：東洋大学白山キャンパス

概要：チリのロベルト・アンブレロ外務大臣の来日にちなみ、中南米11カ国の大使ならびに大使館関係者を招き、チリを代表するノーベル文学賞詩人パブロ・ネルーダの『大いなる歌』日本語版刊行記念の集いを開催。

UMAP 国際フォーラム Student Mobility in the Asia-Pacific Region and Japan's Role

開催日：2018年9月24日／参加人数：約100名／開催場所：大阪商業大学

概要：「Student Mobility in the Asia-Pacific Region and Japan's Role」をメインテーマとし、Dr. Deane Neubauer (University of Hawaii at Mānoa, U.S.A.) 他3名をシンガポール、タイ、フィリピンより招き、フォーラムとパネルディスカッションを開催。UMAPの36加盟国/地域の高等教育機関の教職員および政府関係者が集い、活発な議論が行われた。

JAISE – KAIE Joint Seminar ～これからの国際学生交流を考える～

開催日：2018年11月1日／参加人数：約50名／開催場所：東洋大学白山キャンパス

概要：「これからの国際学生交流を考える」をメインテーマとし、日韓両国の政策レビューから大学での好事例、革新的な取り組みまで幅広いトピックについて発表。韓国国際教育者協会 (KAIE: Korean Association of International Educators) のメンバーを迎え、留学生教育学会 (JAISE: Japan Association for International Student Education) と東洋大学国際連携本部との共催、UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific アジア太平洋大学交流機構) の協力のもと開催された。

ミクロネシア写真展『南洋の光』及び講演会

開催日：写真展2018年11月6日(火)～12月6日(木)、講演会2018年11月4日(日)

開催場所：東洋大学白山キャンパス

概要：白山キャンパス8号館1階のロビーにて、フロイド・K・タケウチ氏の写真展『南洋の光』を実施。また、写真展の開催に併せ、学生にミクロネシアに対する理解を深めてもらうべくタケウチ氏による講演会を実施。

「外国学修歴・資格認証(FCE)と人材流動化－人口減少・定住外国人・日本語教育－」

開催日：2018年12月1日／参加人数：約80名／開催場所：東洋大学白山キャンパス

概要：日本が、多様な国から留学生や高度人材を受け入れていくうえで、外国学修歴・資格認証(FCE)のシステムや概念をどう生かしていくことができるかを検証するセミナーを開催。

国際共同セミナー「アジアの高等教育とIPPM」

開催日：2019年3月6日／参加人数：約90名／開催場所：AP市ヶ谷 Learning Space

概要：International Program & Provider Mobility (IPPM) の概念研究および国際教育研究の第一人者である Jane Knight 博士をお迎えして、IPPM の最新動向をテーマとする国際セミナーを開催。

交換研究員の派遣

〔派遣〕

交換研究員の派遣は、交換協定に基づき、協定校において研究に従事することを目的として専任教員が派遣される。交換研究員は、派遣先協定校の要請に基づき、講義等の教育活動に参加する場合がある。派遣期間は原則として3ヶ月以上1年以内。交換研究員の応募資格は、原則として本学の専任教員として3年以上勤務した者となっており、帰国後は派遣期間の2倍に相当する期間を本学の専任教員として勤務する義務がある。

■交換研究員派遣一覧

年度	派遣者氏名	所属	派遣国	協定校名	研究テーマ	研究協力者	派遣期間
2013	曾田 長人	経済学部 国際経済学科	ドイツ	マールブルク大学	ドイツ人文主義の思想・社会的背景に関する研究	Ulrich Sieg	2013年3月31日～2014年4月2日
	関 勝寿	経営学部 会計ファイナンス学科	フランス	ストラスブール大学	(1) 土壌中の放射性セシウム長期移動シミュレーション (2) 土壌中の不飽和水分移動シミュレーション	Philippe Ackerer	2013年3月25日～2014年3月24日
2014	平瀬 和基	経済学部 国際経済学科	ドイツ	マールブルク大学	経済主体の協調行動についての基礎理論と行動経済学的アプローチの研究	Evelyn Korn	2014年4月1日～2015年3月31日
	村上 真准	総合情報学部 総合情報学科	アメリカ	ウィノナ州立大学	拡張現実技術を使用した複数の人間と雑談することができる擬人化エージェントシステムの構築	Matthew Strecher	2014年9月1日～2015年8月31日
2015	中林 靖准	総合情報学部 総合情報学科	イギリス	カーディフ大学	大規模数値シミュレーション及び最適化システムの開発	Kensuke Yokoi	2015年4月1日～2016年3月31日
2016	宇都宮京子	社会学部 社会学科	スイス	ルツェルン大学	Max Weber, Luhmann と現象学	Cornelia Bohn	2016年4月1日～2017年3月10日
2017	里吉 清隆	経営学部 会計ファイナンス学科	アメリカ	ミズーリ大学セントルイス校	証券市場の計量分析(1) 資産価格の時系列分析(2) オプション価格の評価	Yiuman Tse	2017年3月28日～2018年3月29日
	ブランシャール・ニコラ	経済学部 総合政策学科	フランス	ストラスブール大学	フランス景観保存政策における広告と看板の規制制度の分析	Dominique Badariotti	2017年8月3日～2018年8月21日
2018	藤本 貴之	総合情報学部 総合情報学科	アメリカ	カリフォルニア大学ベーカーズフィールド校	メディア産業の構造およびエンターテインメント産業／技術の日米比較	Mary Slaughter	2018年9月1日～2019年9月1日
2019	山口 裕之	経営学部 経営学科	イギリス	カーディフ大学	社内起業家の育成と確保：企業内イノベーションのプロセス分析	Rick Delbridge Jonathan Morris	2019年4月1日～2020年4月1日
	喜岡 恵子(予定)	総合情報学部 総合情報学科	イギリス	コベントリー大学	鉄道運転士の事故防止支援のための心理アセスメントシステムに関する日英比較研究	Andrew Parkes	2019年8月5日～2020年8月4日
	吉江由美子(予定)	食環境科学部 食環境科学科	フランス	ストラスブール大学	食品中の有用成分とその機能一括分析ならびにその効率的な前処理方法の開発	Eric Marchioni	2019年7月1日～2020年3月31日

〔受入〕

2011年度以降受入実績なし

外国人研究員の受入

交換研究員とは別に、本学において主として研究に従事する外国人研究員を受け入れている。外国人研究員に応募するには、外国の大学あるいは教育研究機関に所属している教員・研究員であること、また本学で雇用されておらず、主として本学での研究に従事する者で、所属機関より推薦を受け、本学の受け入れ教員の承諾を得ている必要がある。経費は原則自己負担となるが、身分が保障され、本学の施設設備を利用することができる。過去5年間の受け入れは以下の通りである。

■外国人研究員受入一覧

年度	研究員氏名	国籍	所属機関	所在国	受入学部	受入教員	研究テーマ	受入期間
2014	Agustin Jacinto Zavala	メキシコ	ミチョアカン大学院大学	メキシコ	文学部	相楽 勉	井上円了と西田幾多郎の著作に見る危機の時代における道徳教育と倫理学	2014年10月1日～2015年9月30日
2015	王 宇	中国	中国伝媒大学	中国	社会学部	薬師寺克行	日本におけるリスクのメディアアカバレッジについて	2015年10月1日～11月19日
	宮 曉東	中国	北京理工大学設計芸術学院	中国	ライフデザイン学部	高橋 儀平	日本におけるユニバーサルデザインの経験と応用に関する研究	2016年2月1日～2016年4月30日
2016	Mark Kam Loon Loo	カナダ	エドモントン・コンコルディア大学	カナダ	法学部	グリーン スティーブン	ASEAN 諸国の国際競争力：カナダのビジネスに与えるリスク、機会、忠告について	2016年5月1日～7月31日
	胡 鳴	中国	浙江旅遊職業学院	中国	社会学部	王 雪萍	日中国交正常化後の日本人の対中イメージの変遷とメディア	2017年3月1日～8月31日
	苏 尤丽	中国	新疆財経大学	中国	経済学部	城川 俊一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	汤 建国	中国	新疆財経大学	中国	経済学部	城川 俊一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	汪 江桦	中国	新疆財経大学	中国	経済学部	城川 俊一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	張 銳智	中国	遼寧大学	中国	法学部	後藤 武秀	黄遵憲の中日法文化交流に対する貢献に関する研究(日中比較法史)	2017年2月1日～7月31日
	金 相日	韓国	東国大学校	韓国	文学部	山田 利明	20世紀前半期在日本東京朝鮮人留学生(仏者)の学習活動調査と朝鮮通信使の道踏査研究	2017年3月1日～8月31日
	徐 仁範	韓国	東国大学校	韓国	文学部	森 公章	「朝鮮通信使の道を行く(著書)」と朝鮮虎皮・豹皮の朝貢と賜与を通じてみた東アジア国際秩序(論文)	2017年3月1日～2018年2月28日
2017	馬 燕平	中国	山西大学商務学院	中国	経済学部	続 三義	経済学科のカリキュラムと改革の研究	2017年4月1日～9月30日
	魏 鍾善	韓国	ウィノナ州立大学	アメリカ	文学部	朝比奈美知子	児童文学、読書教育、教師教育、多文化文学	2017年9月1日～12月31日
	袁 岳駟	中国	湖南科技学院経済与管理学院	中国	経済学部	郝 仁平	日中における農村地域の経済開発に関する比較研究	2017年9月1日～2018年8月31日
2018	黄 懷谷	中国	珠海城市職業技術学院	中国	社会学部	王 亜新	認知参照点モデルに基づく日本のマグスポット研究ー中国観光への波及効果に関連して	2018年9月1日～2020年8月31日

学術交流協定校協定締結一覧

〔2019年3月31日現在〕〔国別締結日順〕

NO	国／地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
1	アイルランド	ダブリンシティ大学	大学間	1990年9月10日	○	○	
2		リムリック大学	大学間	2011年3月3日	○	○	
3	アメリカ	モンタナ大学	大学間	1987年3月12日	○	○	
4		オレゴン州立大学	大学間	1992年4月27日	○	○	
5		ミズーリ大学セントルイス校	大学間	1995年5月17日	○	○	
6		日本政策投資銀行	機関	2005年2月28日	○	-	
7		ISEP(アイセップ)	コンソーシアム	2005年3月8日	-	○	ISEP-Direct との合意書(2008年1月29日)、ISEP-International-to-International との合意書(2013年10月28日)あり。
8		NCPPP(米国 PPP 協会)	機関	2007年9月27日	○	-	
9		ウィノナ州立大学	大学間	2009年5月5日	○	○	
10		メリヴィル大学	大学間	2010年1月11日	○	○	
11		テネシー大学ノックスビル校	大学間	2010年11月10日	○	○	
12		リンゼイウィルソン大学	大学間	2010年11月19日	○	○	
13		カリフォルニア州立大学モンテレイベイ校	大学間	2011年3月16日	○	○	
14		ポートランド州立大学	大学間	2012年11月26日	○	-	
15		ルイスクラーク州立大学	大学間	2013年6月26日	○	○	
16		バデュー大学ノースウェスト校	大学間	2015年1月23日	○	○	
17		プレスビテリアン・カレッジ	大学間	2015年4月6日	○	○	
18		チャタム大学	大学間	2016年12月13日	-	○	
19		ジョンソン・アンド・ウェルズ大学	大学間	2017年5月31日	-	○	
20		カレッジ・オブ・ザ・デザート	大学間	2017年8月7日	○	○	
21		ネブラスカ大学カーニー校	大学間	2017年9月11日	○	○	
22		ノースアラバマ大学	大学間	2017年9月22日	○	○	
23		ヒューストン大学	大学間	2017年9月28日	○	-	
24		ウェストテキサス A&M 大学	大学間	2017年11月21日	-	○	
25		カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校	大学間	2017年11月29日	○	○	
26		カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校	大学間	2018年1月5日	○	○	
27		フォックス・バレー・テクニカル・カレッジ	大学間	2018年3月15日	○	○	
28		ウェスタンミシガン大学	大学間	2018年3月26日	-	○	
29		オーガスタナカレッジ	大学間	2018年5月30日	○	○	
30		コロラド大学コロラドスプリングス校	大学間	2018年6月24日	○	○	
31		ハートウィックカレッジ	大学間	2018年7月23日	○	○	
32		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ	大学間	2018年7月25日	○	※	※一方の授業料負担型留学
33		ニューヨーク州立大学ブロッポート校	大学間	2018年8月24日	-	○	
34		カリフォルニア州立大学スタニスラウス校	大学間	2018年9月4日	○	○	
35		ベース大学	大学間	2018年9月13日	○	※	※一方の授業料負担型留学
36		ワシントンセンター	大学間	2018年10月15日	○	-	
37		アイイーエスアブロード	機関	2018年11月8日	○	-	
38		ハワイバシフィック大学	大学間	2019年1月8日	○	○	
39		ボストン大学	大学間	2019年2月4日	○	-	
40		フラットヘッドバレーコミュニティカレッジ	大学間	2019年2月15日	○	○	
41	イギリス	ブライトン大学	大学間	2007年10月4日	○	※	※対象は BNC と学際融合
42		カーディフ大学	大学間	2010年11月1日	○	○	
43		ヨークセントジョン大学	大学間	2012年4月19日	○	○	
44		セントラル・ランカシャー大学	大学間	2013年7月16日	○	○	
45		コベントリー大学	大学間	2017年11月20日	○	-	
46	イタリア	ロムアルド・デル・ピアンコ財団	機関	2014年11月27日	○	-	

NO	国／地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
47	イタリア	フィレンツェ大学	大学間	2016 年 5 月 2 日	○	○	
48		トリノ大学	大学間	2016 年 11 月 30 日	○	○	
49		ボローニャ大学	大学間	2018 年 3 月 12 日	○	○	
50		カメリーノ大学	大学間	2018 年 4 月 24 日	○	-	
51		ローマ・ラ・サピエンツァ大学	大学間	2018 年 5 月 11 日	○	-	
52		ベネツィア大学	大学間	2018 年 6 月 4 日	○	○	
53	インド	インド工科大学マドラス校	大学間	2011 年 12 月 22 日	○	-	
54		マンガラン教育協会、(マンガラン工科大学)	大学間	2012 年 5 月 21 日	○	-	
55		ケララ大学	大学間	2012 年 6 月 8 日	○	-	
56		インド工科大学デリー校	大学間	2012 年 8 月 31 日	○	-	
57		スリー・チトラ・トゥリニユアル医療科学技術 研究所	大学間	2015 年 9 月 14 日	○	-	
58		ジャワハルラー・ネルー大学	大学間	2017 年 5 月 8 日	○	-	
59	インドネシア	スラバヤ工科大学	大学間	1994 年 1 月 1 日	○	-	
60		マラナタ基督教大学	大学間	2016 年 6 月 16 日	○	-	
61		ガジャマダ大学	大学間	2016 年 8 月 24 日	○	○	
62		国立デンパサール・ヒンドゥー大学	大学間	2016 年 11 月 10 日	○	-	
63	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学	大学間	2010 年 11 月 22 日	○	-	
64	オーストラリア	シーキュー大学	大学間	1997 年 9 月 8 日	○	○	旧セントラルクイーンズ大学
65		サンシャインコースト大学	大学間	2008 年 3 月 13 日	○	○	
66		インターナショナル・カレッジ・オブ・マネー ジメント・シドニー	大学間	2015 年 10 月 14 日	○	○	
67		サザンクロス大学	大学間	2016 年 4 月 25 日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣可
68		ディーキン大学	大学間	2016 年 4 月 25 日	※	-	※授業料学生負担の学生派遣可
69		ニューカッスル大学	大学間	2017 年 12 月 22 日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣可
70		カーティン大学	大学間	2018 年 8 月 20 日	-	○	
71	オーストリア	アッパーオーストリア大学シュタイヤー校	大学間	2019 年 3 月 19 日	○	○	
72	オランダ	ロッテルダム応用科学大学インターナショナル ビジネススクール	大学間	2012 年 5 月 14 日	○	○	
73		アムステルダム応用科学大学	大学間	2014 年 11 月 22 日	○	○	
74		フォンティス・アカデミー	大学間	2016 年 3 月 31 日	○	○	
75		ティオ応用科学大学	大学間	2017 年 11 月 27 日	○	○	
76	カナダ	トンブソンリバーズ大学	大学間	2007 年 6 月 15 日	-	○	
77		マニトバ大学	大学間	2011 年 3 月 31 日	○	-	
78		クワントレンポリテクニク大学	大学間	2012 年 2 月 16 日	○	○	
79		サスカチュワン大学	大学間	2013 年 2 月 13 日	○	-	
80		エドモントン・コンコルディア大学	大学間	2015 年 1 月 23 日	○	○	
81		レイクヘッド大学	大学間	2016 年 6 月 7 日	○	○	
82		バンクーバーアイランド大学	大学間	2017 年 2 月 28 日	○	-	
83		ウィニペグ大学	大学間	2017 年 6 月 16 日	○	-	
84		レスブリッジ大学	大学間	2017 年 6 月 16 日	○	-	
85		ブロック大学	大学間	2017 年 8 月 23 日	○	-	
86		ダグラスカレッジ	大学間	2018 年 3 月 22 日	○	○	
87		ジョージブラウンカレッジ	大学間	2019 年 3 月 25 日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
88		セント・メアリーズ大学	大学間	2019 年 3 月 25 日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
89	カンボジア	王立ブノンベン大学	大学間	2015 年 1 月 26 日	○	-	
90	ケニア	ジョモ・ケニヤッタ農工大学	大学間	2016 年 11 月 11 日	○	-	
91	スイス	ルツェルン大学	大学間	2012 年 1 月 24 日	○	○	
92		国連欧州経済委員会 PPP 推進局 (UNECE PPP)	機関	2015 年 8 月 4 日	○	-	
93	スウェーデン	リンネ大学	大学間	2016 年 9 月 27 日	○	-	
94	スペイン	デウスト大学	大学間	2016 年 8 月 31 日	-	○	
95	スロベニア	リュブリャナ大学	大学間	2013 年 2 月 26 日	○	-	
96	タイ	アジア工科大学院	大学間	2007 年 4 月 5 日	○	-	

NO	国／地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
97	タイ	チェンマイ大学	大学間	2012 年 12 月 22 日	○	○	
98		タマサート大学	大学間	2016 年 12 月 16 日	-	○	
99		プラナコン・シー・アユタヤ・ラチャバット大学	大学間	2017 年 3 月 14 日	○	-	
100		チュラロンコン大学	大学間	2018 年 10 月 30 日	○	○	
101	台湾 (台湾省／中国)	天主教輔仁大学	大学間	2000 年 6 月 20 日	○	○	
102		中国文化大学	大学間	2012 年 2 月 8 日	○	○	
103		龍華科技大學	大学間	2012 年 7 月 18 日	○	-	
104		東海大学	大学間	2016 年 7 月 12 日	○	○	
105		義守大学	大学間	2017 年 6 月 12 日	○	○	
106		国立中興大学	大学間	2018 年 2 月 9 日	○	○	
107		実践大学	大学間	2018 年 2 月 22 日	○	○	
108		中原大学	大学間	2018 年 6 月 26 日	○	○	
109		弘光科技大学	大学間	2019 年 2 月 14 日	○	-	
110		靜宜大学	大学間	2019 年 2 月 21 日	○	○	
111	韓国	韓国外国語大学	大学間	1995 年 8 月 30 日	○	○	
112		東国大学	大学間	1995 年 8 月 31 日	○	○	
113		大邱大学	大学間	2003 年 6 月 27 日	○	○	
114		平澤市	都市	2007 年 8 月 16 日	○	-	
115		建国大学	大学間	2008 年 11 月 10 日	○	○	
116		金剛大学	大学間	2011 年 2 月 1 日	○	○	
117		韓南大学	大学間	2012 年 1 月 11 日	○	○	
118		成均館大学	大学間	2012 年 9 月 6 日	○	○	
119		円光大学	大学間	2012 年 12 月 20 日	○	○	
120		仁荷大学	大学間	2013 年 1 月 10 日	○	○	
121		世宗大学	大学間	2018 年 6 月 27 日	○	○	
122		釜山外国語大学	大学間	2018 年 10 月 31 日	○	○	
123		漢陽大学	大学間	2018 年 11 月 8 日	○	○	
124	中国	上海對外貿易大学	大学間	1985 年 10 月 19 日	○	-	
124		中国人民大学	大学間	1997 年 9 月 29 日	○	○	
126		大連外国語大学	大学間	2003 年 8 月 10 日	○	○	
127		大連理工大学	大学間	2006 年 6 月 14 日	○	-	
128		吉林大学	大学間	2012 年 3 月 13 日	○	-	
129		中国海洋大学	大学間	2015 年 6 月 24 日	○	○	
130		上海工程技術大学	大学間	2015 年 7 月 16 日	○	-	
131		北京語言大学	大学間	2015 年 9 月 15 日	○	○	
132		上海外国語大学	大学間	2016 年 5 月 10 日	○	○	
133		北京理工大学	大学間	2016 年 10 月 27 日	○	○	
134		香港中文大学深圳校	大学間	2018 年 4 月 19 日	○	○	
135		暨南大学	大学間	2018 年 5 月 31 日	○	○	
136		鄭州大学西亜斯國際學院	大学間	2018 年 6 月 15 日	○	○	
137		温州大学	大学間	2019 年 3 月 8 日	○	-	
138	ドイツ	マールブルク大学	大学間	1990 年 4 月 19 日	○	○	
139		バイロイト大学	大学間	2015 年 2 月 11 日	○	○	
140		ミュンヘン応用科学大学	大学間	2019 年 2 月 8 日	-	○	
141	日本	UMAP(アジア太平洋大学交流機構)	コンソーシアム	2014 年 3 月 3 日	-	○	国際事務局の所在する国
142		国連ユースボランティア関連(関西学院大学、大阪大学、国際教養大学、上智大学、筑波大学、明治大学、明治学院大学、立教大学)	コンソーシアム	2016 年 6 月 3 日	○	-	
143		大学コンソーシアム	コンソーシアム	2016 年 10 月 11 日	○	-	ダルマプルサダ大学との協力強化のための大学コンソーシアム
144		富山県富山市	都市	2016 年 10 月 26 日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
145		群馬県板倉町	都市	2016 年 10 月 26 日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定

NO	国／地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
146	日本	一般財団法人国際協力推進協会	機関	2017 年 6 月 15 日	※	-	
147	ニュージーランド	ユニテック工科大学	大学間	2013 年 1 月 17 日	○	-	
148	ノルウェー	トロムソ大学	大学間	2017 年 10 月 10 日	○	○	
149	ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー原子核研究所	機関	2012 年 5 月 7 日	○	-	
150		ブダペストメトロポリタン大学	大学間	2019 年 2 月 4 日	○	○	
151	バングラデシュ	シャージャラル科技大学	大学間	2015 年 5 月 28 日	○	-	
152	フィリピン	カラガ州立大	大学間	2011 年 11 月 14 日	○	-	フィリピンの 3 大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の 5 者間協定。
153		サンホセリコルトス大学	大学間	2011 年 11 月 14 日	○	-	
154		セントジョセフ工科大学	大学間	2011 年 11 月 14 日	○	-	フィリピンの 3 大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の 5 者間協定。
155		ファーザー・サトゥルニノ・ユリオス大学	大学間	2011 年 11 月 14 日	○	-	フィリピンの 3 大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の 5 者間協定。
156		ブトゥアン市	都市	2011 年 11 月 14 日	○	-	フィリピンの 3 大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の 5 者間協定。
157		フィリピン大学ディリマン校	大学間	2012 年 6 月 21 日	○	-	
158		フィリピン大学セブ校	大学間	2013 年 11 月 14 日	○	-	
159		セブ州	都市	2016 年 10 月 22 日	○	-	
160		ブトゥアン市	都市	2016 年 10 月 26 日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
161		デ・ラ・サール大学ダスマリニャス校	大学間	2017 年 11 月 23 日	○	-	
162		マブア大学	大学間	2019 年 1 月 22 日	○	-	
163	フィンランド	ハーガ＝ヘリア応用科学大学	大学間	2016 年 8 月 15 日	○	-	
164		メトロポリア応用科学大学	大学間	2018 年 3 月 27 日	○	-	
165		ヤムク応用科学大学	大学間	2018 年 10 月 17 日	○	○	
166	ブラジル	カンピーナス大学	大学間	2017 年 10 月 27 日	○	○	
167		サンパウロ大学	大学間	2018 年 3 月 13 日	○	○	
168		ストラスブール大学	大学間	1985 年 12 月 9 日	○	○	
169		ナント大学	大学間	2012 年 12 月 7 日	-	※	※対象は BNC と学際融合
170	フランス	ソルボンヌ大学	大学間	2013 年 3 月 19 日	○	○	前バリ第 6 大学。バリ第 6 大学とバリソルボンヌ第 4 大学が合併し、ソルボンヌ大学と名称変更した。
171		IAU(国際大学協会)	コンソーシアム	2014 年 11 月 21 日	○	-	
172		リール大学	大学間	2015 年 11 月 27 日	○	○	前シャルル・ド・ゴール大学(リール第 3 大学)。リール第 1 大学、リール第 2 大学、リール第 3 大学が合併し、リール大学と名称変更した。
173		バリ・ディドロ大学(バリ第 7 大学)	大学間	2017 年 2 月 20 日	○	○	
174	ブルガリア	聖クリメント・オフリツキ・ソフィア大学	大学間	2015 年 3 月 17 日	○	○	
175		ソフィア工科大学	大学間	2019 年 2 月 1 日	○	-	
176	ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン校	大学間	2002 年 4 月 2 日	○	-	
177		FPT 大学	大学間	2016 年 9 月 12 日	-	○	
178		日越大学	大学間	2018 年 2 月 16 日	○	-	
179	ベルギー	トマスモア応用科学大学	大学間	2018 年 12 月 10 日	○	○	
180	マレーシア	マラヤ大学	大学間	2012 年 4 月 28 日	○	-	
181		テイラーズ大学	大学間	2015 年 11 月 19 日	○	○	
182		マレーシア工科大学	大学間	2016 年 12 月 16 日	○	-	
183		ヘルプ大学	大学間	2017 年 7 月 28 日	○	-	
184		サンウェイ大学	大学間	2017 年 10 月 6 日	○	-	
185	メキシコ	モンテレイ大学	大学間	2018 年 7 月 19 日	○	○	
186	ルーマニア	ティミショアラ工科大学	大学間	2012 年 6 月 22 日	○	-	
187		ブカレスト経済大学	大学間	2018 年 4 月 20 日	○	○	

※網掛けは 2018 年度新規協定締結校(38)

学部・研究所等協定締結一覧

〔2019年3月31日現在〕〔学部別国別締結日順〕

NO	主体	国／地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
1	文学部	インドネシア	国立デンパサールヒンドゥー大学	国立デンパサールヒンドゥー大学神学部と東洋大学文学部との学術交流に関する協定	共同研究等の学術交流	2016年11月21日
2		中国	復旦大学		学生交換等の学術交流	2016年4月28日
3		スイス	チューリッヒ大学	チューリッヒ大学と東洋大学との交換協定書	学生交換等の学術交流	2018年10月16日
4	経済学部	イギリス	ウォーリック大学英語教育センター	東洋大学経済学部とウォーリック大学英語教育センター間における短期プログラムに関する協定書	教育	2002年8月19日
5		中国	対外経済貿易大学国際学院	「中国研修プログラム」に関する協定書	教育(短期研修)	2012年3月19日
6		アメリカ	ハワイ大学マノア校	合意に関する覚書	学術交流	2018年4月20日
7	経営学部	タイ	泰日工業大学	泰日工業大学経営学部と東洋大学経営学部及び東洋大学大学院経営学研究科との学術協力交流に関する覚書	学術交流、学生交流	2016年10月7日
8		イギリス	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	ハートフォード・カレッジ・プログラム(英国イングランド、オックスフォード、キャット・ストリート、ハートフォード・カレッジ)と東洋大学(日本)との間の海外留学プログラムに関する協定	学生交流	2018年8月22日
9	法学部	イギリス	ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン校心理学・言語科学学部	東洋大学法学部とユニヴァーシティカレッジロンドン校心理学部との間における東洋大学法学部短期海外留学プログラム実施に関する協定書	短期語学研修	2013年5月8日
10		中国	厦門大学法学院	中国厦門大学法学院と法学部との交流協定	学術交流活性化(中国法・日本法教育)	2008年12月13日
11			遼寧大学法学院	東洋大学法学部(日本)と遼寧大学法学院(中国)の教育研究交流協定	研究交流	2018年9月7日
12			西北政法大学 経済法学院	日本国東洋大学法学部と中国西北政法大学経済法学院の教育研究交流協定	研究交流	2018年6月1日
13		ドイツ	異文化コミュニケーション協会	東洋大学法学部短期海外留学プログラム実施のためにルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘンと異文化コミュニケーション協会が合同で開講するドイツ語セミナーに関する協定書	短期語学研修	2014年3月27日
14		ノルウェー	トロムソ大学	トロムソ大学人間社会科学学部と東洋大学法学部の学術協力に関する協定	教育・学術交流および国際協力進展(包括的学術交流)	2014年5月8日
15		アメリカ	ノースウエスト大学	東洋大学国際地域学部とノースウエスト大学との学生交換協定	学生交換・学生派遣	2016年12月14日
16			カリフォルニア州立工科大学ボモナ校	カリフォルニア州立ボモナ校と東洋大学国際地域学部の交流に関する覚書	学術交流	2013年12月20日
17		イギリス	ブリマス大学	ブリマス大学と東洋大学国際地域学部との協定締結に関する覚書	学術交流	2017年3月10日
18	国際地域学部	インドネシア	バラヤンガン・カトリック大学工学部	東洋大学国際地域学部とバラヤンガン・カトリック大学工学部間における学術交流協定書	教育・学術交流	2003年8月28日
19		オーストラリア	カーティン工科大学人文学部	カーティン工科大学人文学部と東洋大学国際地域学部の学術協定	教育・学術交流	2009年6月2日
20		オーストリア	ザルツブルグ応用科学大学	東洋大学国際地域学部とザルツブルグ応用科学大学との学生交換協定	学生交換	2016年12月5日
21			オーバーエスターライヒ州応用科学大学	オーストリア・オーバーエスターライヒ州応用科学大学と東洋大学との学部間協定	学生交換	2017年4月6日
22		カナダ	センテナリアルカレッジ	東洋大学国際地域学部とセンテナリアルカレッジとの学生交換協定	学術交流・学生交換	2016年11月28日
23		韓国	慶熙大学校	日本国東洋大学国際地域学部と韓国慶熙大学校ホテル観光大学との間における交流に関する協定書	教育・学術交流	2003年3月18日
24		スウェーデン	リンネ大学社会科学部	東洋大学国際地域学部(日本)とリンネ大学社会科学部(スウェーデン)との学術交流及び学生交換に関する協定	学生交換・学術交流	2016年9月26日
25		タイ	ブラバ大学	ブラバ大学人文学部と東洋大学国際地域学部の協定締結に関する覚書	教育・学術交流	2014年7月17日
26			チュラロンコーン大学政治学部	東洋大学国際地域学部とチュラロンコーン大学政治学部との協定締結に関する覚書	包括的学術交流・学生交換・共同研究	2016年7月1日
27		中国	南開大学国際商学院	南開大学国際商学院と東洋大学国際地域学部との交流に関する覚書	教育・学術交流	2002年10月6日
28		フィンランド	ハーガ=ヘリア応用科学大学	ハーガ=ヘリア応用科学大学と東洋大学国際地域学部の学生交換に関する協定	学生交換	2016年8月15日

NO	主体	国／地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
29	国際地域学部	ベトナム	ベトナム都市農村計画研究所・農村開発計画研究所	ベトナム都市農村計画研究所・農村開発計画研究所と東洋大学国際地域学部の包括的学術協定	教育・学術交流	2015年11月27日
30			国立ハノイ建設大学	東洋大学国際地域学部と国立ハノイ建設大学建築学部との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年2月15日
31			ハノイ建築大学	東洋大学国際地域学部とハノイ建築大学との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年2月23日
32		リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学	東洋大学とヴィータウタス・マグヌス大学との協定締結に関する覚書	包括協定・学生交換	2017年3月14日
33	国際学部	アメリカ	ワシントン大学コンティナム・カレッジ	東洋大学国際学部及びワシントン大学コンティナム・カレッジ協定	包括協定	2017年9月12日
34			ミネソタ州立大学マンケート校	ミネソタ州立大学と東洋大学 学生および教員交換プログラム協定	包括協定、学生交換、学生派遣	2018年2月19日
35		イギリス	ケント大学	日本国東洋大学国際学部と英国ケント大学との間の学生交換及び短期留学プログラムに関する協定書	学生交換・派遣	2017年11月1日
36			コベントリー大学	コベントリー大学と東洋大学の間の学生交換に関する協定書	学生交換	2018年7月16日
37			ウィンチェスター大学	ウィンチェスター大学協定書	包括協定	2018年7月12日
38		インドネシア	スプラスマレット大学	スプラスマレット大学と東洋大学国際学部における覚書要旨	包括協定	2018年5月25日
39		オーストラリア	モナシュ大学	モナシュ大学(オーストラリア)と東洋大学国際学部の留学生受入れ協定	学生受入	2019年3月1日
40		オランダ	アムステルダム応用科学大学、ビジネス・経済学部	東洋大学国際学部とアムステルダム応用科学大学ビジネス・経済学部との学生交換協定	学生交換	2017年12月21日
41		カナダ	ビクトリア大学	東洋大学国際学部とビクトリア大学との学生派遣に関する協定	学生派遣	2017年10月4日
42			セントローレンスカレッジ	セントローレンスカレッジ及び東洋大学国際学部の間の了解覚書	包括協定	2018年8月14日
43		スリランカ	スリランカ・セナワタ都市リソースセンター	スリランカ・セナワタ都市リソースセンターと東洋大学国際学部との MOU	包括協定	2017年7月10日
44		ニュージーランド	オタゴ大学	オタゴ大学(ニュージーランド)と 東洋大学(日本)の留学協定	学生交換	2019年2月13日
45		ノルウェー	オスロ首都大学	オスロ首都大学 社会科学ビジネススクール及び社会福祉・児童福祉・社会政策学科と東洋大学 国際学部および国際学研究所の間の覚書	包括協定	2019年1月7日
46		フィンランド	ラハティ国民高等学校	ラハティ国民高等学校と東洋大学との包括的学術交流協定	包括協定	2017年8月18日
47			メトロポリタ応用科学大学	メトロポリタ応用科学大学と東洋大学との包括的学術交流協定	包括協定	2018年4月25日
48		フランス	シアンスポ・トゥールーズ大学	シアンスポ・トゥールーズ大学と東洋大学国際学部間の学生交換に関する合意書	学生交換	2017年5月22日
49			セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマン・アンレイ 政治学院	セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマンアンレイ政治学院と東洋大学国際学部との協定書	包括協定、学生交換	2017年9月8日
50			リール・カトリック大学	東洋大学(日本国 東京)とリール・カトリック大学(フランス リール)の間の協定書	包括協定、学生交換	2017年9月15日
51			ストラスブール大学	グローバル・イノベーション学科の学生受入れのための追加協定	学生受入	2018年4月23日
52		ブルガリア	プロブディフ大学史学・哲学部	プロブディフ大学歴史哲学学部と東洋大学国際学部間の交流協定要旨	包括協定	2018年8月2日
53		ポーランド	ヴロツワフ経済大学	ヴロツワフ経済大学との交換協定	学生交換	2018年4月1日
54	国際観光学部	台湾	文藻外語大学	文藻外語大学と東洋大学との間における包括的学術交流協定	学生交換	2017年9月20日
55		香港	香港理工大学	香港理工大学と東洋大学との学生交換協定	学生交換	2017年12月14日
56	生命科学部	台湾	中央研究院細胞個体生物学研究所	中央研究院・細胞個体生物学研究所と東洋大学生命科学部との学術協力交流協定	教育・学術交流	2013年8月30日
57	ライフデザイン学部	韓国	社団法人韓日福祉経営協議会	東洋大学ライフデザイン学部と社団法人韓日福祉経営協議会の連携に関する協定	福祉における人的・知的資源等の交流・活用を図ること	2006年1月24日
58		中国	北方工業大学建築芸術学院	東洋大学ライフデザイン学部と北方工業大学建築芸術学院の連携に関する協定	相互に連携して、双方の学問領域における人的・知的資源等の交流・活用を図ること	2013年6月6日
59		インドネシア	デンパサールヒンドゥー大学	国立デンパサールヒンドゥー大学神学部と東洋大学ライフデザイン学部との学術交流に関する協定	学術交流	2018年12月6日
60	ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	ローマ・ラ・サピエンツァ大学と東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科との包括学術協定及び学生交換に関する協定	包括・学生交換	2018年12月1日
61	食環境科学部	インドネシア	ボゴール農科大学 水産学部	ボゴール農科大学水産学部と東洋大学食環境科学部との学術交流協定	学術交流	2014年7月23日

NO	主体	国／地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
62	情報連携学部	ウズベキスタン	トリノ工科大学タシケント校	東洋大学情報連携学部及び情報連携学研究所とトリノ工科大学タシケント校との間の学術協力および交流に関する協定	学術交流	2018年4月9日
63	文学研究科 インド哲学 仏教学専攻	韓国 中国	金剛山大学大学院社会福祉仏教学科 中国人民大学宗教学高等研究院	大学院生交流ならびに学術会議の共同開催に関する覚書	教育・学術交流	2012年6月22日
64	文学研究科 哲学専攻	オーストリア	ウィーン大学哲学・教育学部哲学科	学術協力交流協定	教育・学術交流	2015年と5月21日
65	経営研究科	タイ	泰日工業大学	泰日工業大学経営学部と東洋大学経営学部および東洋大学経営学研究所との学術交流協定に関する覚書	学術・学生交流	2016年10月7日
66	国際地域学 研究科国際 観光学専攻	中国	暨南大学	暨南大学と東洋大学との学生交換に関する協定	学生交換	2018年2月28日
67	生命科学 研究科	チリ	メリモユ生態系研究所メリ基礎研究センター	メリモユの生態環境科学調査機関と東洋大学生命科学研究科における共同協定	包括・学生交換	2017年4月1日
68		ノルウェー	アクバプラン・ニバ研究所	基本的合意書	包括・学生交換	2017年8月1日
69			トロムソ大学	基本的合意書	包括・学生交換	2017年8月1日
70		インドネシア	ハサスディン大学	協定合意書	学術交流	2018年4月1日
71		スリランカ	スリランカ国立基礎研究所	基本的合意書	学術交流	2019年3月18日
72		イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	ローマ・ラ・サピエンツァ大学(伊)土木・産業工学部および東京・東洋大学(日)生命科学研究科間における学生交換合意書	学生交換	2018年12月19日
73	福祉社会デザイン研究科	韓国	社団法人未来福祉文化研究会	東洋大学福祉社会デザイン研究科と社団法人未来福祉文化研究会の連携に関する協定	教育・学術交流	2008年9月29日
74	福祉社会デザイン研究科人間環境デザイン専攻	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	メカトロニクス共同研究・教育交流に関する覚書	教育・学術交流	2015年12月14日
75	ライフデザイン研究科	イタリア	ミラノ工科大学	ミラノ工科大学と東洋大学における学生交流に関する覚書	学生交流	2018年10月1日
76	アジア文化研究所	中国	遼寧大学日本研究所	日本国東洋大学アジア文化研究所と中国遼寧大学日本研究所との研究協力に関する協定	共同研究の実施	2017年11月18日
77	アジア文化研究所	トルコ	アンカラ大学アジア太平洋協働研究センター	日本国東洋大学アジア文化研究所とトルコアンカラ大学アジア太平洋協働センターとの研究協力に関する協定書	研究協力	2019年1月10日
78		アメリカ	フロリダ・アトランティック大学 Center for Urban Redevelopment and Education	協定書	研究協力	2009年3月30日
79			ジョージア工科大学 Center for Advanced Communications Policy	協定書	研究協力	2009年3月30日
80	PPP研究センター	スイス	国連欧州経済委員会 PPP 推進局 (UNECE PPP)	覚書	PPP 推進のための協力体制構築および国連 PPP 推進活動として認定	2011年7月4日
81		フィリピン	フィリピン大学フィリピン経済開発センター (P C E D)	東洋大学 PPP 研究センターとフィリピン経済開発センターの技術提携・交流に関する協定 (AGREEMENT ON TECHNICAL OPERATION AND EXCHANGE)	研究協力	2011年11月15日
82	国際共生社会研究センター 国際地域学 研究科	インドネシア	インドネシア・シア・クアラ大学津波災害研究センター	東洋大学国際共生社会研究センターとインドネシア・シア・クアラ大学津波災害研究センター間における学術交流協定	研究	2013年1月1日
83		中国	河南科技学院	東洋大学国際共生社会研究センターと河南科技学院間における共同研究協定	研究	2014年4月1日
84			四川大学香港理工大学災后重建与管理学院	東洋大学国際共生社会研究センターと四川大学香港理工大学災后重建与管理学院間における共同研究協定	研究	2014年8月1日
85		バングラデシュ	バングラデシュ工科大学土木工学部	東洋大学国際共生社会研究センターとバングラデシュ工科大学間における学術交流協定	研究	2011年8月24日
86	21世紀 ヒューマン・インタラク ション・リサーチ センター	韓国	翰林大校応用心理研究所	協定書	研究基盤の強化	2010年3月29日
87			成均館大学大学院心理学専攻	東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラク ション・リサーチ・センターと成均館大学大学院心理学専攻の協力協定	共同研究	2014年3月28日
88	生命科学研究科 生命環境科学センター	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	東洋大学およびローマ・ラ・サピエンツァ大学間の科学文化協定基本合意書	学術交流	2018年12月18日

NO	主体	国／地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
89	バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター／学際・融合科学研究科	アメリカ	ライス大学機械工学・材料科学部	バイオ・ナノイノベーションプログラム連携協定	教育研究連携	2011 年 11 月 21 日
90		イギリス	オックスフォード大学ニコル・グローバル研究グループ	グローバル・ナノ・イノベーション・プログラムのための共同研究に関する覚書	GCOE のための教育研究連携	2009 年 3 月 1 日
91		イタリア	イタリア技術研究所	合意書	教育研究連携	2016 年 1 月 1 日
92		インド	C.M.S. カレッジ	ナノ・イノベーション・プログラムに関する覚書	教育研究連携	2014 年 4 月 1 日
93			スリー・チトラ・トゥリニユアル医療科学技術研究所	学術協力・交流に関する協定	教育研究連携	2015 年 5 月 22 日
94			アミティ大学	ナノ・イノベーション・プログラムに関する覚書	教育研究連携	2015 年 9 月 1 日
95			ラマイア工科大学	協定書	教育研究連携	2018 年 12 月 6 日
96		ハンガリー	ブタベスト工科経済大学	バイオ・ナノイノベーションプログラム連携協定	教育研究連携	2012 年 7 月 1 日
97		ルーマニア	ブカレスト大学 国立物質材料研究所	グローバル・ナノ・イノベーション・プログラムの連携協定	教育研究連携	2014 年 1 月 1 日

※網掛けは 2018 年度新規協定締結校 (26)

学生受入

■ 2018 年度 受入留学生数

		正規生				交換留学生		総計
		2018.5.1 現在		10 月採用	9 月入学	Ⅰ 期	Ⅱ 期	
		国費	私費	国費	私費			
学部	文学部		150			11	14	175
	経済学部		108			6	9	123
	経営学部		137			6	7	150
	法学部		75			7	8	90
	社会学部		111			6	9	126
	国際地域学部		56					56
	国際学部		108		14	10	20	152
	国際観光学部		39			8	11	58
	情報連携学部		60		5			65
	ライフデザイン学部		8					8
	理工学部		103					103
	総合情報学部		70					70
	生命科学部		23					23
	食環境科学部		8					8
	学部計		0	1,056	0	19	54	78
大学院	文学研究科	4	25					29
	社会学研究科	1	22					23
	法学研究科		1					1
	経営学研究科		31					31
	工学研究科							0
	理工学研究科		9					9
	経済学研究科	1	21					22
	国際学研究科		7		5			12
	国際観光学研究科		6					6
	国際地域学研究科	7	28	1				36
	生命科学研究科	1	1					2
	社会福祉学研究科		12					12
	ライフデザイン学研究科		1					1
	福祉社会デザイン研究科		15					15
	学際・融合科学研究科	6						6
	総合情報学研究科		8	1	1			10
	食環境科学研究科							0
	情報連携学研究科							0
	大学院計		20	187	2	6	0	0
総計		20	1,243	2	25	54	78	1,422

対象期間：2018 年 4 月～2019 年 3 月

－交換留学生(Ⅰ期)：2018 年 4 月 1 日受入

－交換留学生(Ⅱ期)：2018 年 10 月 1 日受入

※部局間交換留学生 17 名含む

資料編
③[illegible]

45

■交換留学生受入者数(部局間協定含む)

期別	制度	国	所属大学	部局間	2014	2015	2016	2017	2018
I 期	協定校	アメリカ	チャタム大学						1
		イギリス	カーディフ大学					3	2
			ヨークセントジョン大学					1	
		オーストラリア	サンシャインコースト大学			1			
			セントラルクイーンズランド大学				1	1	
		オランダ	アムステルダム応用科学大学				2		2
			フォンティスアカデミー					1	1
			ロッテルダム大学			3	4	6	8
		カナダ	クワントレンボリテクニク大学					1	
			トンブソンリバーズ大学				2		7
		韓国	円光大学校		2	2	2		
			韓国外国語大学校		1	1	1	1	2
			韓南大学校			2	1		2
			建国大学校						2
			金剛大学校		2	2	2		
			大邱大学校			1	2	1	2
			仁荷大学校		1	1	1	1	2
			東国大学校			1	1		1
		スイス	ルツェルン大学				1		1
		スウェーデン	リンネ大学	★					2
		台湾	文藻外語大学	★					2
		中国	中国人民大学				2		
			北京語言大学						2
			北京理工大学						2
		フィンランド	ハーガ＝ヘリア応用科学大学	★					1
		ベトナム	FPT 大学						1
	I S E P	アメリカ	アグネス・スコット大学						1
			インディアナ大学・バデュー大学フォートウェイン						1
			ウエスタンワシントン大学					1	1
			ケネソー州立大学				1		
			セント州立大学					1	
			サンノゼ州立大学						1
			ネブラスカ大学リンカーン校						1
			バトラー大学				1		
			ブエルトリコ大学					1	
			ミズーリ州立大学					1	1
		オーストラリア	チャールズ・スタート大学				1		
		スウェーデン	カールスタード大学				1		
		ブラジル	FAAP					1	
		メキシコ	レビオモンタナ大学				1		
	U M A P	韓国	弘益大学校				1		
		タイ	チェンマイ大学						1
		台湾	国立台湾科技大学						1
			国立高雄第一科技大学			1			
		実践大学						1	2
		メキシコ	コリマ大学						1
			パハカリフォルニア自治大学					1	
小 計 第I期					6	14	28	23	54
II 期	協定校	アイルランド	ダブリンシティ大学			6	3	3	
			リムリック大学		2	1	2		
		アメリカ	ウィノナ州立大学			2		2	3
			ウェストテキサス A&M 大学						2
			カリフォルニア州立大学モントレーベイ校		5	2		1	2
			テネシー大学ノックスビル校						1
			バデュー大学ノースウェスト校					1	
			ミズーリ大学セントルイス校				2	2	
			メリヴィル大学						
			モンタナ大学					3	2
			ルイスクラーク州立大学			1			1
		イギリス	カーディフ大学		1	1			
			ヨークセントジョン大学		7	1	7	2	1
		イタリア	トリノ大学					1	
		オーストラリア	サンシャインコースト大学		3			1	
			セントラルクイーンズランド大学						
		オーストリア	オーバーエスターライヒ州立応用科学大学	★				1	1
			アムステルダム応用科学大学				5	2	1
		オランダ	ティオ応用科学大学						1
			フォンティスアカデミー					1	
			ロッテルダム大学		2		3	2	
		カナダ	エドモントン・コンコルディア大学				1		
			クワレントボリテクニク大学			2	1		3
			トンブソンリバーズ大学			1	2		
			レイクヘッド大学						1
		韓国	円光大学					2	2
			建国大学					1	2
			成均館大学校		1				
			金剛大学					2	
		スイス	ルツェルン大学						1
		スペイン	デウスト大学	★					1
		タイ	チュラロンコン大学	★				1	
		台湾	義守大学						2
			実践大学						2
			天主教輔仁大学		2	2	2	2	2
		中国	大連外国語大学		2	2	2	2	2
			中国人民大学				1	1	2
			北京理工大学					4	1
			北京語言大学				2		
			中国海洋大学					2	
		ドイツ	バイロイト大学			1	1	2	2
			マールブルク大学			1	2		
		ノルウェー	トロムソ大学						3
		フィンランド	ハーガ＝ヘリア応用科学大学	★				3	3
			メトロボリア応用科学大学	★					1

期別	制度	国	所属大学	部局間					
					2014	2015	2016	2017	2018
Ⅱ期	協定校	フランス	サンジェルマン・アン・レイ	★					3
			シャルル・ド・ゴール大学(リール第3大学)						2
			ストラスブール大学		3	5	3	5	3
			トゥールーズ大学	★					2
			パリ・ディドロ大学(パリ第7大学)						2
			リール・カトリック大学	★					1
	I S E P	アメリカ	アイオワ州立大学						
			アイオワ大学				1		
			アイダホ大学						
			アッパーアイオワ大学						1
			アラバチアン州立大学			1			1
			アラスカ大学サウスイースト校						
			アラバマ大学						
			イーストカロライナ大学			2	1		
			イーストテネシー州立大学					1	
			インディアナ州立大学		2				
			インディアナ大学・パデュー大学フォートウェイン						1
			ウィスコンシン大学スタウト校						
			ウィットワース大学			1			
			ウインストン・セーラム州立大学						
			ウエストバージニア大学						
			エッカード大学		1				
			エッジウッド大学						
			エンボリア州立大学						
			カリフォルニア州立大学イーストベイ校			1			1
			ケンソー州立大学						3
			ケンタッキー大学		1				
			コロラド・メサ大学		2	2	2		
			コロンプス州立大学						
			サウスダコタ大学						
			サウスフロリダ大学			1			
			サザンインディアナ大学						
			サザンコネティカット州立大学		1	1			
			サンディエゴ州立大学						1
			サンノゼ州立大学						2
			ジョージアカレッジ&ステート大学						
			ジョージアサザン大学						
			チャップマン大学						1
			テネシー州立大学ノックスビル校						
			テネシー大学チャタヌーガ校						
			ニューメキシコ州立大学		1				
			ネブラスカ大学オマハ校						
			ネブラスカ大学リンカーン校						
			ノーザンアリゾナ大学						
			ノーザンコロラド大学						
			ノースカロライナ大学ウィルミントン校					1	
			ノースカロライナ大学シャーロット校						
			ノースジョージア大学		1				
			ノースダコタ州立大学		1				
			ノーステキサス大学						
			バージニア工科大学						
			バージニアコモンウェルス大学			1			
バーモント大学			1		1				
ハムリン大学			1						
ハンプシャー大学						1			
プエルトリコ大学、マヤグエスカンパス					1				
マーシャル大学									
マイアミ大学									
マンスフィールド大学						1			
ミズーリ州立大学					2	2			
ミドルテネシー州立大学									
メリヴィルカレッジ			1						
メリヴィル大学									
モンタナ大学		1			2				
ユタ州立大学		1							
ルイジアナ州立大学					2				
レイクフォレスト大学						1			
ローズ大学		1							
ロッキーマウンテン大学									
ワシントン州立大学					1				
南コネチカット州立大学					1				
U M A P	イギリス	セントラルランカシャー大学				1			
		チェスター大学			1				
	エストニア	タルトゥ大学			1				
	カナダ	ブロック大学					1		
	韓国	亜洲大学校				1			
	コロンビア	イセシ大学					1		
	スイス	ベルン大学			1				
	スウェーデン	ルレオ工科大学		1					
	台湾	静宜大学			1				
	中国	江西財經大学		1					
	チリ	バルパライソカトリック大学				1			
	ドイツ	ドルトムント工科大学		1			1		
	フィンランド	ヘルシンキ大学		1					
	フランス	ナント大学							
		リール第三大学		1	1	3	2		
	U M A P	韓国	弘益大学					1	
祥明大学校							2		
台湾		国立雲林科技大学					1		
		実践大学				1			
メキシコ		天主教輔仁大学					1		
		ソノラ工科大学				1			
小 計 第Ⅱ期					46	45	61	62	78
合 計					52	59	89	85	132

■国費外国人留学生数

年度	受給者数(人)			給与総額	教育費総額	合計
	学部	大学院	受託学生			
2014	0	20 (10)	2	30,744,000 円	11,299,000 円 (2,905,000 円)	42,043,000 円
2015	0	20 (10)	2	37,950,000 円	12,092,500 円 (5,270,000 円*)	50,042,500 円
2016	0	22 (11)	3	37,914,000 円	14,415,500 円 (5,645,000 円)	52,329,500 円
2017	0	25 (13)	0	38,826,000 円	14,980,000 円 (5,660,000 円)	53,806,000 円
2018	0	22 (12)	0	35,322,000 円	12,965,000 円 (6,025,000 円)	48,287,000 円

() は内数で、スーパーグローバル大学創成支援事業による採用者数。

※内、2,505,000 円は大学負担。

■ Toyo Summer / Winter Program 実績

	アメリカ	韓国	台湾	中国	エジプト	ベトナム	マレーシア	合計
Summer Program for Inha 2018 年 7 月 1 日～7 月 13 日	1	27						28
Summer Program II 2018 年 8 月 20 日～9 月 1 日			4	1	4	1	4	14
Summer Program for I-shou 2018 年 8 月 20 日～9 月 1 日			29					29
Winter Program for Sias 2019 年 1 月 12 日～17 日				7				7
Winter Program for Inha 2019 年 1 月 14 日～27 日		34						34
Winter Program for Daegu 2019 年 1 月 14 日～27 日		20						20
Winter Program 2019 年 1 月 18 日～30 日							1	1
合計	1	81	33	8	4	1	5	133

■ 2018 年度 ショートビジット受入実績

日程	機関名	国・地域	参加者	内容	受入学部等
2018 年 4 月 23 日	マハーサーラカム大学	タイ	学部生 1 名 教育関係者 15 名	キャンパスツアー、本学教員による日本語授業の見学	国際教育センター
2018 年 5 月 10 日	シンシナティ大学	アメリカ	学部生 9 名	キャンパスツアー、日米の大学生を取り巻く状況等に関する意見交換	国際教育センター
2018 年 5 月 11 日	ノースウェスト大学	アメリカ	学部生 22 名	学生交流、本学教員により経営・マーケティング・文化等の講義、企業訪問	国際教育センター
2018 年 5 月 22 日～ 5 月 23 日	国立古代ギリシャ研究財団 ナント大学 サセックス大学 サラゴサ大学	フランス他	大学院生 13 名	EU セミナー (Enabling Excellence)	バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター
2018 年 6 月 13 日	オーガスタナ大学	アメリカ	学部生 6 名	授業見学、日本文化体験他	国際教育センター
2018 年 6 月 30 日	カーティン大学	オーストラリア	学部生 16 名	学生交流、学習成果発表	国際学部
2018 年 7 月 1 日～ 7 月 13 日	仁荷大学	韓国	学部生 引率者 1 名	仁荷大学向けの特別夏季研修	国際教育センター
2018 年 8 月 20 日～ 9 月 1 日	Toyo Summer Program II 2018	台湾	学部生 4 名	夏季短期プログラム	国際教育センター
		マレーシア	学部生 4 名	(「Traditional x Modern」, 「Urban x Rural」をテーマ	国際教育センター
		エジプト	学部生 4 名	に日本の多様性を理解し	国際教育センター
		中国	学部生 1 名	体験するプログラム)	国際教育センター
		ベトナム	学部生 1 名		国際教育センター
2018 年 8 月 20 日～ 9 月 1 日	義守大学	台湾	学部生 29 名	義守大学向けの特別夏季研修	国際教育センター
2018 年 9 月 17 日～ 9 月 25 日	マンガラム工科大学	インド	学部生 9 名	日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)	バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター
2018 年 9 月 18 日	北京第二外国語学院 北京舞蹈学院他	中国	学部生 59 名 引率者 6 名	中国訪問団	国際教育センター
2018 年 10 月 3 日	アジアユースキャンプ	インドネシア	学部生 8 名	キャンパスツアー、大学紹介	国際教育センター
2018 年 10 月 18 日～ 10 月 21 日	中央大学	韓国	大学院生 2 名	日・韓の消費者行動研究に関する共同セミナー開催他	21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター
2018 年 10 月 18 日～ 10 月 21 日	光云大学	韓国	大学院生 2 名	日・韓の消費者行動研究に関する共同セミナー開催他	21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター
2018 年 10 月 22 日～ 10 月 23 日	上海外国語大学	中国	学部生 10 名	学部紹介、学生交流	国際学部
2018 年 11 月 12 日	スプラスマレット大学	インドネシア	学部生 3 名 引率者 5 名	学部紹介、教員・学生交流	国際学部
2018 年 11 月 19 日	南太平洋大学 (JENESYS)	ニュージーランド	学部生 21 名	JENESYS2018 事業 太平洋諸国との青年交流	国際教育センター
	南太平洋大学 (JENESYS)	フィジー	学部生 13 名		国際教育センター
	南太平洋大学 (JENESYS)	バヌアツ	学部生 8 名		国際教育センター
	南太平洋大学 (JENESYS)	トンガ	学部生 5 名		国際教育センター
	南太平洋大学 (JENESYS)	ミクロネシア	学部生 4 名		国際教育センター
	南太平洋大学 (JENESYS)	マーシャル	学部生 3 名		国際教育センター
	南太平洋大学 (JENESYS)	キリバス	学部生 3 名		国際教育センター
2018 年 12 月 14 日	マハーチュラロンコーン ラージャヴィドゥヤ大学	タイ	大学院生 40 名 教育関係者 24 名	大学紹介、キャンパスツアー、本学教員による授業	国際教育センター
2018 年 12 月 15 日～ 2019 年 3 月 21 日	ティミショアラ工科大学	ルーマニア	大学院生 1 名	共同研究	バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター
2018 年 12 月 19 日	キルギス アルバエフ国立大学	キルギス	学部生 6 名 引率者 3 名	大学紹介、キャンパスツアー、日本文化(書道)体験	国際教育センター
2019 年 1 月 5 日～ 1 月 6 日	香港城市大学	中国	学部生 15 名 引率者 8 名	スポーツを通じた国際交流	法学部
2019 年 1 月 11 日～ 1 月 17 日	鄭州大学西亜斯国際学院	中国	学部生 7 名 引率者 1 名	Sias International University 向けの特別短期研修	国際教育センター
2019 年 1 月 14 日～ 1 月 27 日	大邱大学	韓国	学部生 20 名	大邱大学向けの特別短期研修	国際教育センター
2019 年 1 月 14 日～ 1 月 27 日	仁荷大学	韓国	学部生 34 名	仁荷大学向けの特別短期研修	国際教育センター
2019 年 1 月 18 日～ 1 月 30 日	Toyo Winter Program 2019	マレーシア	学部生 1 名	冬季短期プログラム (「Experience SNOW Life!」 をテーマに日本の冬季の文化等を理解・体験するプログラム)	国際教育センター
2019 年 2 月 21 日～ 2 月 24 日	成均館大学	韓国	大学院生 4 名	共同セミナー・講演会開催	21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター
2019 年 3 月 1 日	イノベティブ・アジア	マレーシア	大学院生 14 名 引率者 1 名	JICA「イノベティブ・アジア 2018」受入。日本文化体験、本学学生との交流	国際教育センター

NEST 履修者数

レベル	2017 年度 春学期	2017 年度 秋学期	2018 年度 春学期	2018 年度 秋学期
J1	7	18	13	29
J2	18	15	23	13
J3	8	9	14	11
J4	19	6	7	8
合計	52	48	57	61
部分履修 ^{※1}	3	4	11	7
交換留学生数 ^{※2}	68	64	94	92

※1 日本語能力検定 N2 以上を取得しており、「Introduction to Japanology A/B」のみを履修している学生数。

※2 部局間交換留学生含む。

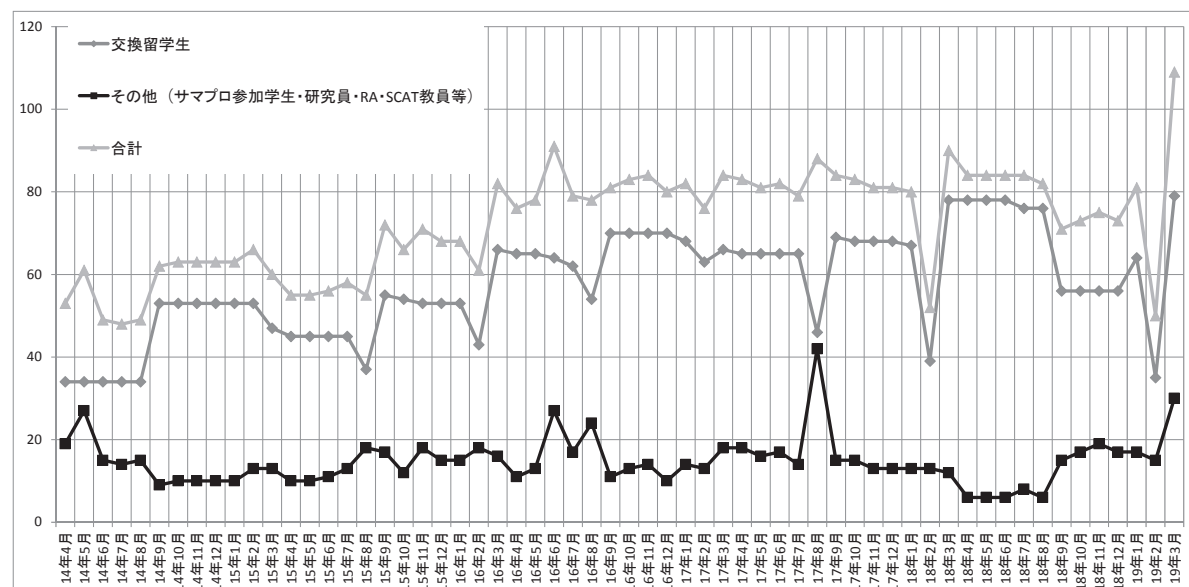
2018 年度 BJT 団体受験結果

(単位：人)

学部	J1+	J1	J2	J3	総計
文学部	1	4	22	5	32
経済学部			10	3	13
経営学部		4	22	5	31
法学部		1	5		6
社会学部	1	3	10	2	16
国際地域学部	2	3	8		13
国際学部			3	1	4
国際観光学部		1	5	2	8
情報連携学部			2		2
理工学部			2		2
総合情報学部		1	1	2	4
生命科学部				1	1
文学研究科			2		2
経済学研究科			1		1
経営学研究科			1		1
法学研究科				1	1
社会学研究科			3		3
国際学研究科		1	1		2
理工学研究科				1	1
総合情報学研究科			1		1
総計	4	18	99	23	144

2.8% 12.5% 68.8% 16.0%

国際会館利用者数



ECZ 利用者数

(人)							
キャンパス	課程名	学部／研究科名	学科／専攻名	春学期	秋学期	総計	
白山	第 1 部	文学部	哲学科	21	37	58	
			日本文学文化学科	48	85	133	
			英米文学科	363	208	571	
			史学科	11	35	46	
			教育学科	67	5	72	
			英語コミュニケーション学科	133	96	229	
			東洋思想文化学科	146	39	185	
			国際文化コミュニケーション学科	118	44	162	
			計	907	549	1,456	
		経済学部	経済学科	54	27	81	
			国際経済学科	335	117	452	
			総合政策学科	222	121	343	
			計	611	265	876	
		経営学部	経営学科	91	45	136	
			マーケティング学科	70	55	125	
			会計ファイナンス学科	35	35	70	
			計	196	135	331	
		法学部	法律学科	49	6	55	
			企業法学科	106	61	167	
			計	155	67	222	
		社会学部	社会学科	153	204	357	
			社会文化システム学科	200	94	294	
			社会福祉学科	19	1	20	
			メディアコミュニケーション学科	77	60	137	
			社会心理学科	50	13	63	
			計	499	372	871	
		国際地域学部	国際地域学科	58	115	173	
			国際観光学科	42	29	71	
			計	100	144	244	
			国際学部	グローバル・イノベーション学科	174	105	279
		国際地域学科		553	271	824	
		計		727	376	1,103	
		国際観光学部		国際観光学科	1,071	302	1,373
			計	1,071	302	1,373	
		合計		4,266	2,210	6,476	
		第 2 部	文学部	日本文学文化学科	29	24	53
				教育学科	2	1	3
				計	31	25	56
			経済学部	経済学科	116	129	245
				計	116	129	245
			経営学部	経営学科	47	2	49
				計	47	2	49
			法学部	法律学科	30	5	35
				計	30	5	35
			社会学部	社会学科	11	13	24
	計			11	13	24	
	国際地域学部		国際地域学科	12	7	19	
			計	12	7	19	
	国際学部		国際地域学科	39	48	87	
			計	39	48	87	
	合計			286	229	515	
	大学院前期		文学研究科	英語コミュニケーション専攻	53	19	72
				計	53	19	72
			社会学研究科	社会学専攻	4	4	8
				計	4	4	8
		国際地域学研究科	国際地域学専攻	22	6	28	
			計	22	6	28	
		合計		79	29	108	
	通信教育部	文学部	日本文学文化学科	0	4	4	
	合計		0	4	4		
川越	第 1 部	理工学部	機械工学科	6	0	6	
			生体医工学科	6	0	6	
			都市環境デザイン学科	4	0	4	
			応用化学科	0	1	1	
			計	16	1	17	
		総合情報学部	総合情報学科	0	2	2	
			計	0	2	2	
		合計		16	3	19	
板倉	第 1 部	生命科学部	生命科学科	0	1	1	
		合計		0	1	1	
交換留学	交換留学	交換留学	交換留学	793	635	1,428	
		合計		793	635	1,428	
不明	不明	不明	不明	24	41	65	
		合計		24	41	65	
2018 年度総計				5,464	3,152	8,616	
2017 年度総計				5,703	2,567	8,270	
対前年度比(人数)				-239	585	346	
対前年度比(割合)				96%	123%	104%	

学生派遣

■大学全体の派遣者数

(人)

学部／研究科名		交換留学		認定留学		協定校 語学留学		短期研修		インターンシップ・ ボランティア		その他		総計	
		2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018
学部	文学部第1部	22	19	2	8	39	37	113	140	28	19	7	17	211	240
	経済学部第1部	5		2	5	12	26	97	114	7	12	59	109	182	266
	経営学部第1部	2	2		2	12	23	37	45	7	7	20	19	78	98
	法学部第1部	3	6			4	6	59	45	14	4	15	22	95	83
	社会学部第1部	5	8	1	3	7	14	137	160	16	13	7	7	173	205
	理工学部	2	3		2	1	4	37	47	1	2	1	11	42	69
	国際地域学部	35	32	4	3	18	26	76	41	71	7	58	79	262	188
	国際学部		73		2		8	229	281	3	19	2	3	234	386
	国際観光学部		1				17	395	483	30	34		2	425	537
	生命科学部							22	12			1		23	12
	ライフデザイン学部		2	1		2	3	67	81	2	3	43	29	115	118
	総合情報学部					2	1	31	17	1	2	3	4	37	24
	食環境科学部							33	33	2	4	28	3	63	40
	情報連携学部							11	13	1	1		1	12	15
	文学部第2部					2	9	1					2	9	5
	経済学部第2部					2	3	10	6		1			16	10
	経営学部第2部		1			1	1	3				3	3	4	8
	法学部第2部					1	2	1	8			3	7	5	17
	社会学部第2部		1			1	1	9	6	1				11	8
	国際地域学部イブニングコース	2	4	1		2	6	31	13	3	1	8	4	47	28
	国際学部イブニングコース							12	20	5	4		4	17	28
	学部計	76	152	11	25	103	180	1,417	1,569	192	133	262	326	2,061	2,385
研究科	文学研究科	1										4	4	5	4
	社会学研究科							1				8	14	9	14
	法学研究科											1	4	1	4
	経営学研究科									1		1	1	2	1
	工学研究科													0	0
	理工学研究科							1						1	0
	経済学研究科											14	11	14	11
	国際学研究科							4			1		7	0	12
	国際観光学研究科							1					2	0	3
	国際地域学研究科											31	22	31	22
	生命科学研究科											2		2	0
	社会福祉学研究科										1		1	0	2
	ライフデザイン学研究科													0	0
	福祉社会デザイン研究科											7	1	7	1
	学際・融合科学研究科													0	0
	総合情報学研究科							2		2				4	0
	食環境科学研究科							7	4			1		8	4
	情報連携学研究科													0	0
	大学院計	1	0	0	0	0	0	11	9	3	2	69	67	84	78
	総計	77	152	11	25	103	180	1,428	1,578	195	135	331	393	2,145	2,463

■交換留学派遣者数

(人)

	国	留学先大学	派遣年度				
			2014	2015	2016	2017	2018
I 期	オーストラリア	サンシャインコースト大学	1	2	1	1	
		シーキュー大学	2		5	7	5
	韓国	仁荷大学校	2	2			5
		韓国外国語大学校	1	2	2		
		建国大学校	2	2	2		2
		成均館大学校		2	1	1	2
		大邱大学校		1			
		東国大学校	1	1	1		1
		韓南大学校		1			
	マレーシア	テイラーズ大学					1
	UMAP(韓国)	祥明大学校				1	
	UMAP(台湾)	義守大学				1	
	小 計 I 期	実践大学					2
II 期	アメリカ	ウィノナ州立大学			1	2	4
		ウェストテキサス A&M 大学					1
		カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校					1
		カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校					2
		カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	5	2	2	8	2
		ジョンソン・アンド・ウェールズ大学					2
		ネブラスカ大学カーニー校					1
		ノースアラバマ大学					2
		バドュー大学ノースウエスト校			1	1	1
		プレスビテリアンカレッジ					1
		ミズーリ大学セントルイス校	1		1		
		メリヴィル大学	2	2	2	2	2
		モンタナ大学	1		2		
		リンゼイウィルソン大学	4	4	4	4	9
		ルイスクラーク州立大学	1	1			

(人)

	国	留学先大学	派遣年度				
			2014	2015	2016	2017	2018
Ⅱ期	ISEP (アメリカ)	アバラチアン州立大学					1
		インディアナ州立大学				1	
		ウィチタ州立大学					1
		ウエスタンカリフォルニア大学				1	
		エンボリア州立大学	1				
		カリフォルニア州立大学イーストベイ校			1		1
		キャロルカレッジ				1	
		ケント州立大学					1
		コロラドメサ大学			1		
		サウスダコタ大学		1	3		
		サザンインディアナ大学	1				1
		ジョージア大学	1				
		セントラルミズーリ大学		1		1	
		セントエドワーズ大学				1	
		テキサス A&M 国際大学			1		
		テキサス大学エルバソ校	1				
		テネシー州立大学ノックスビル校	1				
		トルーマン州立大学					1
		ニューメキシコ州立大学	1				
		ネブラスカウェズリアン大学				1	
		ネブラスカ大学オマハ校		1		1	
		ノーザンアリゾナ大学	1	1			
		ノーザン・コロラド大学		1			
		ノースウエストミズーリ大学			1		2
		ノースカロライナ大学ウイリントン校		1			
		ノースカロライナ大学シャーロット校					1
		ハンプシャー大学					1
		フォートヘイズ州立大学	1		2	1	1
		フォートルイス大学	1			1	
		フロストバーク州立大学	1		1	1	
		ヘンドリック大学	1	1		1	
		ミズーリ州立大学					1
		メルヴィル大学		1	1		
		モンタナ大学	1	1			
		モンタナ州立大学					1
		ルイジアナ・ノースウエスタン州立大学		3			1
		ロアノーク大学			1	1	
	カナダ	クワントレンポリテクニク大学	4			2	
		トンブソンリバーズ大学	3	3	3	2	1
		マニトバ大学			2	1	
		レイクヘッド大学					2
	アイルランド	ダブリンシティ大学	5	3	5	4	3
		リムリック大学	1	1	1		
	イギリス	カーディフ大学		2		1	1
		ヨークセントジョン大学	4	3	4	5	7
	ISEP(エストニア)	タルトゥ大学					1*
	ISEP(オーストリア)	グラーツ大学					1
	オランダ	アムステルダム応用科学大学		1	1	1	
		フォンティスアカデミー				2	1
		ロッテルダム大学	2	3	4	1	
	スイス	ルツェルン大学		1			2
	ISEP (スウェーデン)	メラダーレン大学				1	1
		リンネ大学				1	2
	スペイン	デウスト大学				2	
	ISEP(スペイン)	アルメリア大学				1	
	ドイツ	パイロイト大学			2	1	
		マールブルク大学	2	2	2	2	2
	ノルウェー	トロムソ大学					2
		ストラスブール大学	2	2			2
	フランス	ストラスブール大学 EMS				1	1
		リール第3大学				1	
		トゥルク大学					1
	ISEP(フィンランド)	トゥルク大学					1
	ブルガリア	聖クリメント・オブリツキ・ソフィア大学			2	2	1
	タイ	チェンマイ大学				2	
	UMAP(タイ)	マハサラカーム大学					1
	UMAP(マレーシア)	マレーシア国民大学					1
	ISEP(韓国)	漢陽大学					1
	台湾	義守大学					1
		天主教輔仁大学			1		
	中国	上海外国語大学				1	1
		大連外国語大学	1	1	1		
		中国人民大学			2		2
		北京語言大学			2		2
	小 計 Ⅱ期		50	43	57	63	81
国際教育センター主催 交換留学 合計			59	56	69	74	99
学部等主催 交換留学 合計			-	-	-	3	53
総合計			59	56	69	77	152

*1名の学生が2大学へ留学。算入対象外。

■認定留学派遣者数

(人)

国	留学先大学	派遣年度				
		2014	2015	2016	2017	2018
アメリカ	アリゾナ州立大学			1		1
	インディアナ州立大学				1	
	オレゴン大学		2	1	1	1
	カリフォルニア州立大学チコ校	1	1			
	カリフォルニア州立大学サンマルコス校				2	2
	カレッジ・オブ・ザ・デザート					6
	サンタモニカカレッジ					2
	ニューヨーク州立大学オールバニ校					1
	ネバダ大学リノ校					1
	ノースアラバマ大学		1		1	1
	ハイラインカレッジ					1
	ハワイ大学ヒロ校				3	1
	ミシシッピ大学			1		
	モンタナ大学	1			1	
カナダ	ダグラスカレッジ				1	
イタリア	サクロクオーレカトリック大学		1			
オーストラリア	オーストラリアカソリック大学					1
	グリフィス大学				1	1
	サザンクロス大学			1		
	シドニー工科大学					1
	ディーキン大学			4		3
ニュージーランド	オタゴ大学					1
フィリピン	フィリピン大学	2				
中国	華東師範大学中山兆路校区			1		
	中山大学			1		
	復旦大学					1
国際教育センター主催 認定留学 合計		4	5	10	11	25

■協定校語学留学派遣者数

(人)

国	実施大学	派遣年度							
		2014		2015	2016		2017		2018
		春学期	秋学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期 秋学期
アメリカ	ポートランド州立大学		13	14		13	10	10	1 7
	モンタナ大学	6	2						
	ベース大学								1
カナダ	バンクーバーアイランド大学								19 7
	レスブリッジ大学								5
	ウィニベグ大学								19 14
	ブロック大学								3 10
アイルランド	ダブリンシティ大学		13	15	11	19	19	22	12 6
イギリス	ヨークセントジョン大学		6	16		9	6	13	15 9
オーストラリア	ディーキン大学メルボルン							14	14 13
	ディーキン大学ジーロング							2	8
	サザンクロス大学リズモア							7	1 3
	サザンクロス大学ゴールドコースト								4 9
国際教育センター主催 協定校語学留学 合計		6	34	45	11	41	35	68	88 92
		40		45	52		103		180

■短期研修派遣者数

(国際教育センター主催 短期語学セミナー)

(人)

国	実施大学										
		2014		2015		2016		2017		2018	
		夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
アメリカ	カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校								19		
	ポートランド州立大学	19		29	26	24	28				
	カレッジ・オブ・ザ・デザート									19	14
カナダ	トンブソンリバーズ大学	30		27		20		30			
	マニトバ大学	27		12		10		10		20	20
アイルランド	ダブリンシティ大学		27		28		24		24		24
イギリス	ウォリック大学	20		23		14					
オーストラリア	サザンクロス大学								20	20	20
	シーキュー大学		24		10						
マレーシア	ヘルプ大学								13	9	10
中国	北京語言大学				8	3					
国際教育センター主催 短期語学セミナー 合計		96	51	91	72	71	52	40	76	68	88
		147		163		123		116		156	

(国際教育センター主催 Diversity Voyage)

(人)

国・コース										
	2014		2015		2016		2017		2018	
	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
フィリピン①	18	13	14	15	19	18	20	17	20	17
フィリピン②		13					7(※2)			
マレーシア①	19	14	13	14	18	11	20	14	20	17
マレーシア②		7			12		7(※2)			
タイ		10	(※1)	20	19	20	20			
ラオス			19	19	20	19	20	8(※2)	20	
インドネシア					20	14	20		19	12
カンボジア							20	20	20	19
ブータン									20	
国際教育センター主催 Diversity Voyage 合計	37	57	46	68	108	82	120	73	119	65
	94		114		190		193		184	

(※1) 治安情勢悪化により派遣を中止

(※2) 上記の人数以外に、他大学の学生が合同参加

(学部等主催 短期研修)

(人)

	2014		2015		2016		2017		2018	
学部等主催 短期研修合計	448		366		491		1,119		1,238	

■インターンシップ・ボランティア派遣者数

期間	国	プログラム名	2014		2015		2016		2017		2018	
			夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
短期	アメリカ	アメリカ・ボランティア「日本語クラスサポート」・「シニア福祉」・「国際支援オフィス」	3									
		スポーツマネジメント海外研修	3	1								
		Business Internship										
		USA・LA “グローバルキャリア”インターンシップ～企業ビジネス研修～	3		7	3	4		2	2	8	4
		USA・アンカレッジ ツーリズムインターンシップ					1				1	
		USA・ウッドインビル 食環境教育・研究施設インターンシップ						3			3	
		USA・シアトル・ウッドインビル海外インターンシップ～貿易ビジネス/社会福祉～										2
		USA・グレイシャー国立公園 ホテルインターンシップ	3		2		4		1			
		USA・サンディエゴ ボランティア研修		3	3	6	8	3	7	7	6	
		USA・サンディエゴ&LA 貿易&ロジスティックインターンシップ			2							
		USA・シアトル ボランティア研修(インターンシップ)	15	7	11	4	8	4	4	4	1	
		USA・シアトル現地日系団体ボランティア～語学学校+広告メディア/高齢者福祉										1

期間	国	プログラム名	2014		2015		2016		2017		2018	
			夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
短期	アメリカ	USA・セーラム ワイナリーインターンシップ			1							
		USA・ポートランド ボランティア研修						8			7	10
		USA・ポートランド オーガニックレストラン&ケータリングインターンシップ			1							
	カナダ	カナダ・ケローナ インターンシップ	22	6	17	7	6		2			
		カナダ・ボランティア「環境保護」・「動物保護」・「地域サポート」	5									
		カナダ・バンクーバー 幼児教育ボランティア		4	3	1	1	2	3	6	4	1
		ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～		1		1				1	1	
	スペイン	スペイン・セビリア フラメンコ博物館インターンシップ			1							
	オーストラリア	オーストラリア・シドニー 幼児教育ボランティア	3	2	5			2	3	3	2	3
		オーストラリア・ブリスベン(メルボルン) 自然環境保護ボランティア			1		2					
		オーストラリア・メルボルン(ブリスベン) 小学校ティーチングアシストインターンシップ		2	1	1						
	ニュージーランド	ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～		1	1	1	1		1		1	
	フィリピン	フィリピン農村発 起業家育成インターンシップ								3	3	
	マレーシア	ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～		1	1		1		1			
	台湾	台湾・台北ホテルインターンシップ					2					
	短期 合計			57	28	57	24	38	11	35	26	37
			85		81		49		61		58	
長期	アメリカ	ワシントンセンター	1		1		1		2		3	
	東ティモール	国連ユースボランティア	1									
	バングラディシュ(※1)				(1)							
	ウガンダ						1					
	タイ										1	
	タイ	日本語パートナーズ(※2)							1		2	
	インドネシア										2	
国際教育センター主催 インターンシップ・ボランティア 合計			87		82		51		64		66	
学部等主催 インターンシップ・ボランティア 合計			154		86		97		133		69	
総計			241		168		148		197		135	

(※1) 治安情勢悪化により派遣を中止

(※2) 大学推薦プログラム派遣者

■その他 海外派遣者数

(人)

	2014	2015	2016	2017	2018
その他 海外派遣者数 合計	571	608	420	330	393

TGL Program 達成状況

	人		
	2016 年度	2017 年度	2018 年度
TGL GOLD	0	13	26
TGL SILVER	11	91	485
TGL BRONZE	84	439	1,670

留学ガイダンス参加者数

(人)					
年度	日時	名称	会場	参加者数(延べ人数)	合計
2016	4/19	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	15	767
	4/20		川越キャンパス	72	
	4/21		板倉キャンパス	11	
	4/30	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	492	
	10/12	秋学期留学ガイダンス	川越キャンパス	38	
	10/18		朝霞キャンパス	9	
	10/19		板倉キャンパス	1	
	10/15	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	129	
2017	4/18	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	10	775
	4/20		川越キャンパス	18	
	4/19		板倉キャンパス	6	
	4/29	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	507	
	10/5	秋学期留学ガイダンス	川越キャンパス	11	
	10/6		朝霞キャンパス	5	
	10/2		板倉キャンパス	0	
	10/16	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	218	
2018	4/24	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	40	763
	4/27, 28	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	395	
	10/6	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	328	

国際教育センターメールマガジン登録者数*

年度	登録者数(単位：人)
2012	146
2013	182
2014	514
2015	247
2016	919
2017	840
2018	870

* 2014 年度までの名称：交換留学レジストレーション

2018 年度課外英語講座開講実績

■学内向け講座

(単位: 名)

時期	プログラム	コース名	開講 キャンパス				受講 人数	受講人数(学部生)										受講人数(大学院生)										学際・融合科学 その他						
			白山	川越	朝霞	板倉		赤羽台	文	経済	経営	法	社会	国際地域	国際	国際観光	情報連携	総合情報	理工	ライフデザイン	生命科	食環境科	文	経済	経営	法	社会		国際地域	総合情報	理工	福祉社会デザイン	生命科	食環境科
春学期	IELTS 講座	クラス(1～2)	○					49	5	2	1	2	5	2	28	3		1																
	TOEFL 講座	520 点超えを目指すクラス	○					18	4	1	1		1	1	6	4						1												
		クラス(①～③)	○					64	9	4	5	2	6	1	32	4																		
		クラス(A～H)	○					148	20	9	12	6	22	28	23	28																		
	TOEIC 講座	川越クラス		○				10									4	5										1						
		朝霞クラス			○			24											24															
		板倉クラス				○		11											10	1														
	ランゲージセンター ライティングプログラム	Conference Writing (CW)	○	○	○	○	○	114	7	5	4	4	7	17	41	11	9	2	5	1	1													
		Special Academic Writing (SAW)	○	○	○	○	○	65	7	5	2		2	9	24	4		3	2	1	1					2		3						
		Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策)	○		○	○	○	52	5	4		2	1	1	26	5	6		2															
	<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English	グループレッスン(初級)	○	○	○	○	○	115	5	11	9	6	10	1	1	8		10	26	13	13									1	1			
		グループレッスン(初中級)	○	○	○	○	○	183	22	4	7	7	14	1	12	16	30	4	11	30	10	11				1			2			1		
		グループレッスン(中級)	○			○		91	16	10	2	3	12	3	9	9			10	11			1		1						2	1		1
		グループレッスン(上級)	○					34	3	7	1	5	9	5	2								1		1									
	ラーニングサポート センタープログラム	マンツーマンレッスン	○	○	○	○	○	190	26	14	8	8	17	17	6	3	13	6	7	24	5	21	1		1		3			1			9	
英語ベーシックチャレンジ (中学英語)		○					11	7		2					2																			
	英語ベーシックチャレンジ (高校英語)	○					30	5	4	2	1	11	1	6																				
BEST Program (4・6 月期)	実践的英語プレゼンテーション 講座[入門コース]	○					13	4	1		1	2	3		2																			
	Creative/Innovative Thinking 講座 (CIT)	○					5	2					2	1																				
	実践的英語プレゼンテーション 講座[上級コース]						2					1	1																					
夏季	TOEFL 講座	夏期集中	○					26	2	3	3		2	1	13	1		1																
	IELTS 講座	上級クラス	○					49	6		2	2	3	1	33		1	1																
	TOEIC 講座	夏期集中・赤羽クラス					○	24								24																		
	<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English	英会話講座 Summer School at Toyo	○	○	○	○	○	47	6	4	2	1	4	2	15	3	3		1	2		2			2									
	学部 TOEIC 講座	TOEIC 講座(川越)		○				16									7	9																
		TOEIC 向上プログラム(板倉)				○		19												11	6										1	1		
秋学期	TOEIC 講座	クラス(①～②)	○					56	10	4	11	2	10	13	3	3																		
	IELTS 講座	通常クラス	○					19	1	1	2		1	1	10	2																	1	
	ランゲージセンター ライティングプログラム	Conference Writing (CW)	○	○	○	○	○	59	1	2	3	1	3	9	26	5	4	1	1	2	1													
		Special Academic Writing (SAW)	○	○	○	○	○	22	5				2	1	4			1	4		1			1	1	2								
		Prep for Writing Tests (ライティ ングテスト対策)	○		○	○	○	16		1	1		1	8	1	2			1	1														
	BEST Program (8・10・1 月期)	実践的英語プレゼンテーション 講座[入門コース]	○					3						1	2																			
		Creative/Innovative Thinking 講座 (CIT)	○					1						1																				
		実践的英語プレゼンテーション 講座[上級コース]	○					0																										
	ラーニングサポートセ ンタープログラム	英語ベーシックチャレンジ (文法コース)	○					14	1	3	3	2	4		1																			
		英語ベーシックチャレンジ (会話コース)	○					18	5	1		1	1	3	3	4																		
	<キャンパス内留学> Toyo Achieve English 英語講座	グループレッスン(初級)	○	○	○	○	○	115	5	12	9	6	11	1	1	8		1	10	24	11	15								1				
		グループレッスン(初中級)	○	○	○	○	○	174	19	2	4	6	17	1	12	15	29	5	11	30	11	9							3					
		グループレッスン(中級)	○	○	○	○	○	110	21	11	4	6	15	4	10	9				15	11			1	1						1		1	
		グループレッスン(上級)	○					22	4	4	1	1	4	4	1	3																		
		マンツーマンレッスン(土曜日)	○	○	○	○	○	9	3				1	1					2	1		1												
マンツーマンレッスン(平日)		○	○	○	○	○	96	12	11	6	2	17		7	6	1	4	14	4	4				1	2							5		
		TOEIC 講座	○					41	5	9	2	2	4	6	1	7	1	1	2	1														
春季	学部 TOEIC 講座	TOEIC 講座(川越)		○				8									6	2																
		TOEIC 向上プログラム(板倉)				○		13											10	3														
	<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English	IELTS 対策講座	○					5	2				1	1	1																			
		英会話講座 Winter School at Toyo 英語ガイド講座	○	○	○	○	○	21	4	2	2	1	3	1	2	2		3							1									

	受講人数	受講人数(学部生)										受講人数(大学院生)										学際・融合科学 その他							
		文	経済	経営	法	社会	国際地域	国際	国際観光	情報連携	総合情報	理工	ライフデザイン	生命科	食環境科	文	経済	経営	法	社会	国際地域		総合情報	理工	福祉社会デザイン	生命科	食環境科		
2018 年度 (通年)	2,235	257	153	111	81	224	146	359	171	129	39	79	198	115	110	1	2	3	0	11	0	10	10	1	5	3	0		17
2017 年度 (通年)	2,369	251	171	123	79	230	355	323	141	69	34	128	159	133	98	6	0	1	2	4	4	0	19	3	9	10	3		14
前年度比		94%	102%	89%	90%	100%	97%	41%	111%	121%	187%	115%	62%	125%	96%	112%	17%	-	300%	0%	275%	0%	-	53%	13%	56%	30%	0%	

2018 年度 (通年)	2,235	257	153	111	81	224	146	359	171	129	39	79	198	115	110	1	2	3	0	11	0	10	10	1	5	3	0	17
2017 年度 (通年)	2,369	251	171	123	79	230	355	323	141	69	34	128	159	133	98	6	0	1	2	4	4	0	19	3	9	10	3	14
前年度比	94%	102%	89%	90%	103%	97%	41%	111%	121%	187%	115%	62%	125%	86%	112%	17%	-	300%	0%	275%	0%	-	53%	33%	56%	30%	0%	121%

職員講座

(人)

時期	開講講座名		対象	キャンパス	授業時間	開講期間	受講数
春	キャンパス英会話	週1回月曜日クラス	職員専用	白山	40分×10回	5/28～8/6	2
夏		5日間集中講座	職員専用	白山・川越	40分×4回/5回	8/20～9/14	8
秋		週1回月曜日クラス	職員専用	白山	40分×10回	10/16～12/25	5
冬		週1回月曜日クラス	職員専用	白山	40分×10回	1/21～3/18	4
		5日間集中講座	職員専用	白山・川越	40分×5回	2/25～3/15	4
春	TOEIC 講座	集中	職員専用	板倉	40分×10回	5/14～5/25	1
年間		朝勉	職員専用	川越	45分×131回	6/1～12/14	6
春	目的別研修	ビジネスメール(初級)	職員専用	白山	60分	7/10・7/11	7
秋		ビジネスメール (導入・初級・上級)	職員専用	白山・川越・板倉	60分	10/9・10・11・18・11/1	19
						2018年度	56
						2017年度	137
						前年度比	40.9%

学外向け講座〔Toyo Achieve English〕英語講座(大学・附属校内実施プログラム)

(人)

時期	開講講座名		募集対象	授業時間	開講場所	受講人数				
						春	夏	秋	冬	合計
通年	ジュニア講座	マンツーマン	幼稚園児～高校生	40分×10回	白山	15	21	22	22	80
		グループ	幼稚園児～高校生	40分×10回	白山	11	10	11	17	49
	一般英会話	マンツーマン	一般受講者	40分×10回	白山	7	13	12	12	44
		グループ	一般受講者	40分×10回	白山	1	2	2	3	8
合計						34	46	47	54	181

時期	開講講座名	募集対象	授業時間	受講人数						
				白山	朝霞	川越	板倉	赤羽台	牛久	合計
夏季	ジュニア講座[小学生]	1～3年生	1コマ50分×25日間連続	18	-	-	-	-	-	18
		4～6年生	1コマ50分×25日間連続	5	1	6	3	2	2	19
	ジュニア講座[中学・高校生]	中学生・高校生	1コマ50分×35日間連続	17	5	4	1	0	2	29
	一般英会話	大学生以上	1コマ50分×25日間連続	1	0	0	2	0	0	3
	一般英会話	大学生以上	1コマ50分×35日間連続	6	0	0	0	0	0	6
春季	英語ガイド講座	大学生以上	1日4時間×5日間連続	2	1	1	1	-	-	5
	親子で英会話	未就学児の親子	60分	-	7	-	-	-	-	7
秋	一日イベント[ハロウィン]	幼稚園児～小学生	90分	27	-	-	-	-	-	27
冬	一日イベント[クリスマス]	幼稚園児～小学生	90分	28	-	-	-	-	-	28
合計				104	14	11	7	2	4	142

2018年度	323
2017年度	184
前年度比	175.5%

学外向け講座〔Toyo Achieve English〕英語講座(学外実施プログラム)

(人)

時期	開講講座名			募集対象	授業時間	開講期間	クラス	受講人数
通年	文京福祉センター 英会話教室	英会話 講座	春	60歳以上文京区民	90分×10回	4/9～6/18	初級・中級	17
			夏	60歳以上文京区民	40分×10回	7/2～9/10	初級・中級	27
			秋	60歳以上文京区民	40分×10回	10/1～12/17	初級・中級	22
			冬	60歳以上文京区民	40分×10回	1/7～3/25	初級・中級	20
冬	川越育成会		クリスマス会	小学生	90分	12/9	-	35
	文京アカデミア講座		ディスカッション英会話	一般	90分×8回	1/24～3/14	中級 (TOEIC500以上)	16
	ヤマト科学株式会社		ビジネス英語	同社社員	50分×3回	1/16	Intermediate	5
							2018年度	142

■学外講座(BEC(Business English Communication Program)プログラム)

(人)

	開講講座名	募集対象	クラス	開講期間		受講人数	
				期間	時間	人数	合計
	第1期(2018年10月～12月)	一般社会人	Business Insights	10/13-12/22	土曜日 10:00-13:00	3	6
	第2期(2019年1月～3月)		Business Impact	1/12-3/31	土曜日 10:00-13:00	3	

■学外講座(BEST Program(独自英語プレゼンテーション講座))

(人)

	開講講座名	募集対象	クラス	開講期間		受講人数※	
				期間	時間	人数	合計
	BEST Program	一般社会人等	実践的英語プレゼンテーション講座【初級クラス】	年間5期開講	月曜日 19:00-20:30	27	43
			実践的英語プレゼンテーション講座【上級クラス】	年間5期開講	火曜日 19:00-20:30	3	
			Creative/Innovative Thinking 講座	年間5期開講	水曜日 19:00-20:30	13	

※受講人数に東洋大生を含む。

■英語資格試験(国際教育センター主催分)

・試験種類、受験料等

資格試験名	年間実施回数	会場	受験料	
			学生負担	一般受験時
IELTS	5回	学内(白山・川越キャンパス)	10,000円	25,380円
TOEFL ITP	7回	学内(白山キャンパス)	3,100円(※1)	-
TOEFL iBT	2回	学外(テストセンター)	10,000円	235 USドル
TOEIC L&R IP	4回	学内(白山・川越・朝霞キャンパス)	3,900円	5,725円
TOEIC S&W IP	2回	学外(テストセンター)	2,330円(※2)	10,260円

※1 団体受験時の受験料

※2 TOEIC 500点以上(またはそれ相当)スコア取得者のみ

・受験者数

(人)

資格試験名	受験地	受験者数																														
		学部生														大学院生											その他	計				
		文	経済	経営	法	社会	国際地域	国際	国際観光	情報連携	総合情報	理工	ライフデザイン	生命科	食環境科	文	社会	法	経営	理工	経済	国際地域	国際	国際観光	生命	福祉社会デザイン			学際・融合科学	総合情報	食環境科	情報連携
TOEIC L&R IP	学内 (白山、川越、朝霞)	369	363	202	181	174	224	191	197	21	26	65	37	28	30	1			1	2			3		2	2	2	2	1		3	2,127
TOEIC S&W IP	学内	11	6	1	3	8	8	5	5		1	3			1															1	53	
TOEFL ITP	学内(白山)	170	62	45	17	67	34	270	58	6	6	21	9	1	2								1	1				4		1	775	
TOEFL iBT	学外	1	7	3		2	1	4	1	2	1			3		1							1								27	
IELTS	学内(白山、川越)	34	19	8	9	22	13	258	19	2	6	2	4		1			2												1	400	

■他言語試験 受験料補助 申請者数

(人)

語学試験名	受験者数																														
	学部生													大学院生													その他	計			
	文	経済	経営	法	社会	国際地域	国際	国際観光	情報連携	総合情報	理工	ライフデザイン	生命科	食環境科	文	社会	法	経営	理工	経済	国際地域	国際	国際観光	生命	福祉社会デザイン	学際・融合科学			総合情報	食環境科	情報連携
実用英語技能検定	8	2	2	1	4	2					1	2		1																	23
ドイツ語技能検定試験	9	1					1				1				1																13
実用フランス語技能検定試験	8	1			10	1	1	5																							26
DELTA/DALF					2																										2
中国語検定試験	2	4			8		2	5																							21
漢語水平考試	14		2	3	4	8		1			2																				34
「ハングル」能力検定試験	1	3			2	3	4	1																							14
韓国語能力試験				1	6	3	1		2	1													1								15

各種海外留学奨学金

【日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度奨学金】

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額 (円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数					実績額 (円)
					人数	指定	甲	乙	丙	人月 数	指定	甲	乙	丙	
2013	短期研修・ 研究型	短期派遣	東洋大学国際センター主催夏期語学セミナー	10,200,000	120	30	90	0	0	120	30	90	0	0	4,240,000
			東洋大学国際センター主催春期語学セミナー	9,300,000	90	0	60	30	0	120	0	90	30	0	1,960,000
2014	双方協 定型	短期派遣	国際センター主催交換留学プログラム	13,380,000	32	0	31	0	1	169	0	162	0	7	11,380,000
			グローバル人材育成推進事業(特色型)プログラム(専門研修)	17,120,000	100	0	16	84	0	240	0	32	208	0	5,220,000
			国際地域学部海外インターンシッププログラム	9,300,000	100	24	4	60	12	200	48	8	120	24	4,200,000
	重点政策 枠	短期派遣	グローバル人材育成推進事業(特色型)プログラム(語学研修)	11,820,000	69	0	20	49	0	166	0	20	146	0	6,660,000
			東洋大学経済学部中国経済・社会研修	600,000	10	0	0	0	10	10	0	0	0	10	180,000
			法学部ドイツ語学研修(ミュンヘン)	1,200,000	15	0	15	0	0	15	0	15	0	0	720,000
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディーツアープログラム	1,400,000	20	0	0	20	0	20	0	0	20	0	980,000
			生命科学部海外英語研修 in Canada	1,120,000	14	0	14	0	0	14	0	14	0	0	560,000
			ライフデザイン学部短期海外語学研修会(ニュージーランド)	700,000	10	0	0	10	0	10	0	0	10	0	630,000
			春季GCC 海外インターンシップ・ボランティアプログラム	6,110,000	74	15	48	11	0	74	15	48	11	0	70,000
			GiFT Diversity Voyage プログラム	7,000,000	100	0	0	100	0	100	0	0	100	0	2,240,000
			国際センター主催春季語学セミナー	6,320,000	53	0	29	24	0	82	0	58	24	0	3,950,000
			国際センター主催第1期交換留学プログラム	9,800,000	13	0	0	13	0	140	0	0	140	0	980,000
			国際センター主催認定留学プログラム	1,300,000	2	0	1	1	0	17	0	11	6	0	160,000
2015	短期研修・ 研究型	協定派遣	UC Berkeley-Toyo ; Global Business Program	1,520,000	19	0	19	0	0	19	0	19	0	0	480,000
	重点政策 枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)国際センター企画語学留学プログラム	7,680,000	48	0	48	0	0	96	0	96	0	0	7,680,000
			スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)国際地域学部グローバル人材育成支援プログラム	7,010,000	59	2	5	49	3	94	2	40	49	3	7,010,000
			スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学経済学部中国経済・社会研修	600,000	10	0	0	0	10	10	0	0	0	10	辞退
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学交換留学プログラム	27,200,000	66	0	50	12	4	350	0	286	48	16	21,200,000
2016	短期研修・ 研究型	協定派遣	長期インターンシッププログラム	2,280,000	5	3	0	1	1	27	15	0	6	6	760,000
			国際地域学部 海外インターンシッププログラム	7,420,000	43	5	4	27	7	100	16	8	62	14	1,940,000
			国際地域学部 Short-term Field Study	2,800,000	40	0	0	40	0	40	0	0	40	0	2,380,000
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディーツアープログラム	1,120,000	16	0	0	16	0	16	0	0	16	0	1,120,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	2,400,000	30	0	30	0	0	30	0	30	0	0	1,280,000
			UC Berkeley-Toyo ; Global Business Program	2,000,000	25	0	25	0	0	25	0	25	0	0	720,000
			東洋大学経済学部中国経済・社会研修	1,920,000	32	0	0	0	32	32	0	0	0	32	480,000
			国際教育センター企画語学留学プログラム	11,120,000	73	0	73	0	0	139	0	139	0	0	8,160,000
	協定受入	東洋大学交換留学プログラム	9,200,000	43	0	31	5	7	115	0	88	10	17	7,520,000	
	重点政策 枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学 Study Abroad プログラム	3,040,000	5	0	3	2	0	40	0	24	16	0	1,370,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	20	0	10	8	2	40	0	20	16	4	3,200,000
2017	短期研修・ 研究型	協定派遣 タイプ A	東洋大学経済学部海外経済研修(欧州)	1,920,000	24	0	24	0	0	24	0	24	0	0	1,840,000
		協定派遣 タイプ B	UC Berkeley-Toyo ; Global Business Program	1,440,000	18	0	18	0	0	18	0	18	0	0	560,000
			東洋大学経済学部中国経済・社会研修	1,380,000	23	0	0	0	23	23	0	0	0	23	180,000
			国際地域学部 Short-term Field Study	1,960,000	28	0	0	28	0	28	0	0	28	0	1,960,000
			国際地域学部 海外インターンシッププログラム	2,360,000	31	5	4	22	0	31	5	4	22	0	1,140,000
			長期インターンシッププログラム	2,100,000	4	3	0	1	0	24	15	0	6	3	800,000
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディーツアープログラム	840,000	12	0	0	12	0	12	0	0	12	0	840,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	1,680,000	21	0	21	0	0	21	0	21	0	0	1,680,000

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額 (円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数					実績額 (円)
					人数	指定	甲	乙	丙	人数	指定	甲	乙	丙	
2017	重点政策 枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化率引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,100,000	4	0	3	1	0	40	0	30	10	0	1,990,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化率引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	10	0	7	2	1	40	0	28	8	4	2,880,000
	UMAP 枠	協定派遣	USCO (UMAP 学生交流オンラインシステム) プログラム②	420,000	1	0	0	1	0	6	0	0	6	0	辞退
			USCO (UMAP 学生交流オンラインシステム) プログラム③	720,000	1	0	0	0	1	12	0	0	0	12	60,000
		協定受入	USCO (UMAP 学生交流オンラインシステム) サマープログラム	2,400,000	30	0	0	26	4	30	0	0	26	4	1,760,000
			USCO (UMAP 学生交流オンラインシステム) プログラム③	640,000	2	0	0	1	1	8	0	0	4	4	0
2018	短期研修・ 研究型	協定派遣 タイプ A	国際教育センター海外インターンシップ・ボランティア	5,640,000	70	8	45	16	1	71	8	45	16	2	4,880,000
			グローバル問題発見型のフィールドスタディープログラム：エビをめぐる日本のとインドネシアの国際関係	1,400,000	20	0	0	20	0	20	0	0	20	0	560,000
			UH Manoa-Toyo : Global Study Program-Exploring the Economic Environment in Hawaii	880,000	11	0	11	0	0	11	0	11	0	0	480,000
			国際学部 海外英語実習	3,840,000	24	0	24	0	0	48	0	48	0	0	3,080,000
		協定派遣 タイプ B	東洋大学経済学部中国経済・社会研修	720,000	12	0	0	0	12	12	0	0	0	12	460,000
			国際地域学部 Study-led Field Study	3,220,000	23	0	0	23	0	46	0	0	46	0	1,340,000
			海外インターンシッププログラム	2,380,000	23	0	0	12	11	36	0	0	22	14	350,000
			長期インターンシッププログラム	200,000	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	辞退
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディツアープログラム	840,000	12	0	0	12	0	12	0	0	12	0	840,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	1,200,000	15	0	15	0	0	15	0	15	0	0	960,000
	重点政策 枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化率引型) 東洋大学 Study Abroad プログラム	3,200,000	4	0	3	1	0	40	0	30	10	0	1,340,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化率引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	10	0	6	2	2	40	0	24	8	8	2,560,000
	UMAP 枠	協定派遣	USCO (UMAP 学生交流オンラインシステム) プログラム②	770,000	2	0	0	2	0	11	0	0	11	0	700,000
			USCO (UMAP 学生交流オンラインシステム) プログラム③	140,000	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	辞退
		協定受入	USCO (UMAP 学生交流オンラインシステム) プログラム②	2,400,000	6	0	0	5	1	30	0	0	25	5	1,600,000
			USCO (UMAP 学生交流オンラインシステム) プログラム③	480,000	6	0	6	0	0	6	0	6	0	0	480,000

●留学生交流支援制度 / 海外留学支援制度(短期派遣)：・指定都市 100,000 円, 甲地域 80,000 円, 乙地域 70,000 円, 丙地域 60,000 円

※ 2018 年度の派遣学生については、重点政策枠により 2019 年度中の支給があるため、実績値としては上記の金額となる。

【官民協働海外留学支援制度トビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラム】

年度	期	プログラムタイプ	奨学金支給割当人数					その他(留学準備金等)	実績額(円)
			人数	指定	甲	乙	丙		
2014	第 1 期生	インターンシップ	11	0	0	11	0	授業料：291,000 円、渡航費：100,000 円	1,931,000
		交換留学＋ボランティア	12	0	9	0	3	渡航費：200,000 円	2,000,000
		国連ユースボランティア	5	0	0	5	0		700,000
2015	第 3 期生	交換留学＋インターンシップ	12	0	12	0	0	渡航費：200,000 円	2,120,000
		交換留学＋ボランティア	12	0	9	0	3	渡航費：200,000 円	2,000,000
		インターンシップ	12	0	0	12	0	参加費：300,000 円、渡航費：100,000 円	2,080,000
2016	第 4 期生	インターンシップ	10	0	0	10	0	渡航費：100,000 円	1,500,000
		インターンシップ	11	0	0	11	0	渡航費：100,000 円	1,640,000
		休学留学＋インターンシップ	11	0	11	0	0	授業料：300,000 円、渡航費：200,000 円、事後研修参加費：20,000 円	2,280,000
	第 5 期生	インターンシップ	4	0	0	0	4	授業料：207,000 円、渡航費：100,000 円	787,000
2017	第 6 期生	交換留学＋インターンシップ	7	0	7	0	0	留学準備金：250,000 円	1,370,000
		インターンシップ	3	0	3	0	0	留学準備金：250,000 円	730,000
	第 7 期生	交換留学＋インターンシップ	14	0	9	0	5	留学準備金：250,000 円	2,290,000
2018	8 期生	インターンシップ	9	0	0	0	9	留学準備金：250,000 円	1,330,000
		インターンシップ	12	0	0	0	12	留学準備金：150,000 円	1,590,000
		インターンシップ	10	0	0	0	10	留学準備金：150,000 円	1,350,000
		交換留学＋インターンシップ	12	0	9	0	3	留学準備金：250,000 円	2,050,000
		インターンシップ	◇10	0	0	0	0	留学準備金：150,000 円	750,000
	9 期生	交換留学＋インターンシップ	14	0	8	0	6	留学準備金：250,000 円	2,250,000
		交換留学＋インターンシップ	11	0	11	0	0	留学準備金：250,000 円	2,010,000
		休学留学＋インターンシップ	11	0	9	0	2	留学準備金：250,000 円、授業料：300,000 円	2,230,000

●トビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラム：指定都市 200,000 円, 甲地域 160,000 円, 乙地域 140,000 円, 丙地域 120,000 円

◇大学オープンコース 60,000 円(※辞退者を除く)

【海外留学促進奨学金支給実績】

2018 年度分更新 (年度内支給予定額含む)

年度	受給者数／金額	ファーストステップ型	チャレンジ型	アクティブ型	グローバルリーダー型	計
2012	受給者数	63 名	33 名	0 名	0 名	96 名
	受給金額	3,970,000 円	6,500,000 円	0 円	0 円	10,470,000 円
2013	受給者数	56 名	57 名	1 名	0 名	114 名
	受給金額	3,860,000 円	11,350,000 円	350,000 円	0 円	15,560,000 円
2014	受給者数	183 名	99 名	33 名	6 名	321 名
	受給金額	12,420,000 円	18,572,905 円	12,150,000 円	9,000,000 円	52,142,905 円
2015	受給者数	159 名	128 名	33 名	3 名	323 名
	受給金額	10,560,000 円	23,160,000 円	11,450,000 円	4,500,000 円	49,670,000 円
2016	受給者数	202 名	106 名	38 名	3 名	349 名
	受給金額	12,880,000 円	20,291,150 円	13,313,900 円	4,500,000 円	50,985,050 円
2017	受給者数	-	331 名	85 名	11 名	427 名
	受給金額	-	46,058,655 円	29,680,000 円	12,600,000 円	88,338,655 円
2018	受給者数	-	531 名	121 名	8 名	658 名
	受給金額	-	66,241,573 円	43,640,000 円	9,300,000 円	119,181,573 円
※支給年度ベース (申請年度ベースではない) 2017 年度より「ファーストステップ型」は廃止 (「チャレンジ型」と統合)						

2019年度 渡日前入試 東洋トップグローバル奨学金 A・B

志願者内訳

【2019 年入学者対象入試】

■タイプ A 入試実施状況

(人)

		志願者数				合格者数				入学手続者数			
		イノベ	地域	情報連携	計	イノベ	地域	情報連携	計	イノベ	地域	情報連携	計
4 月入 学	2017 年実績	26	6	21	53	23	3	16	42	22	3	13	38
	2018 年実績	73	13	37	123	31	7	16	54	30	7	16	53
	9 月入 試	25	2	16	43	8	2	7	17	8	2	7	17
	11 月入 試	38	9	22	69	8	9	5	22	7	8	5	20
	計	63	11	38	112	16	11	12	39	15	10	12	37
9 月入 学	2017 年実績												
	2018 年実績	74		43	117	15		5	20	14		5	19
	2 月入 試	38		15	53	8		4	12	8		2	10
	4 月入 試	50		25	75	7		4	11	7		4	11
	計	88		40	128	15		8	23	15		6	21
年間合計	2017 年実績	26	6	21	53	23	3	16	42	22	3	13	38
	2018 年実績	147	13	80	240	46	7	21	74	44	7	21	72
	2019 年実績	151	11	78	240	31	11	20	62	30	10	18	58

■タイプ B 入試実施状況

(人)

		志願者数												受験者数												合格者数															
文	社会	国際	国際観光	理工						総合情報	生命科学	計	文	社会	国際	国際観光	理工						総合情報	生命科学	計																
				日本文学文化	社会	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工								生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報				生命科学	日本文学文化	社会	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学		
2018 年実績	3	5	4	0	7	9	0	1	0	0	0	0	0	29	3	4	4	0	7	7	0	1	0	0	0	0	26	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5	
2019 年実績	0	14	7	9	13	27	1	0	1	0	0	1	2	1	76	0	14	7	9	13	27	1	0	1	0	0	1	76	1	1	3	1	8	0	0	1	0	0	2	0	17

【志願者 国別内訳】

タイプ A 2019年4月入学者対象入試

	イノベ	地域	情報連携	計
ベトナム	36	3	15	54
インドネシア	6		10	16
中国	5		1	6
タイ		3	2	5
ミャンマー	2	2	1	5
ウズベキスタン	4			4
韓国	2	1		3
フィリピン	2	1		3
ブルガリア			3	3
ネパール	2			2
ブラジル	2			2
モンゴル		1	1	2
イタリア	1			1
イラン			1	1
オランダ			1	1
カナダ	1			1
パキスタン			1	1
ブータン			1	1
マレーシア			1	1
合計	63	11	38	112

タイプ A 2019年9月入学者対象入試

	イノベ	情報連携	計
ベトナム	40	20	60
タイ	7	3	10
モンゴル	6	4	10
インドネシア	5	4	9
フィリピン	8	1	9
ウズベキスタン	6	2	8
中国	4		4
ミャンマー	1	2	3
カンボジア		2	2
ネパール	1	1	2
香港	2		2
マレーシア	2		2
アメリカ	1		1
韓国	1		1
台湾	1		1
ブルガリア		1	1
ミクロネシア連邦	1		1
南アフリカ	1		1
ラオス	1		1
合計	88	40	128

タイプ B 2019年4月入学者対象入試

	社会			国際	国際観光	理工					総合情報	生命科学	計
	社会	社文	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学
韓国	11	6	7	11	24	1						2	1
中国	1	1	1	2	1			1			1		
台湾			1		1								
香港	1				1								
ベトナム	1												
合計	14	7	9	13	27	1	0	1	0	0	1	2	1

東洋大学海外留学フェア等参加実績

国際会議等参加実績

No.	名称	実施国	都市名	実施期間	出張者氏名
1	NAFSA: Association of International Educators 年次大会	米国	フィラデルフィア	2018年5月27日～6月1日	グリーン・スティーブン (国際教育センター副センター長) 幡手洋祐(国際課主任) 深井聡子(国際課主任)
2	EAIE (European Association for International Education) 年次大会	スイス	ジュネーブ	2018年9月11日～14日	グリーン・スティーブン (国際教育センター副センター長) 神田延男(国際課主任)
3	AIEA (Association of International Education Administrators) 年次大会	米国	サンフランシスコ	2019年1月21日～23日	グリーン・スティーブン (国際教育センター副センター長) 鈴木章子(国際課長) 井部望美(国際課員)
4	APAIE (Asia Pacific Association for International Education) 年次大会	マレーシア	クアラルンプール	2019年3月25日～29日	高橋一男(国際教育センター長) 渡辺知夏(国際課長補佐)

協定校訪問等実績

No.	訪問先	訪問国	都市名	訪問期間	出張者氏名
1	ソルボンヌ大学 大学間教育研究連携協定調印式	フランス	パリ	2018年7月15日～19日	竹村牧男(学長)※ 北脇秀敏(副学長)※ 渡辺知夏(国際課長補佐)
2	The Magna Charta Universitatum 30 周年記念式典	スペイン	サラマンカ	2018年9月17日・18日	竹村牧男(学長)※ 高橋一男(国際教育センター長)
3	チェンマイ大学	タイ	チェンマイ	2019年1月27日～31日	竹村牧男(学長)※ 高橋一男(国際教育センター長)

※ 他部署の予算にて出張。

国際教育センター教職員の海外研修等参加実績

No.	名称	実施国	都市名	参加期間	参加者氏名
1	海外研修(ポートランド州立大学)	アメリカ	ポートランド	2018年4月26日～5月13日	牧野智美(国際課課員)
2	海外研修(ダブリンシティ大学)	アイルランド	ダブリン	2018年6月3日～8月26日	小保安希子(国際課課員)
3	Intercultural Institute for Master Coaches 研修	アメリカ	セントポール	2018年6月14日～16日	小早川裕子(国際教育センター准教授)
4	IDI セミナー	アメリカ	ミネアポリス	2018年10月19日・20日	小早川裕子(国際教育センター准教授)

リクルート活動実績(海外留学フェア等)

No.	目的	国	都市	日程	出張を伴う	出張を伴わない	出張者・担当者
1	June Fair (JASSO、在バンコク日本大使館主催)	タイ	バンコク	6月4日(月)～8日(金)	○		八町慶子(国際課長補佐)
2	日本留学フェア(筑波大学主催)、高校訪問	アルゼンチン ブラジル	ブエノスアイレス サンパウロ	7月16日(月)～25日(水)	○		高橋清隆(国際部長) 深井聡子(国際課主任)
3	日本留学フェア(JASSO 主催)、高校訪問	台湾	高雄、台北	7月18日(水)～23日(月)	○		神田延男(国際課主任) 牧野千聖(国際課員)
4	日本留学フェア(JASSO 主催)、高校訪問、協定校開拓	香港	香港	8月15日(水)～19日(日)	○		幡手洋祐(国際課主任) 西澤萌葉(国際課員)
5	日本留学フェア(岡山大学主催)、教育機関訪問	ミャンマー	ヤンゴン	8月16日(木)～19日(日)	○		高橋清隆(国際部長) 清水和樹(国際課員)
6	日本留学フェア(JASSO 主催)、高校訪問	タイ	チェンマイ、バンコク	8月23日(木)～29日(水)	○		石塚晃二(国際課員) 根岸麻衣(国際課員)
7	バンコク日本博 2018 (バンコク日本博 2018 実行委員会・ジェイエデュケーション主催)	タイ	バンコク	8月31日(金)～9月2日(日)		○	東洋大学タイ拠点職員
8	日本留学フェア(JASSO 主催)、高校訪問、協定校訪問	韓国	釜山、ソウル	9月5日(水)～12日(水)	○		玉田誠(国際課長) 清水和樹(国際課員)
9	日本留学フェア(北海道大学主催)	南アフリカ	ケープタウン	9月15日(土)～21日(金)	○		高橋清隆(国際部長) 神田延男(国際課主任)
10	日本留学フェア(JASSO 主催)、高校訪問	インドネシア	スラバヤ、ジャカルタ	9月26日(水)～10月4日(木)	○		小保安希子(国際課員) 清水和樹(国際課員)
11	日本留学フェア(JICA 主催)、高校訪問	モンゴル	ウランバートル	9月27日(木)～10月3日(水)	○		牧野智美(国際課員) 石塚晃二(国際課員)
12	日本留学フェア(JASSO 主催)	ベトナム	ホーチミン、ハノイ	10月5日(金)～8日(月)	○		深井聡子(国際課主任)
13	日本留学フェア(JICA 主催)、高校訪問	ラオス カンボジア	ビエンチャン プノンペン	10月14日(日)～21日(日)	○		堀亮輔(国際課員) 澤本和哉(国際課員)
14	大学説明会(ライトハウス主催)、高校訪問	アメリカ	ハワイ	10月26日(金)～11月2日(金)	○		高橋清隆(国際部長) 深井聡子(国際課主任)
15	日本留学フェア(名古屋大学主催)	ウズベキスタン	タシュケント	11月5日(月)		○	--
16	Skype 説明会(日本留学支援協会企画) 対象：嘉諾撒培德書院、聖若瑟英文中學 迎密中學	中国	香港	11月19日(月)・20日(火)		○	深井聡子(国際課主任) 石塚晃二(国際課員)
17	日本留学フェア(日本留学支援協会主催)、協定校開拓	香港 マカオ	香港 マカオ	11月22日(木)～26日(月)	○		高橋清隆(国際部長) 玉田誠(国際課長) 木元直子(国際課主任) 清水和樹(国際課員)
18	日本留学フェア(JASSO 主催、帝京マレーシア日本語学院 主催)、教育関係機関訪問	マレーシア	クアラルンプール	12月13日(木)～19日(水)	○		八町慶子(国際課長補佐) 牧野智美(国際課員)

国際教育センター運営委員会開催記録

【第1回】 2018(平成30)年4月23日(月) 16:30～17:45

審議事項

- 1 海外大学との協定締結について
- 2 交換研究員派遣先変更について
- 3 2018年度第Ⅱ期交換留学生の受入及び受入学部について
- 4 平成30年度JEES留学生奨学金(就職促進)受給者の選考結果について
- 5 平成30年度学習奨励費(就職促進)推薦者募集について(追認)
- 6 TGLプログラム認定要件の発展的見直しについて
- 7 2018年度前期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの追加選定について

【第2回】 2018(平成30)年5月21日(月) 16:30～17:35

審議事項

- 1 海外大学との協定締結について
- 2 国際教育センター教員資格審査委員構成員(案)について
- 3 用途指定型支援寄付金の取扱要領(案)について
- 4 日本学生支援機構(JASSO)平成30年度海外留学支援制度奨学金受給者の選考基準について
- 5 平成30年度学習奨励費(就職促進)受給者の選考結果について
- 6 2018年度秋出発 認定留学 派遣候補者について
- 7 2018年度The Washington Center プログラム派遣候補者について
- 8 2018年度英語スピーチ&プレゼンテーションコンテストの実施について

【第3回】 2018(平成30)年6月18日(月) 16:30～17:30

審議事項

- 1 海外大学との協定締結について
- 2 2018年度前期 東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの追加選定について
- 3 2018年度10月開始 スーパーグローバル大学創成支援事業による大学院修士課程および博士課程所属学生対象 国費外国人留学生の選考結果(案)について
- 4 2018年度第Ⅱ期交換留学生の追加受入および指導教員について(追認)

【第4回】 メール会議 2018(平成30)年7月9日(月)～11日(水) 12:00

審議事項

- 1 東洋大学海外留学促進奨学金「グローバルリーダー型」受給者の選抜(案)について(2018年度第1回目)

【第5回】 2018(平成30)年7月23日(月)16:30～17:40

審議事項

- 1 海外大学との協定締結について
- 2 2019年度交換研究員派遣について
- 3 2019年度第Ⅰ期交換留学生(受入)募集要項について
- 4 2019年度第Ⅱ期交換留学生(派遣)の募集について
- 5 2018年度後期 東洋大学海外留学促進奨学金対象プログラムの募集について
- 6 国際教育センター主催第1回日本語プレゼンテーションコンテスト(全学対象)実施概要(案)について

【第6回】 2018(平成30)年9月24日(月)16:30～17:45

審議事項

- 1 海外大学との協定締結について
- 2 「東洋大学国際教育センター教員採用・昇格資格審査基準」および「東洋大学国際教育センター契約制外国語講師採用資格審査基準」の改正について
- 3 専任教員(日本語)、契約制日本語講師の採用について
- 4 臨時資格審査委員の選出について
- 5 2019年度外国人研究員受入について
- 6 2018年度後期 東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について
- 7 2019年度第Ⅰ期交換留学の派遣候補者について
- 8 国際教育センター2018年度春季海外派遣プログラム実施計画について
- 9 東洋大学授業料徴収型留学生受入経費等取扱規程の制定および東洋大学 ISEP Direct 留学生受入経費等取扱規程の一部改正について
- 10 2019年度国際教育センター予算要求(案)について

【第7回】 2018(平成30)年10月22日(月)16:30～17:45

審議事項

- 1 海外大学との協定締結について
- 2 2019年度春出発オーストラリア認定留学の派遣候補者について
- 3 2019年度春学期協定校語学留学の派遣候補者について
- 4 2018年度後期 東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について

【第8回】 2018(平成30)年11月19日(月)16:30～17:45

審議事項

- 1 海外大学との協定締結について
- 2 国際教育センター所属教員の割愛に伴う退職について
- 3 ストラスブール大学への訪問研究員派遣者の選出について
- 4 2018年度第Ⅱ期交換留学生(受入)の留学期間の変更について
- 5 2019年度第Ⅰ期交換留学生の受入および受入学部について
- 6 2019年度第Ⅱ期交換留学(UMAP)派遣候補者について
- 7 2019年春出発認定留学派遣候補者について
- 8 2019年度 The Washington Center プログラムの募集・学内選考について
- 9 2019年度秋学期協定校語学留学の募集について
- 10 2018年度後期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について

【第9回】 2018(平成30)年12月17日(月)16:30～17:45

審議事項

- 1 2019年度第2回資格審査委員会審査結果について
- 2 海外大学との協定締結について
- 3 留学生就職促進プログラム 優秀留学生表彰 今年度の基準について
- 4 2019年度第Ⅱ期交換留学生(受入)募集要項(案)について
- 5 2019年度国連ユースボランティア(UNYV)の募集・学内選考について
- 6 東洋大学留学支援団体の追加について

【第10回】 メール会議 2019(平成31)年1月15日(火)～1月16日(水)12:00

審議事項

- 1 2019年度4月開始 スーパーグローバル大学創成支援事業による大学院修士課程および博士課程所属学生対象 国費外国人留学生の選考結果(案)について

【第11回】 2019(平成31)年1月21日(月)16:30～17:45

審議事項

- 1 海外大学との協定締結について
- 2 教員採用二次審査結果(専任教員、契約制日本語講師)及び非常勤講師の採用について
- 3 2019年度第Ⅱ期交換留学の派遣候補者について
- 4 留学生就職促進プログラム 優秀留学生表彰 今年度の基準について(再審議)

【第12回】 2019(平成31)年2月18日(月)16:30～17:20

審議事項

- 1 2019年度基盤教育日本語科目担当非常勤講師の採用について
- 2 海外大学等との協定締結について
- 3 「東洋大学 ISEP 交換留学生派遣に伴う費用取扱規程」の一部改正について
- 4 東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラム(2019年度春学期・夏季休暇期間)の募集に伴う、JASSO 海外留学支援制度奨学金との併給要件の変更について
- 5 2019年度秋学期協定校語学留学の派遣候補者および追加募集の実施について
- 6 2019年度 認定留学生(秋出発)の募集について
- 7 留学生就職促進プログラム 優秀留学生の表彰基準の変更について

【第13回】 2019(平成31)年3月18日(月)16:30～17:45

審議事項

- 1 非常勤講師採用に係る書類審査結果について
- 2 海外大学等との協定締結について
- 3 東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について
- 4 2019年度夏季 短期海外派遣プログラムの実施について
- 5 2019年度秋学期協定校語学留学(2次募集分)の派遣候補者および3次募集の実施について
- 6 平成31年度 JEES 留学生奨学金(就職促進)募集要項案について

以上

国際教育センターに係る規程一覧

規程	施行日	最終改正日
東洋大学国際教育センター規程	2015(平成27)年10月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学学生の留学に関する規程	1990(平成2)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学大学院学生の留学に関する規程	1996(平成8)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学交換留学生受入に関する規程	1990(平成2)年4月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国際交流基金規則	1987(昭和62)年10月28日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際交流基金細則	1995(平成7)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際会館管理運営規程	2007(平成19)年12月25日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国際会館利用細則	2007(平成19)年12月25日	2018(平成30)年9月1日
東洋大学国際交流基金経費支出基準	1995(平成7)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
協定校交換研究員派遣要領	1999(平成11)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学外国人研究員受入れに関する内規	2000(平成12)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学受入交換留学生教育指導要領 (旧：東洋大学交換留学生・学部研究科受入要領)	1998(平成10)年9月26日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学授業料徴収型留学生受入経費等取扱規程	2019(令和元)年5月1日	2019(令和元)年5月1日
協定校との共同研究実施要領	1995(平成7)年10月1日	2017(平成29)年4月1日
協定校との文献の交換要領	1991(平成3)年10月1日	2015(平成27)年10月1日
留学支援のための英語特別教育科目専門委員会規程 (旧：留学支援のための英語特別教育科目運営委員会要項)	2006(平成18)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
協定校並びに ISEP 加盟大学からの留学生に対する日本語・日本文化教育科目運営委員会規程	2006(平成18)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学 ISEP 交換留学生受入れに伴う宿舍提供及び食費支給基準 (旧：ISEP 交換留学生受入要領)	2006(平成18)年7月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学 ISEP 交換留学生派遣に伴う費用取扱規程	2005(平成17)年4月1日	2019(平成31)年4月1日
東洋大学海外留学促進奨学金規程	2014(平成26)年4月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国費外国人留学生の授業料等に関する規程	2015(平成27)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学国費外国人留学生の授業料等に関する事務取扱要領	2015(平成27)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際教育センター教員資格審査委員会規程	2015(平成27)年11月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学国際連携推進委員会細則	2015(平成27)年1月1日	2018(平成30)年5月25日
東洋大学国際連携本部規程	2014(平成26)年11月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学国際会館及び学外契約留学生宿舍レジデント・アシスタント制度に関する要領	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学留学生宿舍(学外契約物件)宿舍費取扱要領	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年9月1日
東洋大学国際会館宿舍費取扱要領	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年9月1日
東洋大学及び東洋大学大学院学生の休学留学に関する取扱要項	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年4月1日

2019(令和元)年5月1日時点

国際教育センター構成員

		2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度(9 月 30 日まで)
		国際センター			
国際センター 構成員	第 1 号	中鉢 恵一	中鉢 恵一	高橋 一男	高橋 一男
	第 2 号	高橋 一男	高橋 一男	王 亜新	王 亜新
		-	-	グリーン・スティープン	グリーン・スティープン
	第 3 号	宇田川晴義	宇田川 晴義	佐藤 泰人	田中 一隆
		大野 裕之	大野 裕之	曾田 長人	ニューフィールズ・ティモシ
		マッケンジー・アーリソン	マッケンジー・アーリソン	マッケンジー・アーリソン	マッケンジー・アーリソン
		李 芝妍	高橋 豊美	室松 慶子	室松 慶子
		姜 英淑	姜 英淑	長 広美	長 広美
		小河 繁彦	小河 繁彦	小河 繁彦	小河 繁彦
		村田 由美恵	岡村 敏之	グライアム・ロブソン	グライアム・ロブソン
		竹井 弘之	柏田 祥策	竹井 弘之	竹井 弘之
		木内 明	高山 静子	高山 静子	阿久津 純恵
		安達 由洋	武市 三智子	武市 三智子	藤本 貴之
		-	吉江 由美子	福森 文康	福森 文康
事務局	国際部国際推進課				

		年度	2015 年度 (10 月 1 日以降)	2016 年度	2017 年度	2018 年度
		センター名称	国際教育センター			
国際教育センター構成員	第 1 号	センター長	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男
	第 2 号	副センター長	王 亜新	王 亜新	董 晶輝	董 晶輝
		副センター長	グリーン・スティープン	グリーン・スティープン	グリーン・スティープン	グリーン・スティープン
	第 3 号	教務部長	神田 雄一	神田 雄一	高橋 豊美	高橋 豊美
	第 4 号	文学部	田中 一隆	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子
		経済学部	ニューフィールズ・ティモシ	古田 直肇	ニューフィールズ・ティモシ	ニューフィールズ・ティモシ
		経営学部	マッケンジー・アーリソン	マッケンジー・アーリソン	李 振	李 振
		法学部	室松 慶子	室松 慶子	室松 慶子	大野 公賀(4 月) 山下 りえ子(5～3 月)
		社会学部	長 広美	須田 木綿子	箕曲 在弘	長津 一史
		国際地域学部・国際学部・国際観光学部	グライアム・ロブソン	市田せつ子	志摩 憲寿	芦沢 真五
					市田 せつ子	市田 せつ子
		理工学部	小河 繁彦	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予
		総合情報学部	藤本 貴之	藤本 貴之	藤本 貴之	藤本 貴之(4～8 月) 中林 靖(9～3 月)
		生命科学部	竹井 弘之	小柴 和子	小柴 和子	小柴 和子
		食環境科学部	福森 文康	福森 文康	福森 文康	福森 文康
		ライフデザイン学部	阿久津 純恵	阿久津 純恵	柏樹 良	柏樹 良
	情報連携学部	-	-	井村 亮	棕 計人	
	第 5 号	白山キャンパス研究科委員	董 晶輝	董 晶輝	董 晶輝	董 晶輝
		川越キャンパス研究科委員	森本 久雄	多田 光利	多田 光利	吉野 隆(4 月) 本橋 健次(5～3 月)
		朝霞キャンパス研究科委員	大迫 正文	大迫 正文	川内 美彦	高橋 直美
		板倉キャンパス研究科委員	一石 昭彦	廣津 直樹	廣津 直樹	佐々木 伸大
		赤羽台キャンパス研究科委員	-	-	井村 亮	棕 計人
	第 6 号	国際部長	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆
	第 7 号	国際教育センター	-	関山 健	関山 健	関山 健
			-	-	田中 祐輔	田中 祐輔
-			-	小早川 裕子	小早川 裕子	
事務局		国際部国際推進課			国際部国際課	

The background is a warm orange color with a subtle grid pattern. On the right side, there is a stylized globe showing the continents of Asia and Australia. The globe is semi-transparent and has a grid of latitude and longitude lines. The overall design is modern and academic.

【2018 年度】国際教育センター年報

2019年11月30日発行

発行 東洋大学国際教育センター

(Center for Global Education and Exchange)

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

TEL 03-3945-8593 FAX 03-3942-2489

E-mail mlipo@toyo.jp

URL <http://www.toyo.ac.jp/life/15/22/>